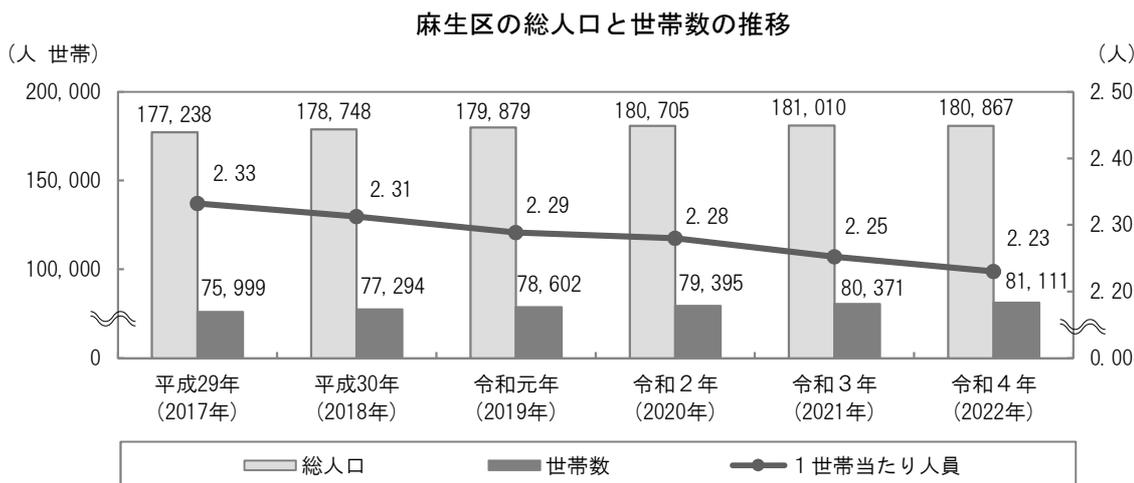


## 麻生区の現況

### ① 総人口と世帯数の推移 <世帯数は増加、1世帯当たり人員は減少>

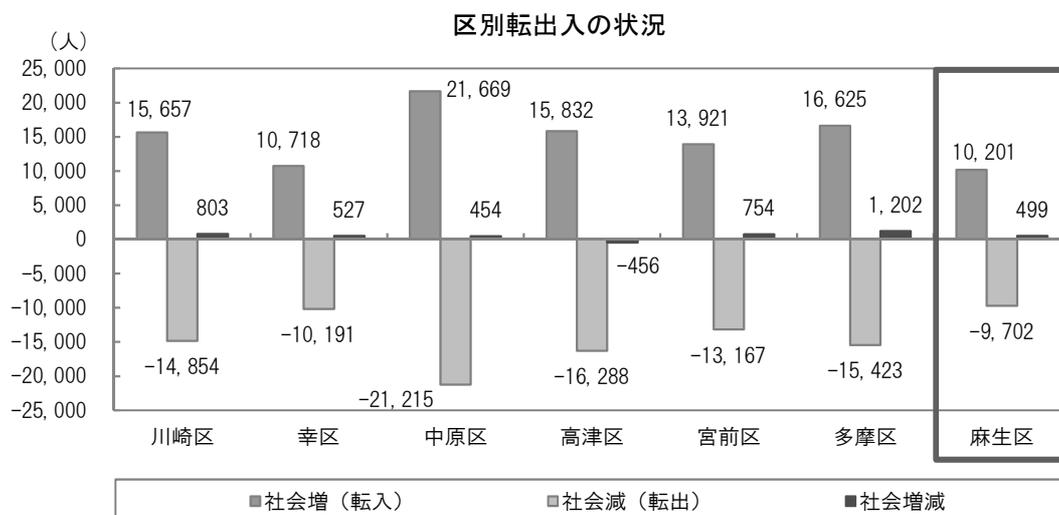
麻生区の人口は、令和4（2022）年10月1日現在で180,867人となっており、令和元（2019）年から180,000人程度で推移しています。一方、世帯数は増加しており、1世帯当たり人員は令和元（2019）年に2.3人を下回り、令和4（2022）年は2.23人となっています。



資料：川崎市の統計情報「川崎市の世帯数・人口」（各年10月1日現在）

### ② 人口動態 <社会増が社会減を上回る>

麻生区の転出入の状況を見ると、令和4（2022）年1月から令和4（2022）年12月は、社会増（転入）が10,201人、社会減（転出）が9,702人となっており、転入が499人上回っています。



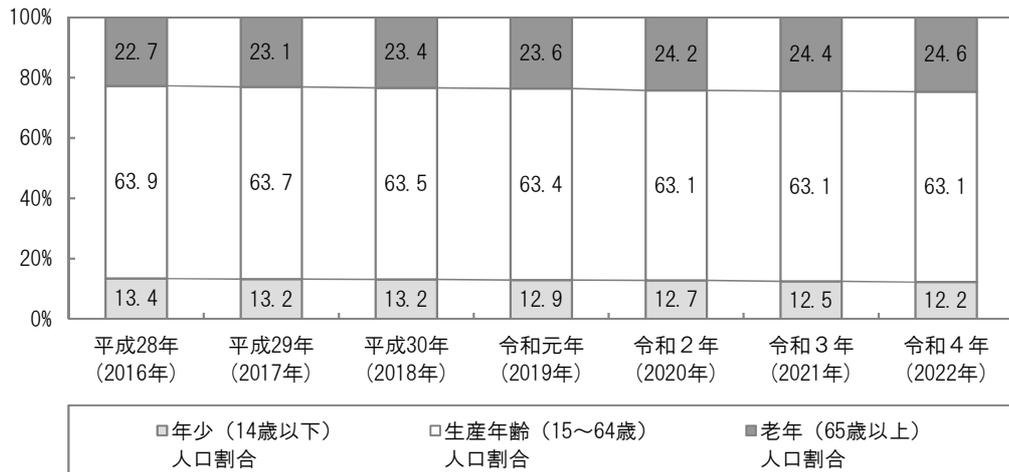
資料：川崎市の統計情報「川崎市の人口動態-令和4（2022）年-」（令和4（2022）年1月～令和4（2022）年12月の合計）

※社会増減…住民の社会増（転入）から社会減（転出）を差し引いた人数

③ 年齢3区分別人口割合の推移 <年少人口割合は低下、老年人口割合は上昇>

麻生区の年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少（14歳以下）人口割合は低下が続いている一方、老年（65歳以上）人口割合は平成28（2016）年度から1.9ポイント上昇しており、引き続き高齢化の進行が続くことが予想されます。

麻生区の年齢3区分別人口構成



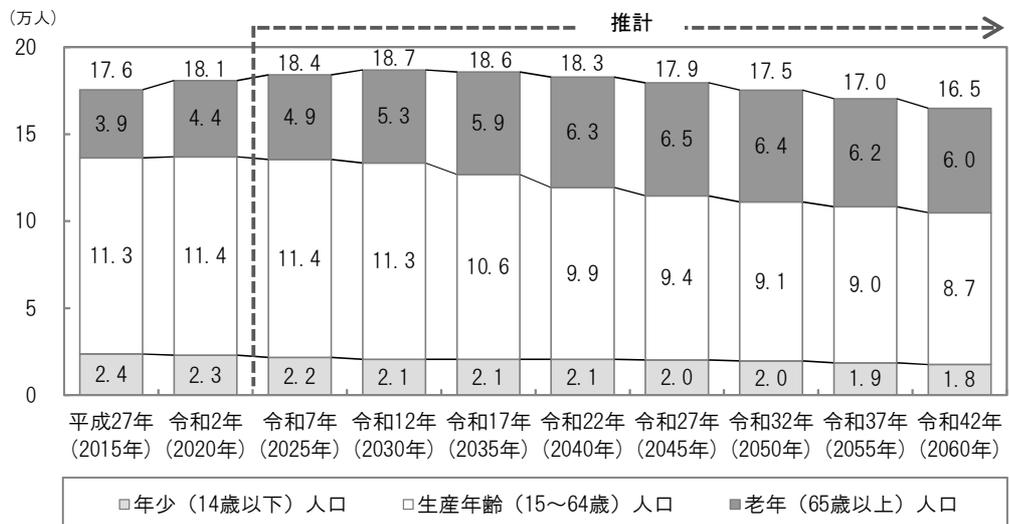
資料：川崎市の統計情報「川崎市年齢別人口」（各年10月1日現在）

※構成割合は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合がある。

④ 年齢3区分別将来人口推計 <老年人口は2045年がピーク>

麻生区の年齢3区分別将来人口推計をみると、年少（14歳以下）人口は平成27（2015）年頃、生産年齢（15～64歳）人口は令和2（2020）年頃、総人口は令和12（2030）年頃をピークに減少すると想定しています。老年人口は令和27（2045）年まで増加が続き、約65,000人になると推計しています。

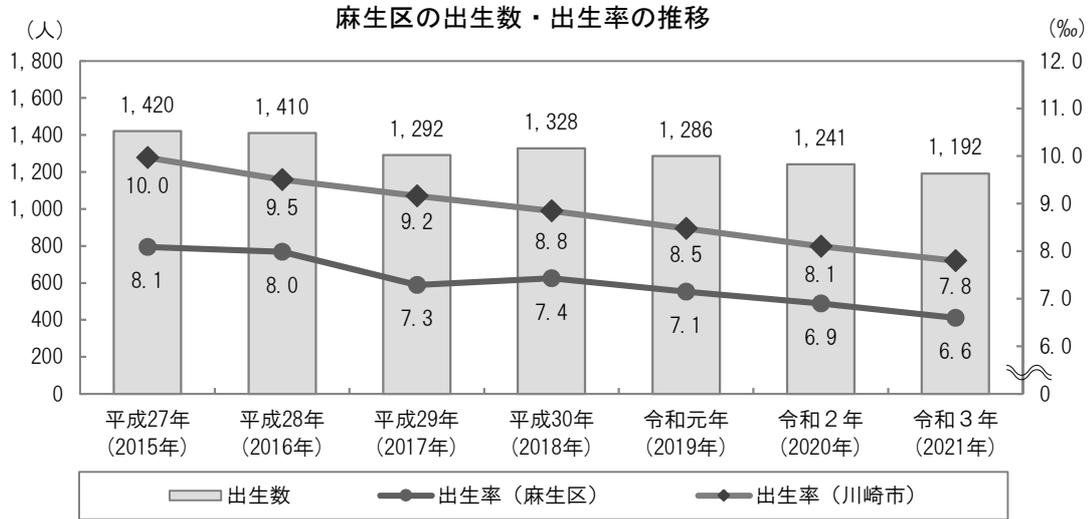
麻生区の年齢3区分別将来人口推計



資料：川崎市総務企画局「川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）」

⑤ 出生数・出生率の推移 <出生数・出生率ともに減少傾向>

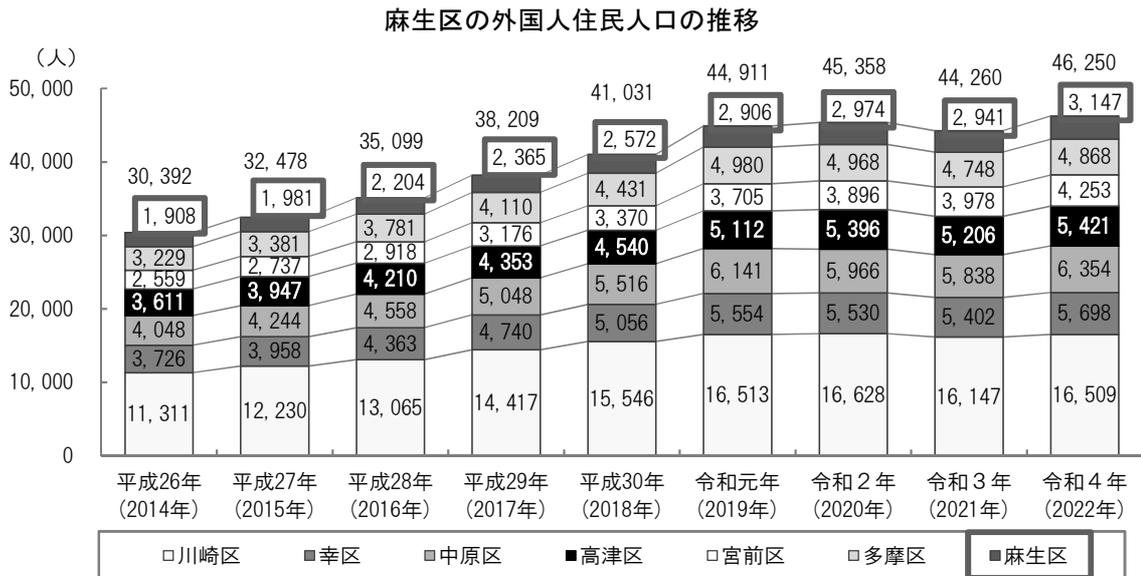
麻生区の出生数は、おおむね減少傾向となっています。また、令和3（2021）年の出生率は人口1,000人に対して6.6人であり、市全体よりも低い傾向が続いています。



資料：川崎市統計書

⑥ 外国人住民人口の推移 <人口は増加傾向、市内7区で最も少ない>

麻生区の外国人住民人口は、おおむね増加傾向となっています。令和4（2022）年9月30日現在で3,147人となっており、市内7区で最も少なく、市全体の6.8%となっています。



資料：川崎市統計情報「管区別年齢別外国人住民人口」（各年9月30日現在。住民基本台帳の外国人住民の集計）

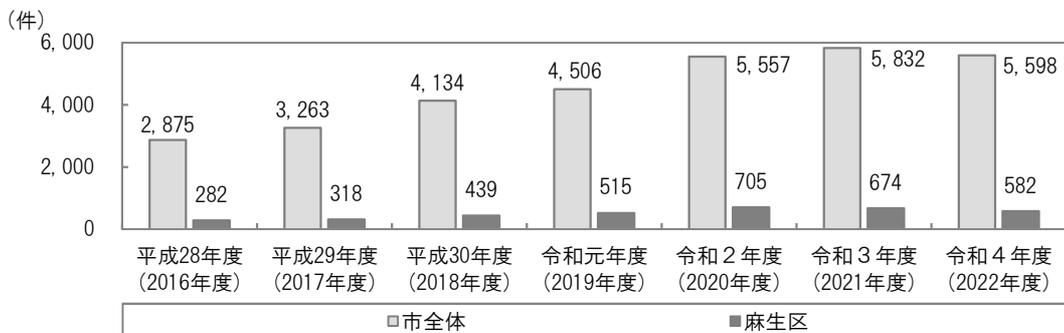
⑦ 児童虐待相談・通告の状況 <令和3年度から減少に転じる>

麻生区の児童虐待相談・通告件数は、令和2（2020）年度まで増加傾向でしたが、その後減少しており、令和4（2022）年度は582件となっています。

児童虐待相談・通告受付件数（児童相談所・区役所の合計）

単位：件

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	その他	市全体
平成28年度	781	382	429	383	323	288	282	7	2,875
平成29年度	758	324	431	518	578	317	318	19	3,263
平成30年度	835	491	560	600	627	541	439	41	4,134
令和元年度	1,031	525	524	670	700	513	515	28	4,506
令和2年度	1,179	619	706	703	940	637	705	68	5,557
令和3年度	1,243	566	732	902	1,001	653	674	61	5,832
令和4年度	1,270	636	778	789	822	646	582	75	5,598

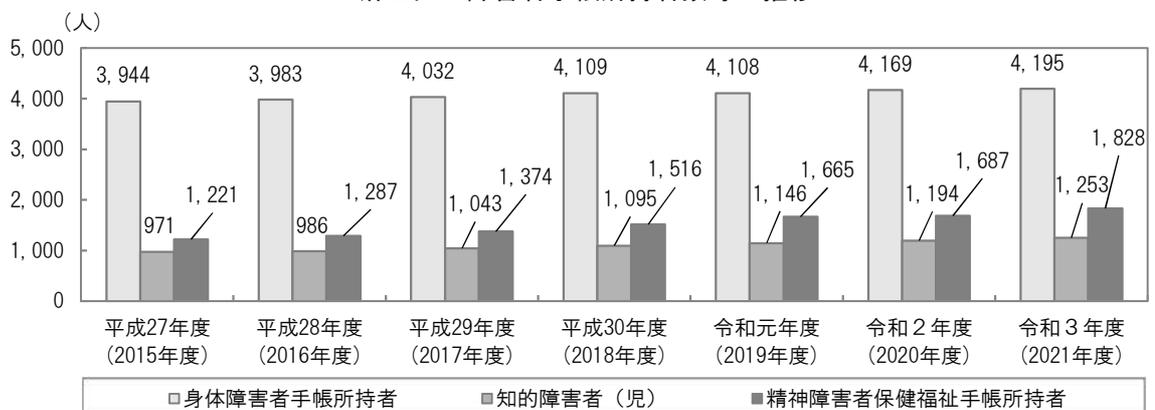


資料：報道発表資料「令和4年度 川崎市における児童虐待相談・通告件数について」

⑧ 障害者手帳所持者数等の推移 <増加の傾向>

知的障害者数、精神障害者数（精神障害者保健福祉手帳所持者）は、いずれも増加傾向となっており、特に精神障害者数は平成27年度から607人増加しています。身体障害者数（身体障害者手帳所持者）はゆるやかに増加傾向となっています。

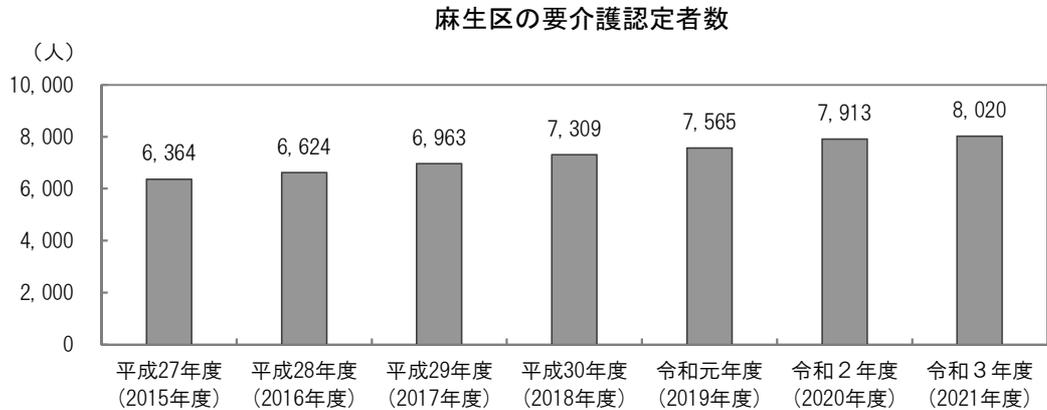
麻生区の障害者手帳所持者数等の推移



資料：川崎市統計書「障害者の概況」、川崎市健康福祉年報（各年度末現在）  
 ※知的障害者（児）数は判定のみ受けて手帳を所持していない者も含む。

⑨ 介護保険の利用状況 <要介護認定者数は増加傾向>

麻生区の介護保険要介護認定者数は増加傾向にあり、令和3（2021）年度末現在は8,020人となっています。

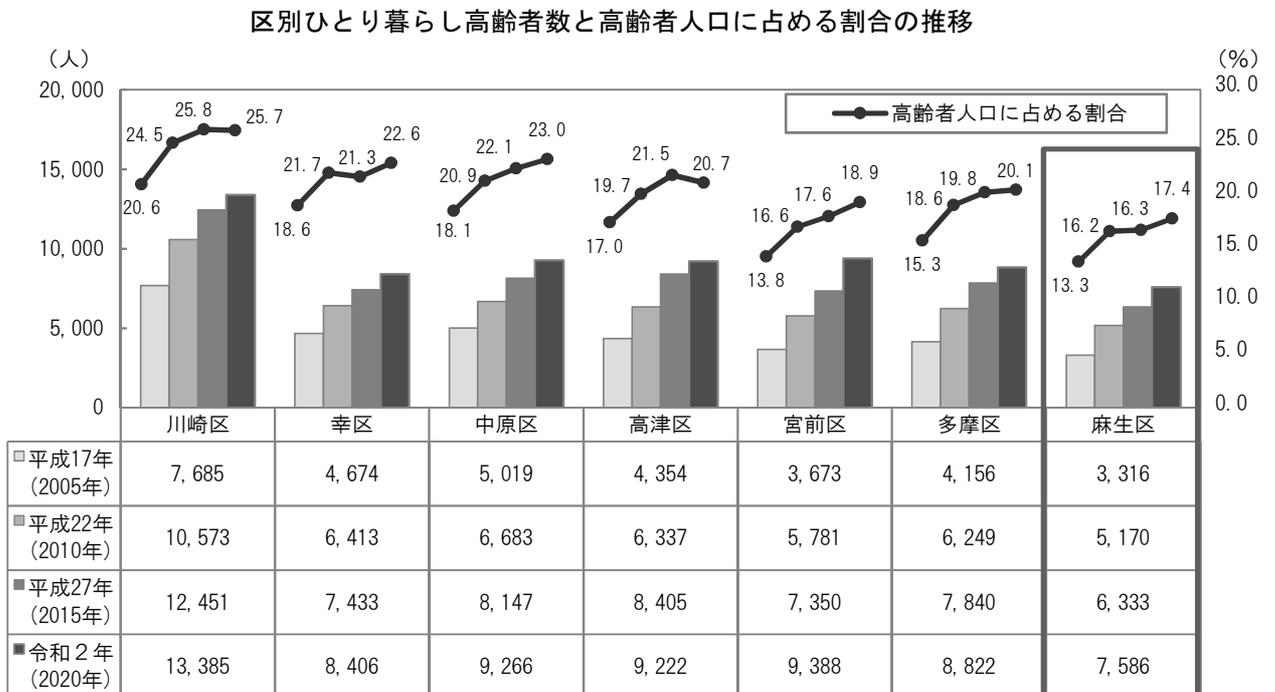


資料：川崎市統計書「介護保険の概況」（各年度末現在）第2号被保険者を含む。

⑩ 区別ひとり暮らし高齢者数と高齢者人口に占める割合の推移

<ひとり暮らし高齢者数は増加傾向>

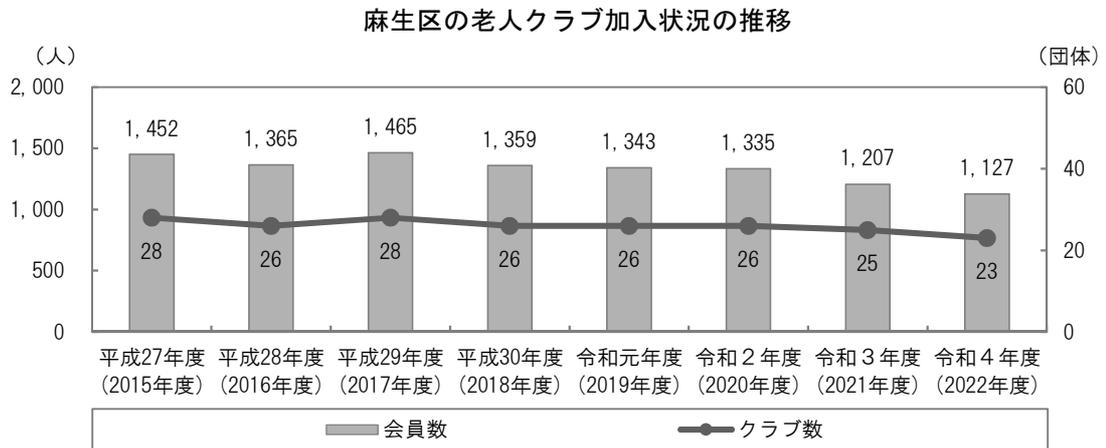
麻生区のひとり暮らし高齢者数は増加傾向にあり、令和2（2020）年の国勢調査では7,586人で、高齢者の17.4%となっています。



資料：国勢調査

⑪ 老人クラブの状況 <会員数は減少傾向>

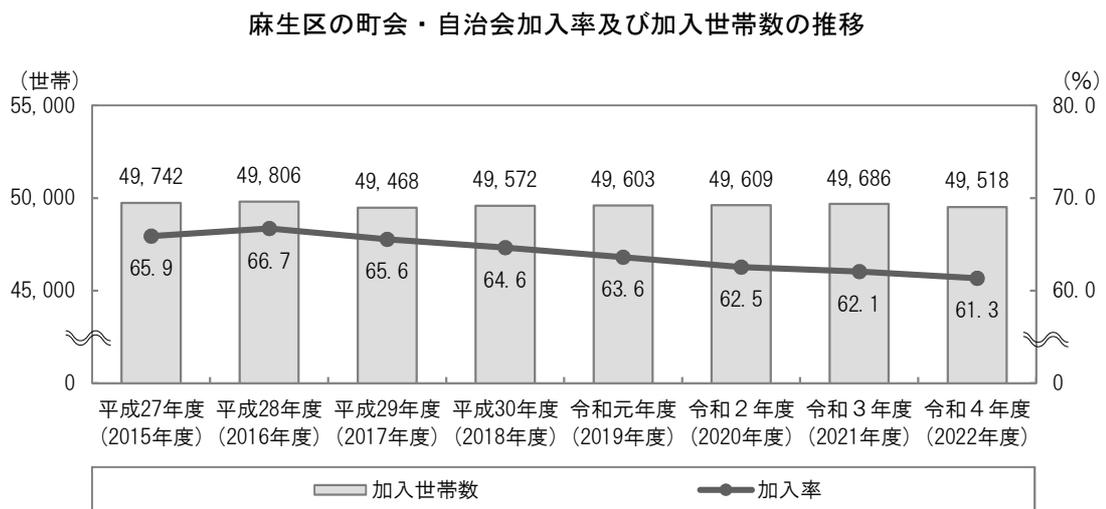
麻生区の老人クラブの会員数は、平成29（2017）年度に増加したものの再び減少が続いており、令和4（2022）年度にはクラブ数は23団体、会員数は1,127人となっています。



資料：川崎市統計書「老人クラブの状況」（各年度4月1日現在）

⑫ 町会・自治会の加入率 <組織数は市内7区で最多、加入率は減少傾向>

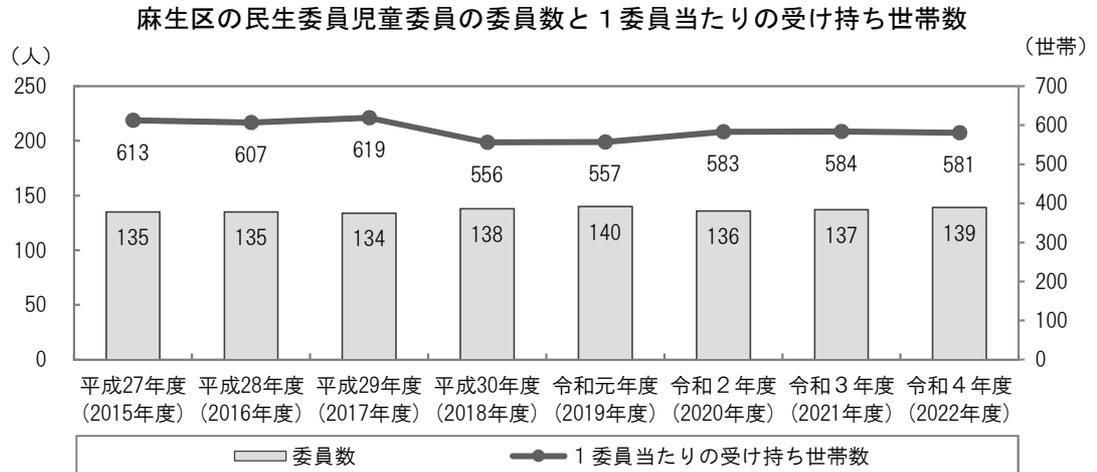
麻生区には令和4（2022）年度現在、125の町会・自治会等の組織があり、市内7区で最も多くなっています。町会・自治会の加入率は、平成29（2017）年度から減少傾向となっています。



資料：川崎市統計書「住民組織加入状況」（各年度4月1日現在）

⑬ 民生委員児童委員の状況 <委員数は横ばい傾向>

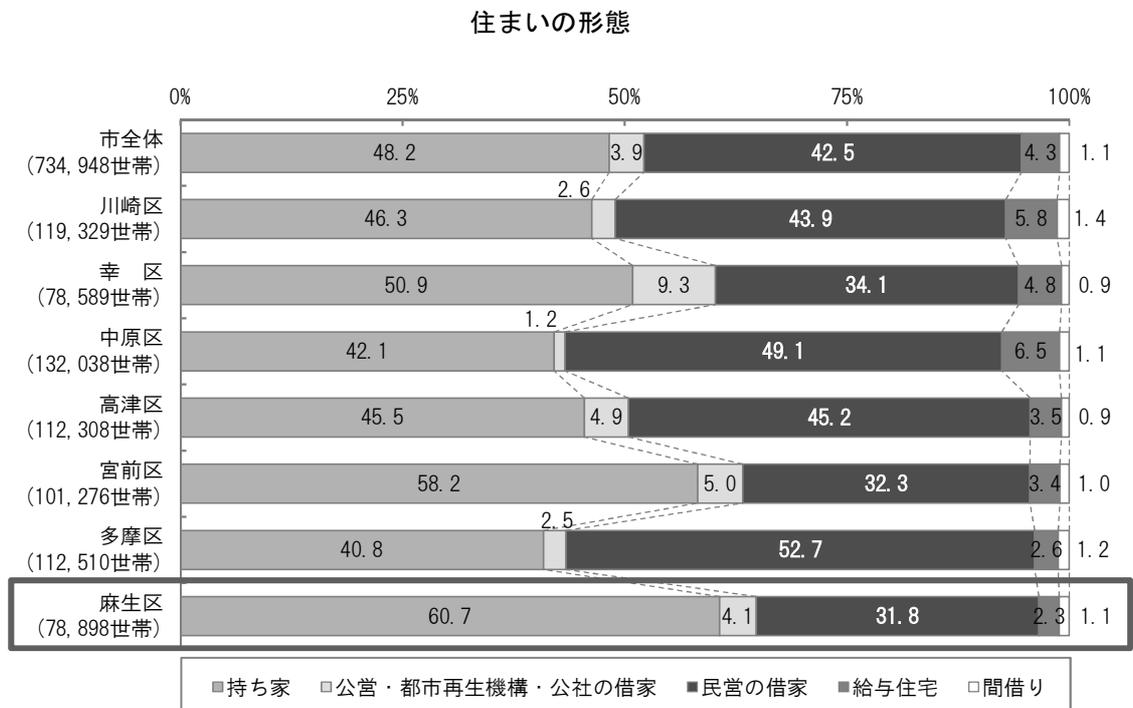
麻生区の民生委員児童委員は、令和4（2022）年度現在139人で、1委員当たりの受け持ち世帯数は581世帯となっています。



資料：川崎市統計書「民生委員・児童委員数等の状況」（各年度4月1日現在）

⑭ 住まいの形態 <持ち家比率が市内7区で最も高い>

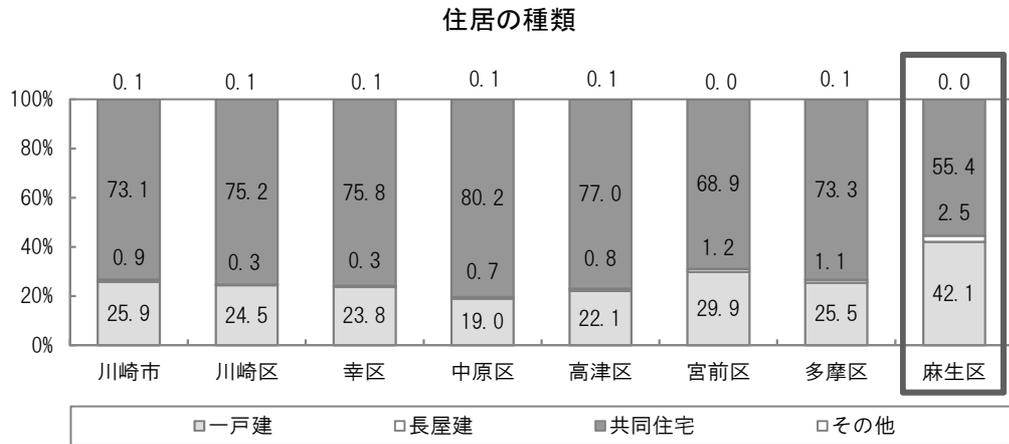
麻生区は、市内7区で持ち家比率が最も高く、令和2（2020）年の国勢調査では60.7%となっているのに対し、民営の借家が31.8%と最も低くなっています。



資料：令和2（2020）年国勢調査

⑮ 住居の種類 <一戸建て住宅の比率が市内7区で最も高い>

麻生区は、市内7区で一戸建て住宅の比率が最も高く、令和2（2020）年の国勢調査では区内の住宅の42.1%を占めています。



資料：令和2（2020）年国勢調査

第 6 回川崎市地域福祉実態調査（令和 4 年度調査）  
結果概要

麻生区版

---



# 目次

調査の概要.....	- 1 -
■ 調査の目的.....	- 1 -
■ 調査の設計.....	- 1 -
■ 概要を利用するにあたって.....	- 1 -
1. 回答者の基本属性.....	- 3 -
2. 『川崎市地域福祉計画』について.....	- 9 -
3. 居住地域について.....	- 10 -
4. 地域活動やボランティア活動について.....	- 23 -
5. 保健・福祉に関することについて.....	- 28 -
6. 防災に対する意識と備えについて.....	- 31 -
7. 今後の地域福祉の推進について.....	- 36 -
8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます.....	- 41 -
資料 <u>  </u> アンケート調査票.....	- 62 -



## 調査の概要

### ■ 調査の目的

本調査は、市民の地域福祉に関する意識を多面的に調査することにより、地域における生活課題を明らかにし、『第7期川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

### ■ 調査の設計

#### 【調査対象者】

市内在住の20歳以上の男女（外国人を含む）各区1,000人、全市7,000人

#### 【調査時期】

令和4年11月～令和4年12月

#### 【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

#### 【調査内容】

- ・基本属性
- ・『川崎市地域福祉計画』について
- ・居住地域について
- ・地域活動やボランティア活動について
- ・保健・福祉に関することについて
- ・防災に対する意識と備えについて
- ・今後の地域福祉の推進について

### ■ 概要を利用するにあたって

- (1) 図中のnとは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- (3) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。

#### 【回収率】

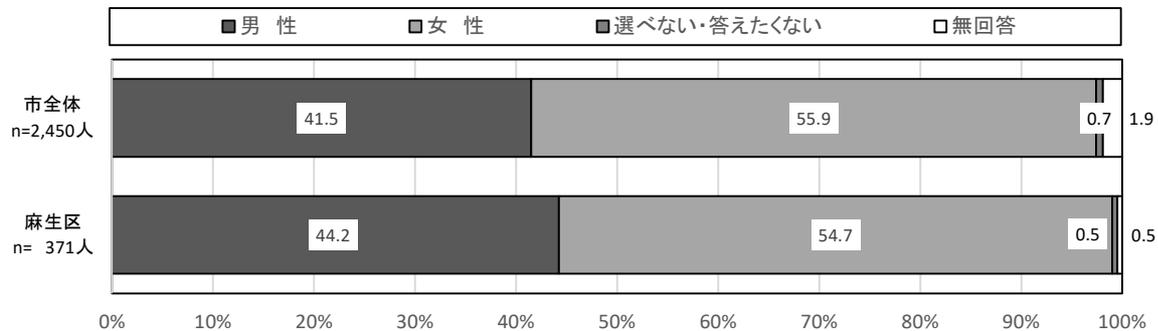
区名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	不明	全市
配布数（人）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	7,000
有効回収数（人）	303	363	346	341	359	332	371	35	2,450
有効回収率	30.3%	36.3%	34.6%	34.1%	35.9%	33.2%	37.1%	-	35.0%
（参考） 第5回収率	30.9%	33.9%	35.0%	32.6%	35.9%	35.0%	40.9%	-	35.3%



# 1. 回答者の基本属性

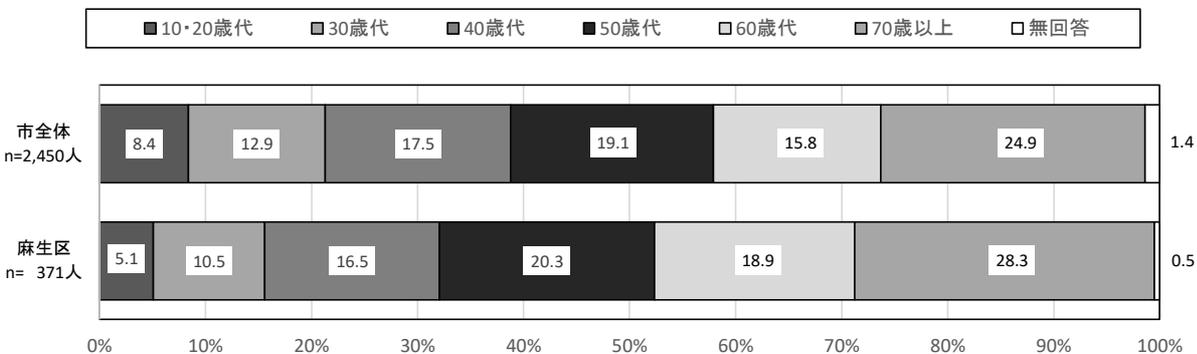
## 問1 性別を教えてください。(〇は1つだけ)

麻生区では、男性が44.2%、女性が54.7%となっている。



## 問2 現在の年齢は満何歳ですか。(〇は1つだけ)

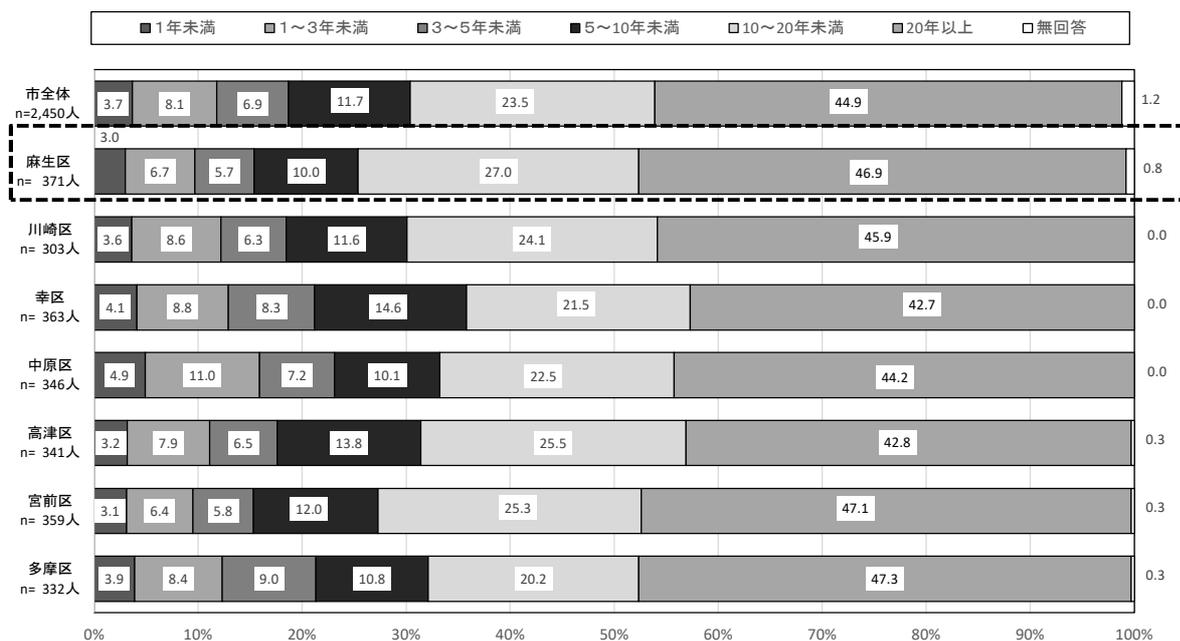
麻生区では、70歳以上が28.3%で最も高く、次いで50歳代(20.3%)、60歳代(18.9%)となっている。



※問3・問4については、地区を記載する設問のため、地区版では省略します。

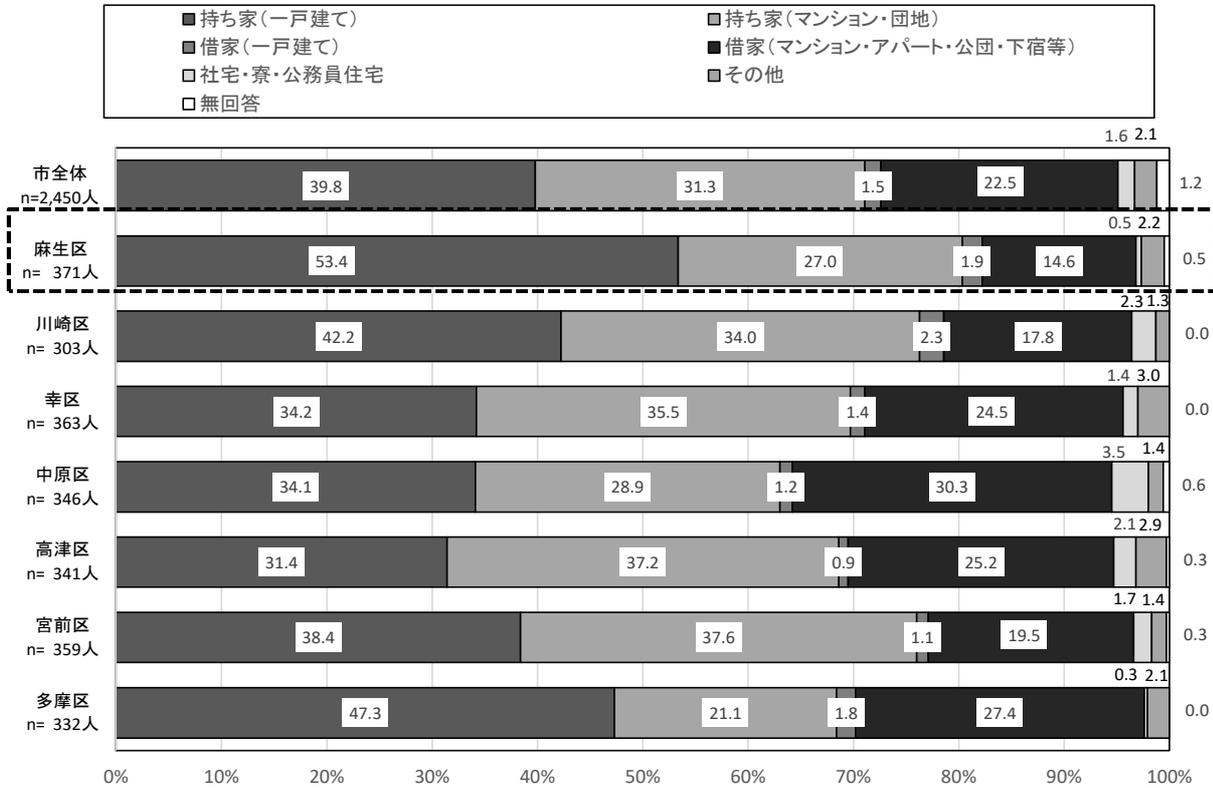
## 問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(〇は1つだけ)

麻生区では、20年以上が46.9%で最も高く、次いで10～20年未満(27.0%)、5～10年未満(10.0%)となっている。市内6区と比較すると、10年以上の割合(10～20年未満と20年以上を合わせた割合)が73.9%で最も高くなっている。



問6 現在お住まいの形態を教えてください。(〇は1つだけ)

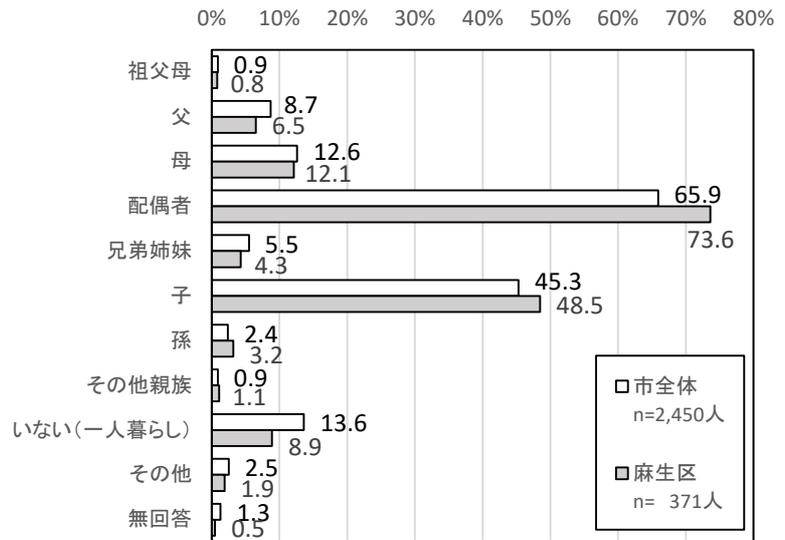
麻生区では、持ち家（一戸建て）の割合が53.4%で、市全体（39.8%）を上回っている。市内6区と比較すると、持ち家（一戸建て）と持ち家（マンション・団地）を合わせた持ち家の割合が80.4%で最も高い。



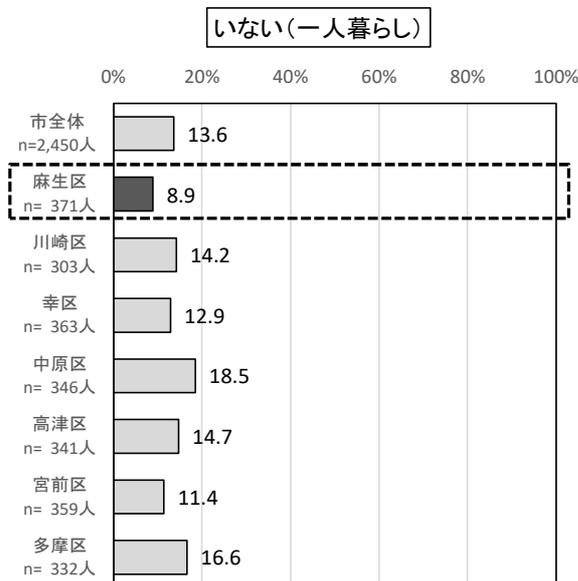
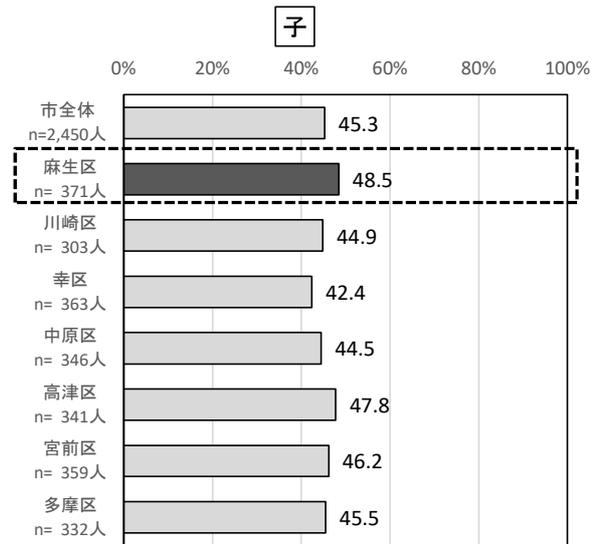
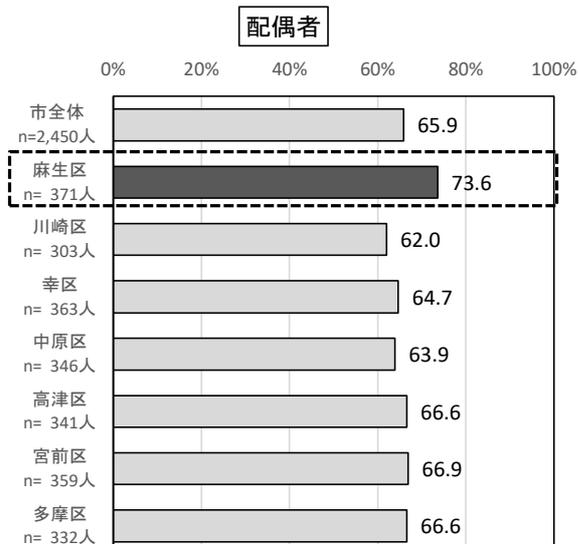
問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

麻生区では、「配偶者」が73.6%で市全体(65.9%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「配偶者」と「子」は7区で最も高く、「いない(一人暮らし)」は8.9%で、最も低くなっている。

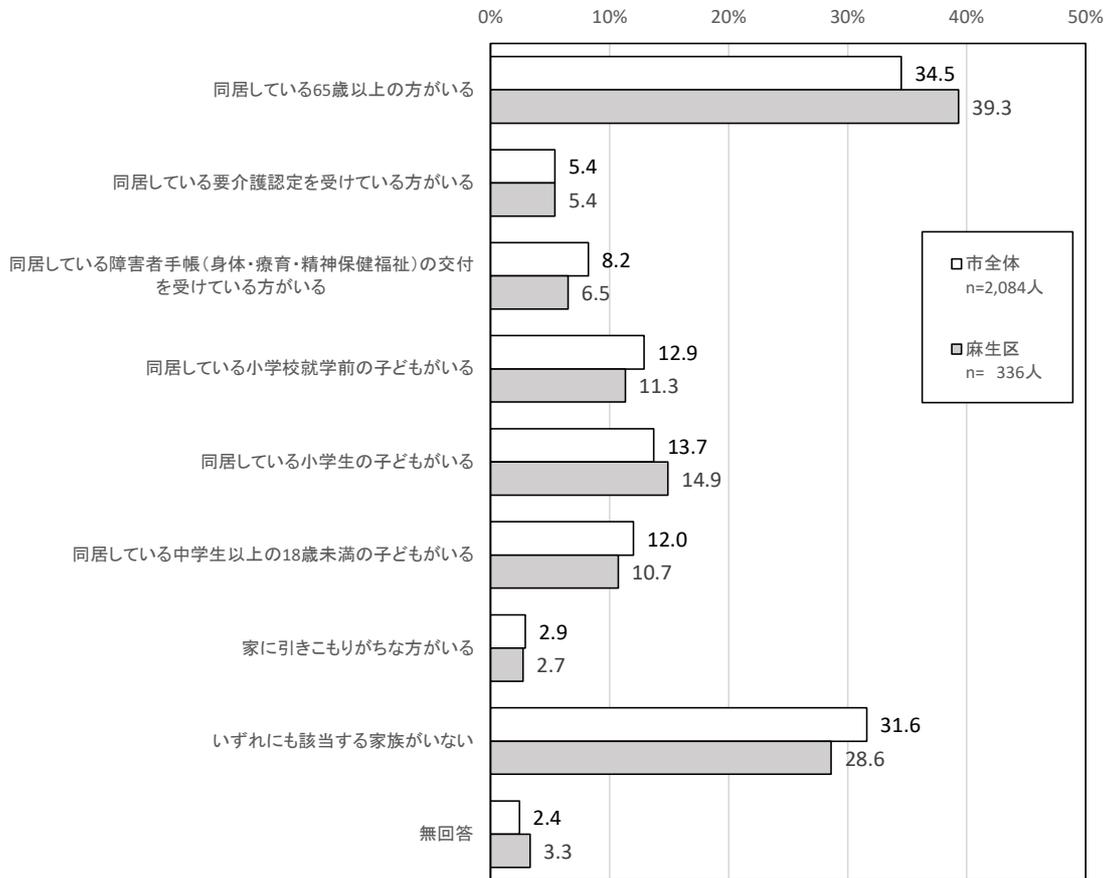


【参考】

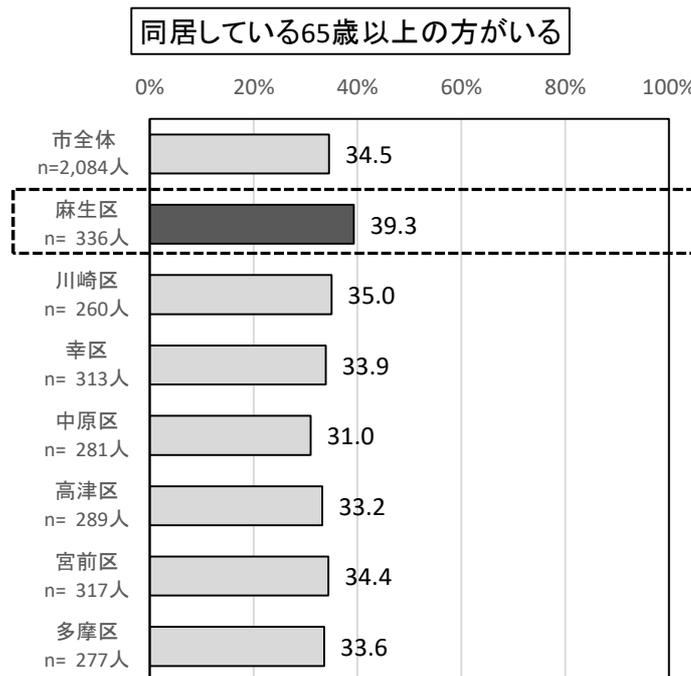


問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。  
 （あてはまるものすべてに○）

麻生区では、「同居している65歳以上の方がいる」が39.3%で市全体（34.5%）を上回っている。市内6区と比較すると、「同居している65歳以上の方がいる」割合は39.3%で最も高くなっている。



【参考】



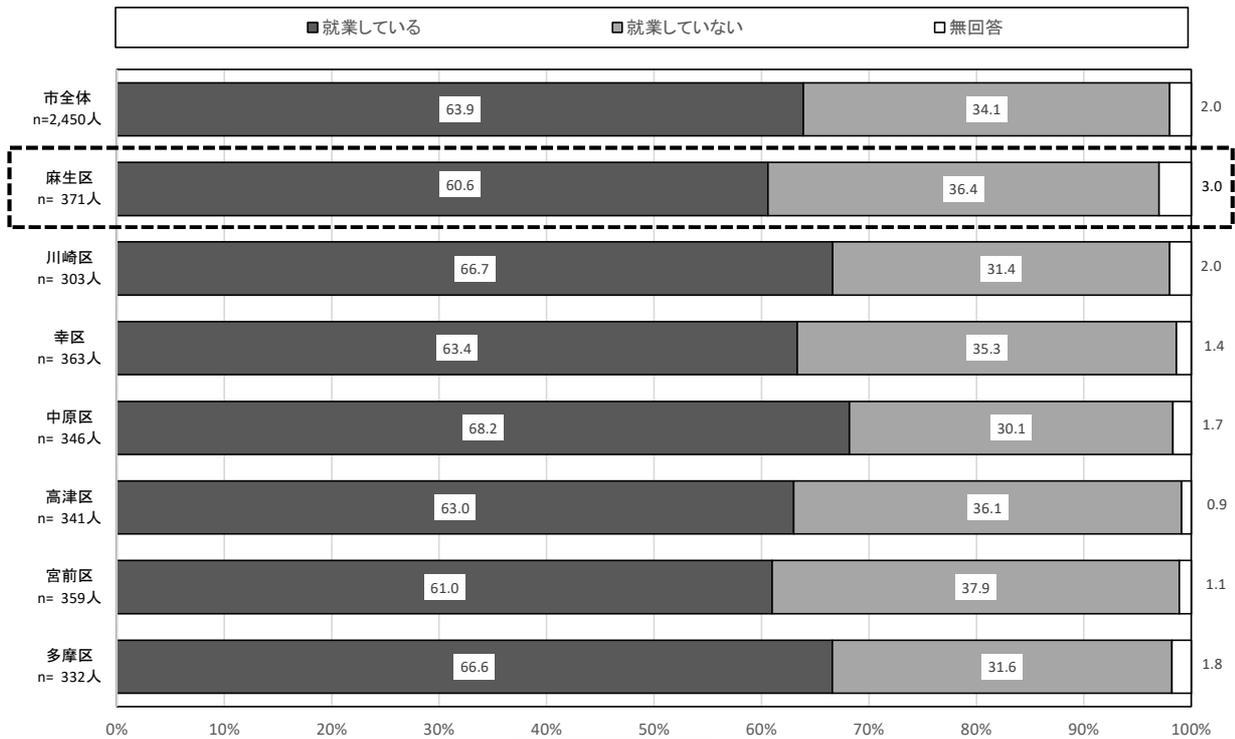
問9 就業の状況はどれに該当しますか。(〇は1つだけ)

麻生区では、就業している割合が60.6%で市全体(63.9%)を下回っている。

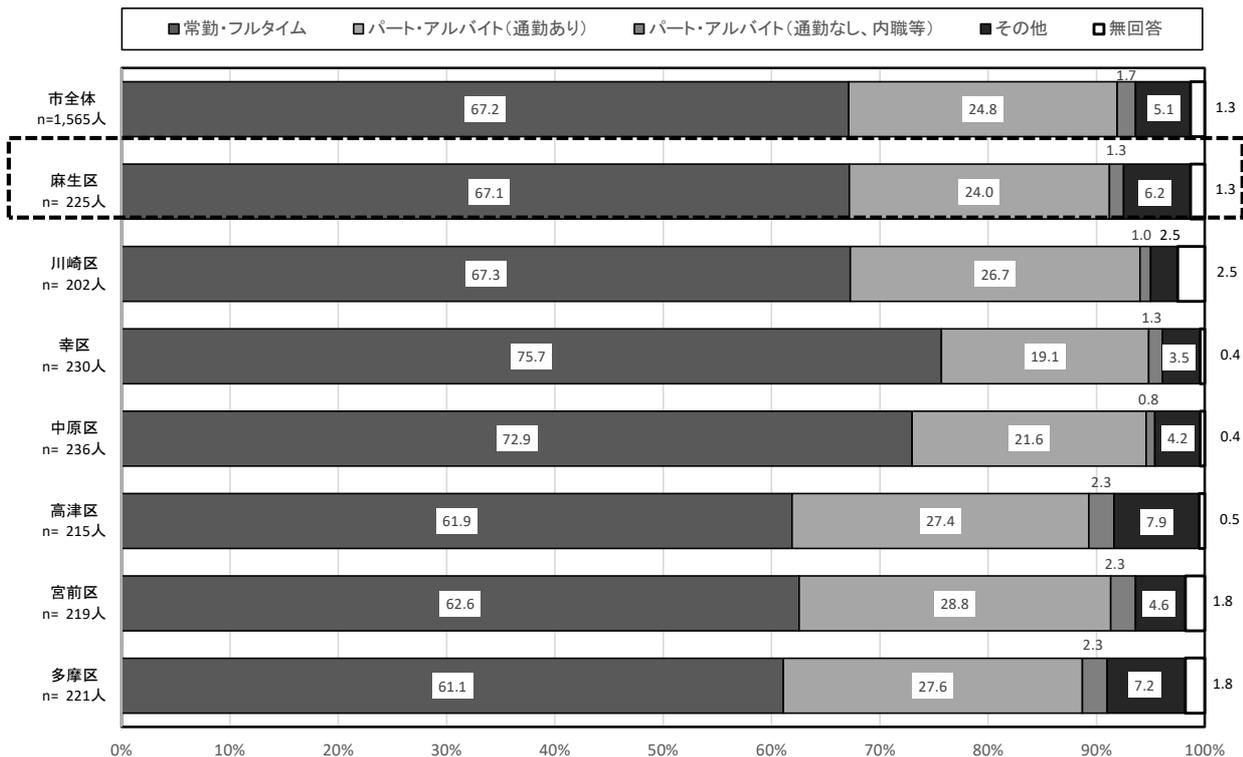
市内6区と比較すると、就業している割合は最も低くなっている。

就業形態については、常勤・フルタイムが67.1%で市全体(67.2%)とほぼ同じになっている。市内6区と比較すると、パート・アルバイト(通勤あり)の割合は24.0%で、幸区(19.1%)、中原区(21.6%)に次いで、3番目に低くなっている。

ア：就業状況

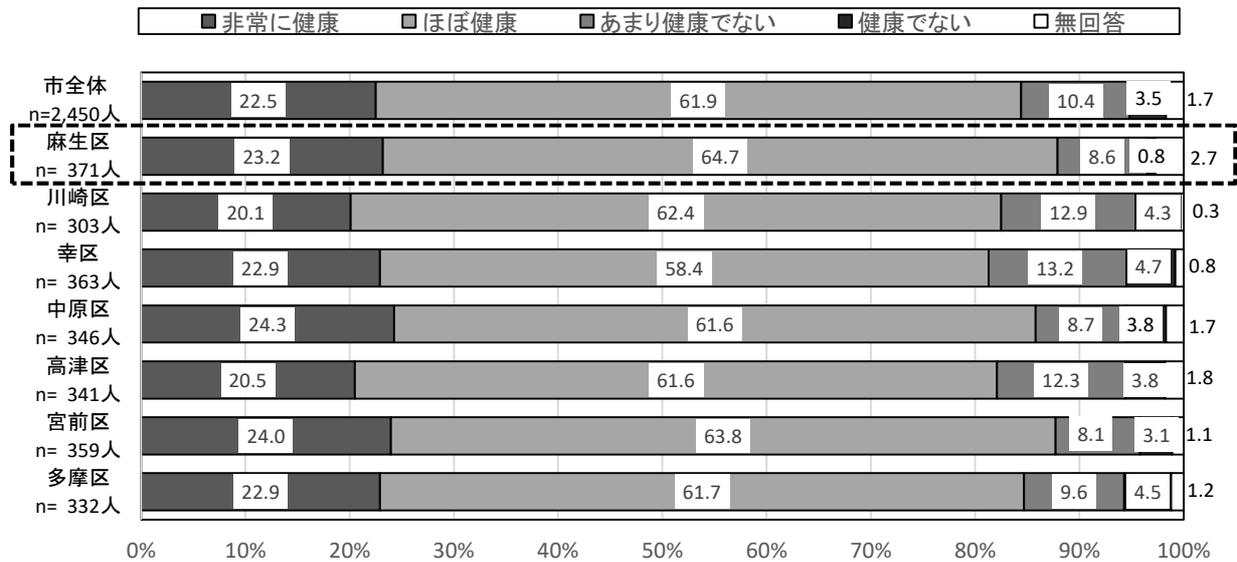


イ：就業形態



問10 あなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つだけ)

麻生区では、「ほぼ健康」の割合が64.7%で市全体(61.9%)を上回っている。市内6区と比較すると、「非常に健康」の割合が23.2%で、中原区(24.3%)、宮前区(24.0%)に次いで3番目に高くなっている。

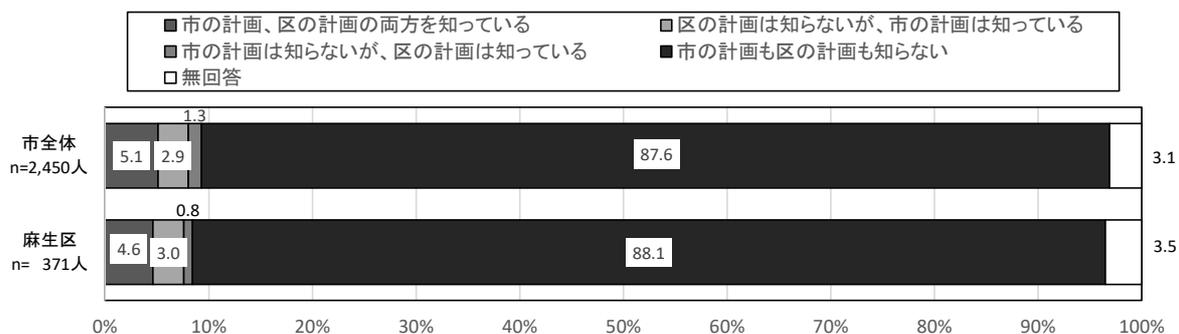


## 2. 『川崎市地域福祉計画』について

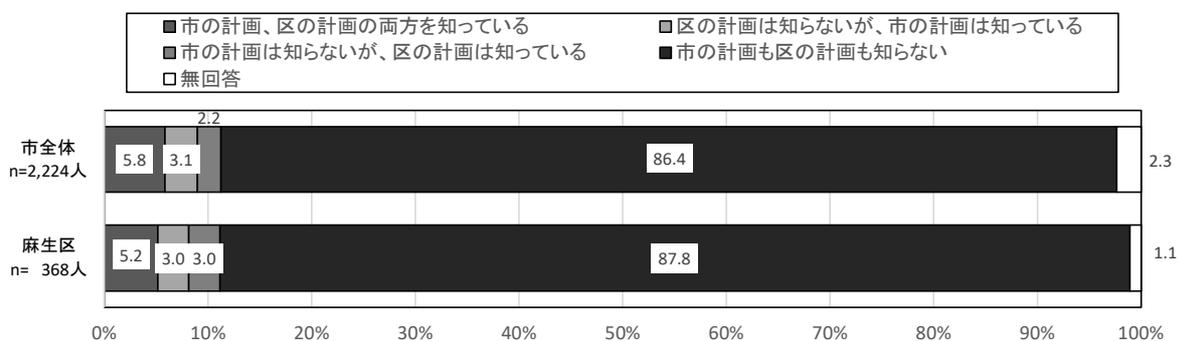
問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（○は1つだけ）

麻生区では、「市の計画も区の計画も知らない」の割合が88.1%となっている。

第5回調査と比較すると、「市の計画は知らないが、区の計画は知っている」の割合が2.2ポイント減少している。



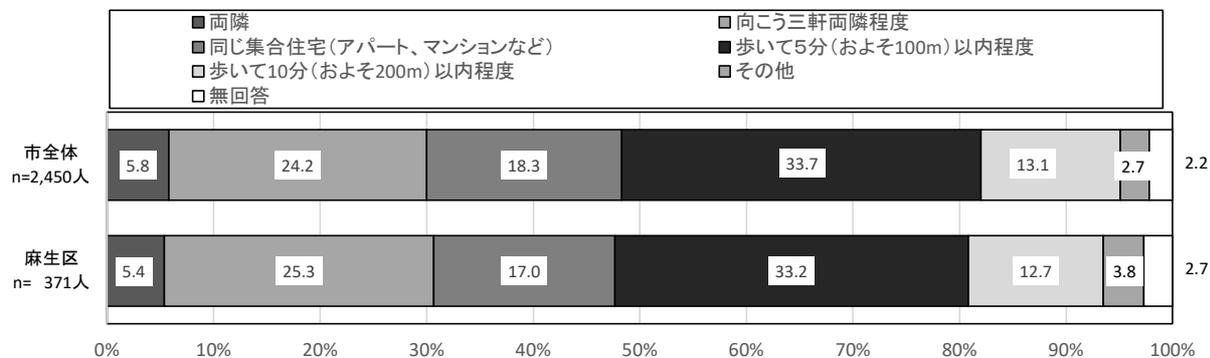
### 【参考】第5回調査結果



### 3. 居住地域について

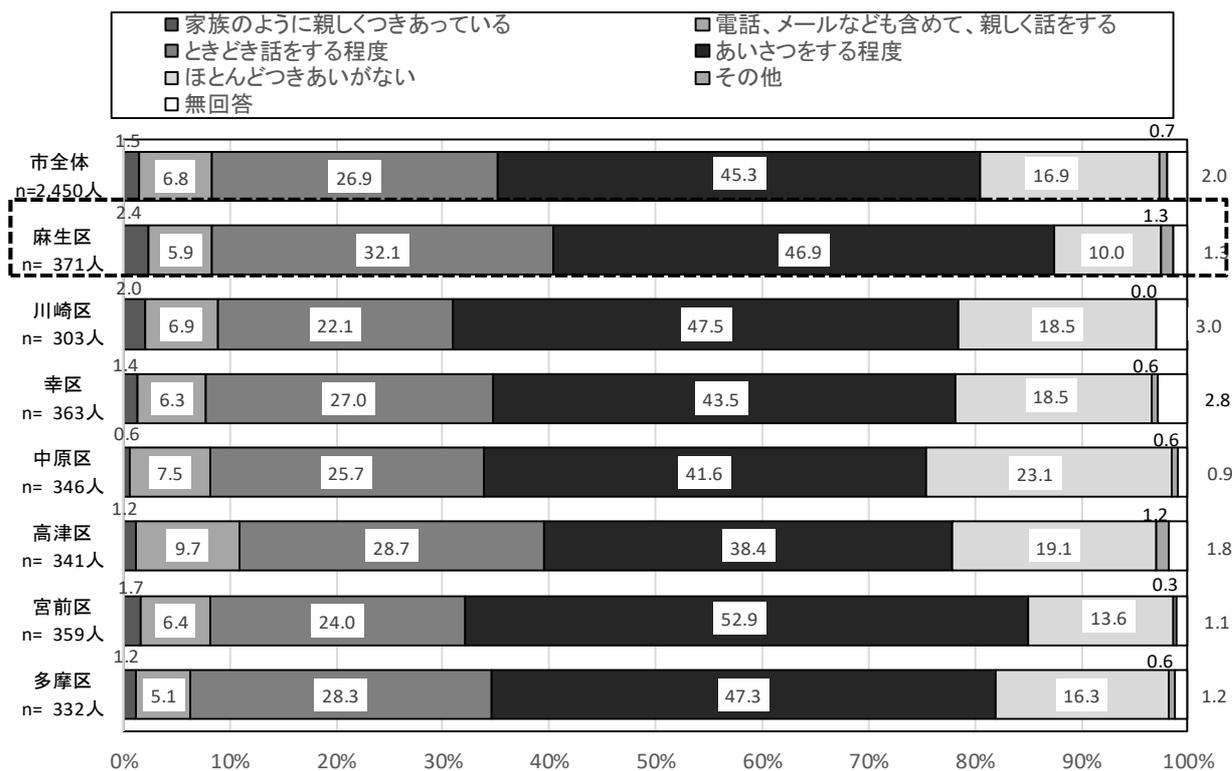
問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(○は1つだけ)

麻生区では、「向こう三軒両隣程度」の割合が25.3%で市全体(24.2%)を上回っている。



問 14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

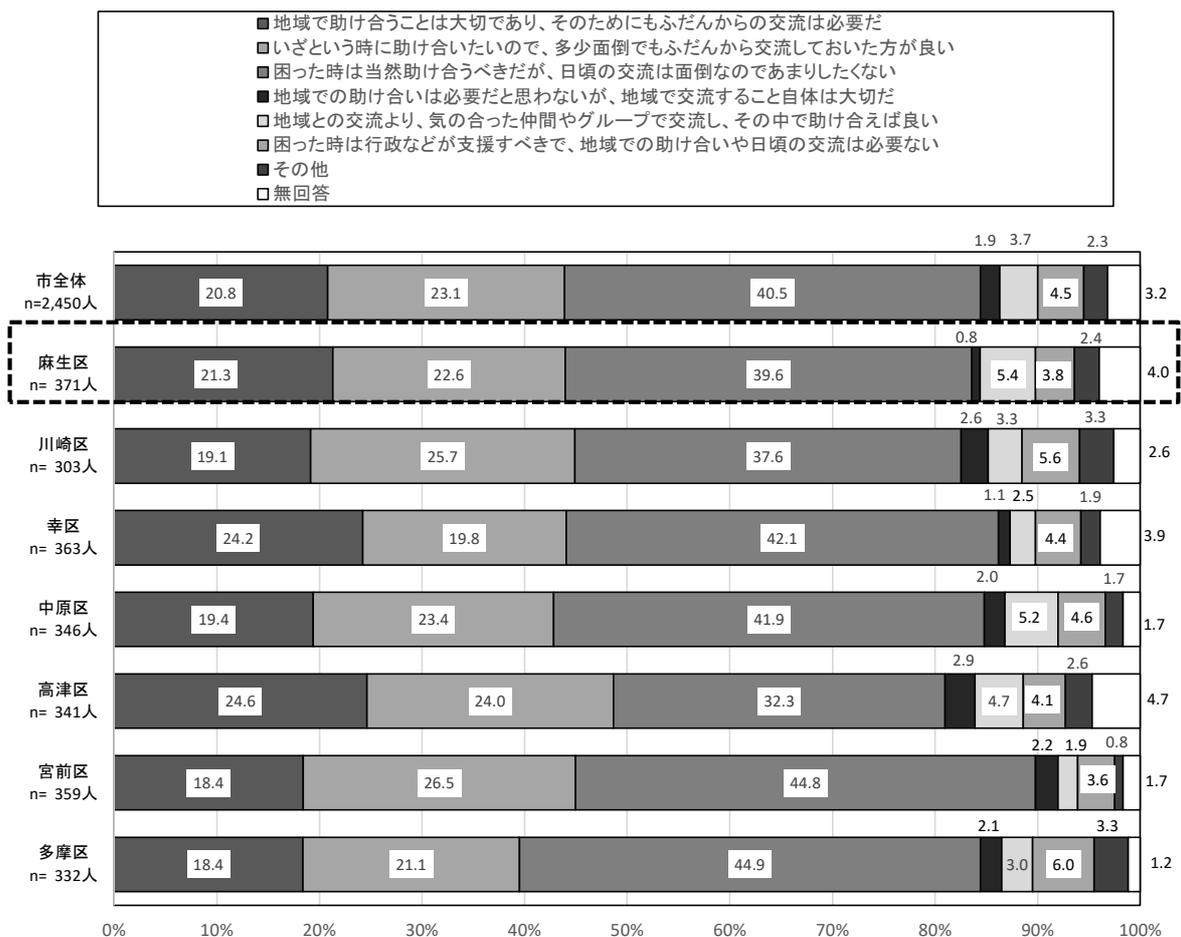
麻生区では、「ときどき話をする程度」の割合が32.1%で市全体(26.9%)を上回っている。市内6区と比較すると、「家族のように親しくつきあっている」「電話、メールなども含めて、親しく話をする」「ときどき話をする程度」を合わせた割合は40.4%で最も高くなっている。



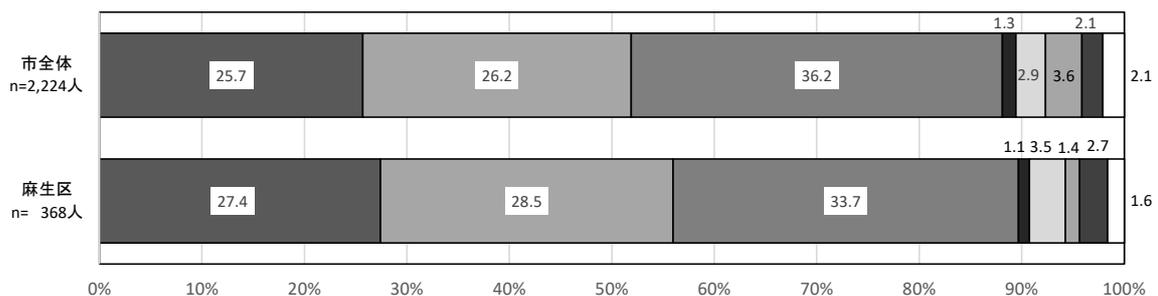
問 15 あなたは、近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。（〇は1つだけ）

麻生区では、「困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が39.6%で市全体（40.5%）を下回っている。市内6区と比較すると、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」の割合は22.6%で、幸区（19.8%）、多摩区（21.1%）に次いで、3番目に低い。

第5回調査と比較すると、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」を合わせた割合が12.0ポイント減少している。また、「困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が5.9ポイント増加している。

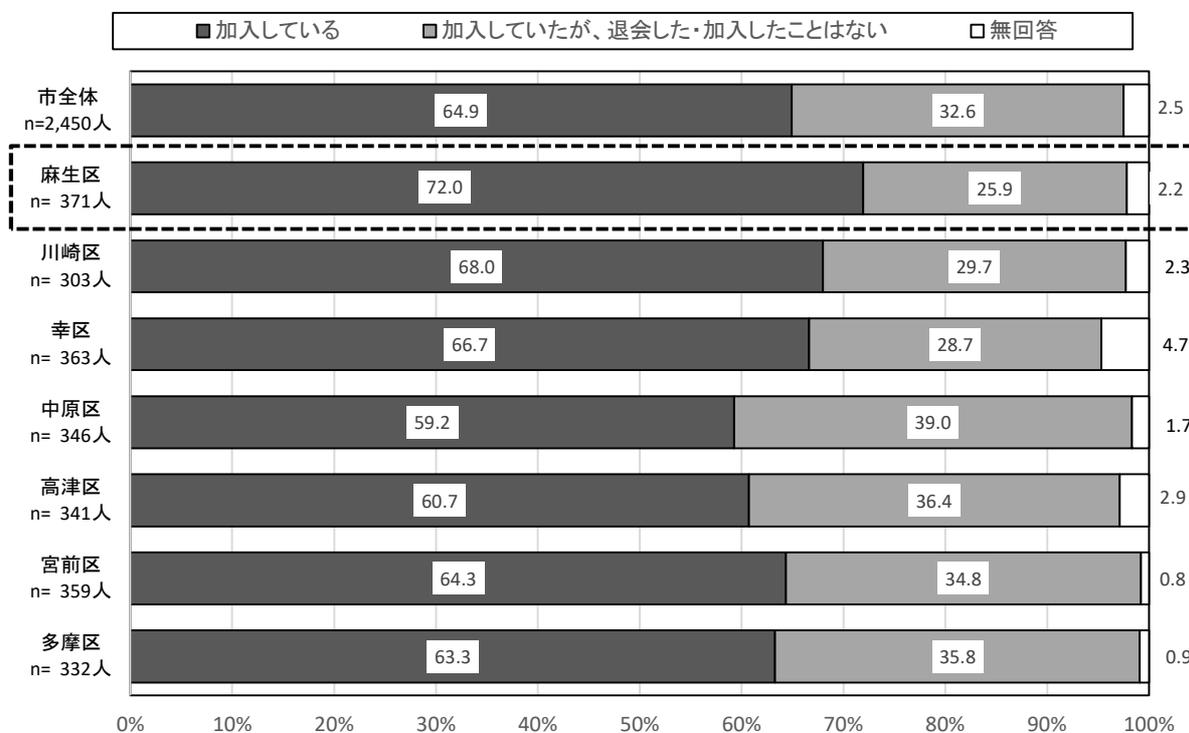


【参考】第5回調査結果



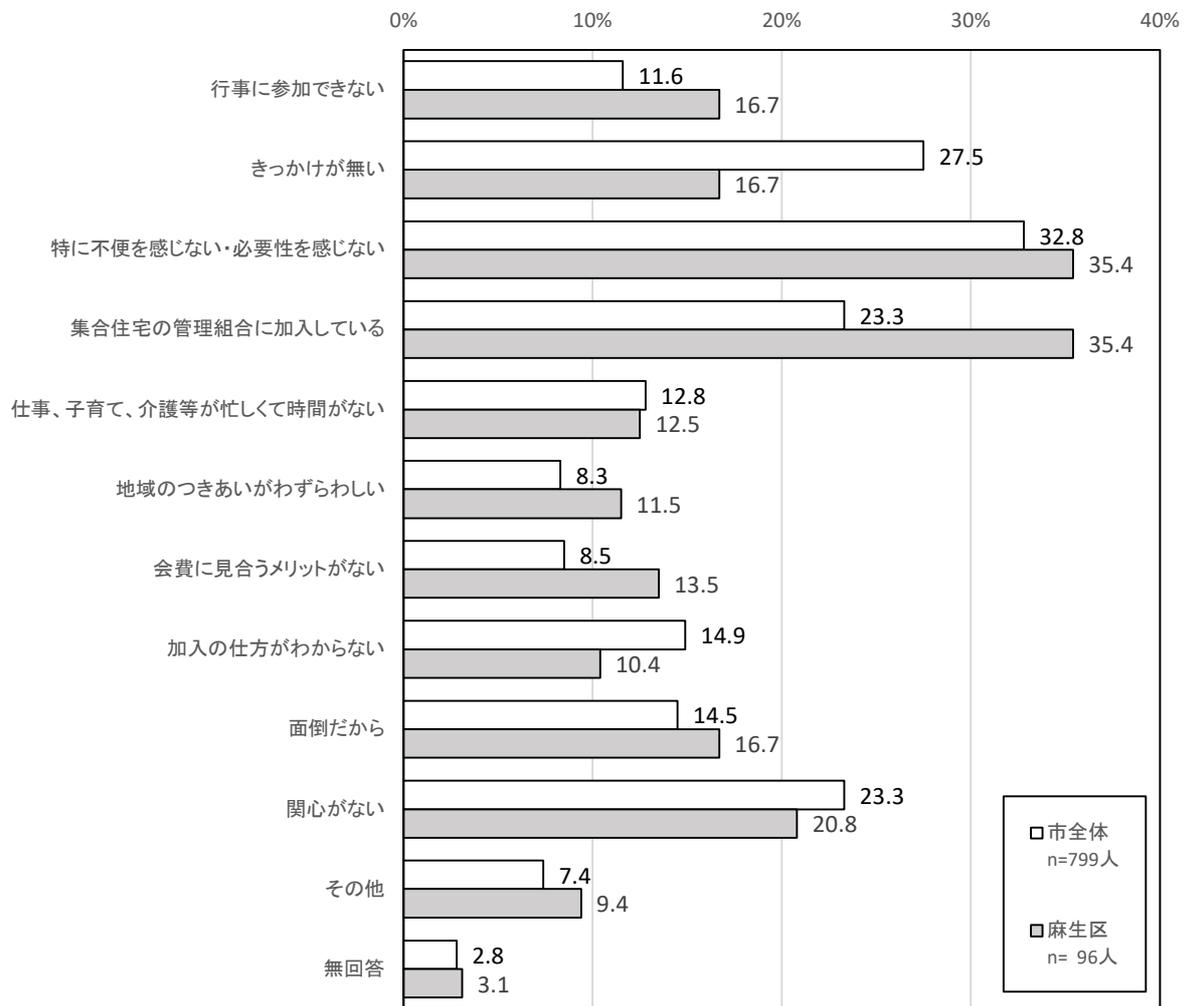
問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

麻生区では、「加入している」割合が72.0%で市全体(64.9%)を上回っている。市内6区と比較すると、「加入している」割合は最も高くなっている。



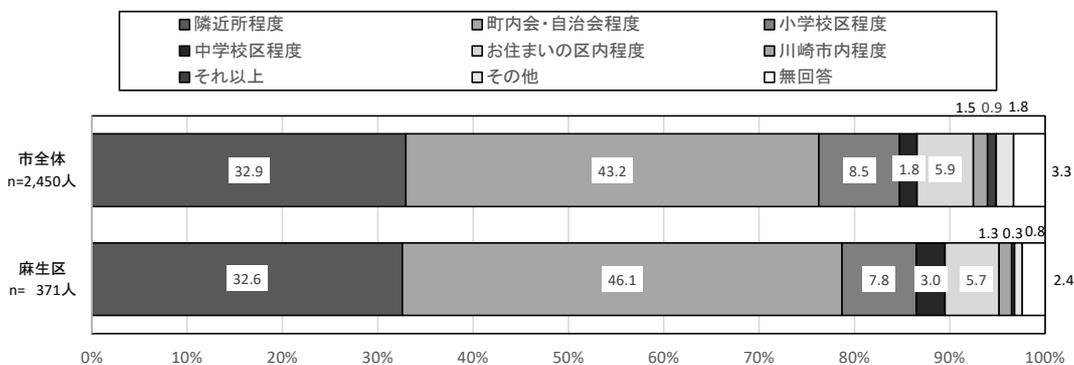
問 16 - 1 《問 16 で「加入していたが、退会した・加入したことはない」とお答えの方》現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

麻生区では、「集合住宅の管理組合に加入している」の割合が 35.4% で市全体（23.3%）を上回っている。



問 17 あなたは、助けあいをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

麻生区では、「町内会・自治会程度」の割合が 46.1% で市全体（43.2%）を上回っている。

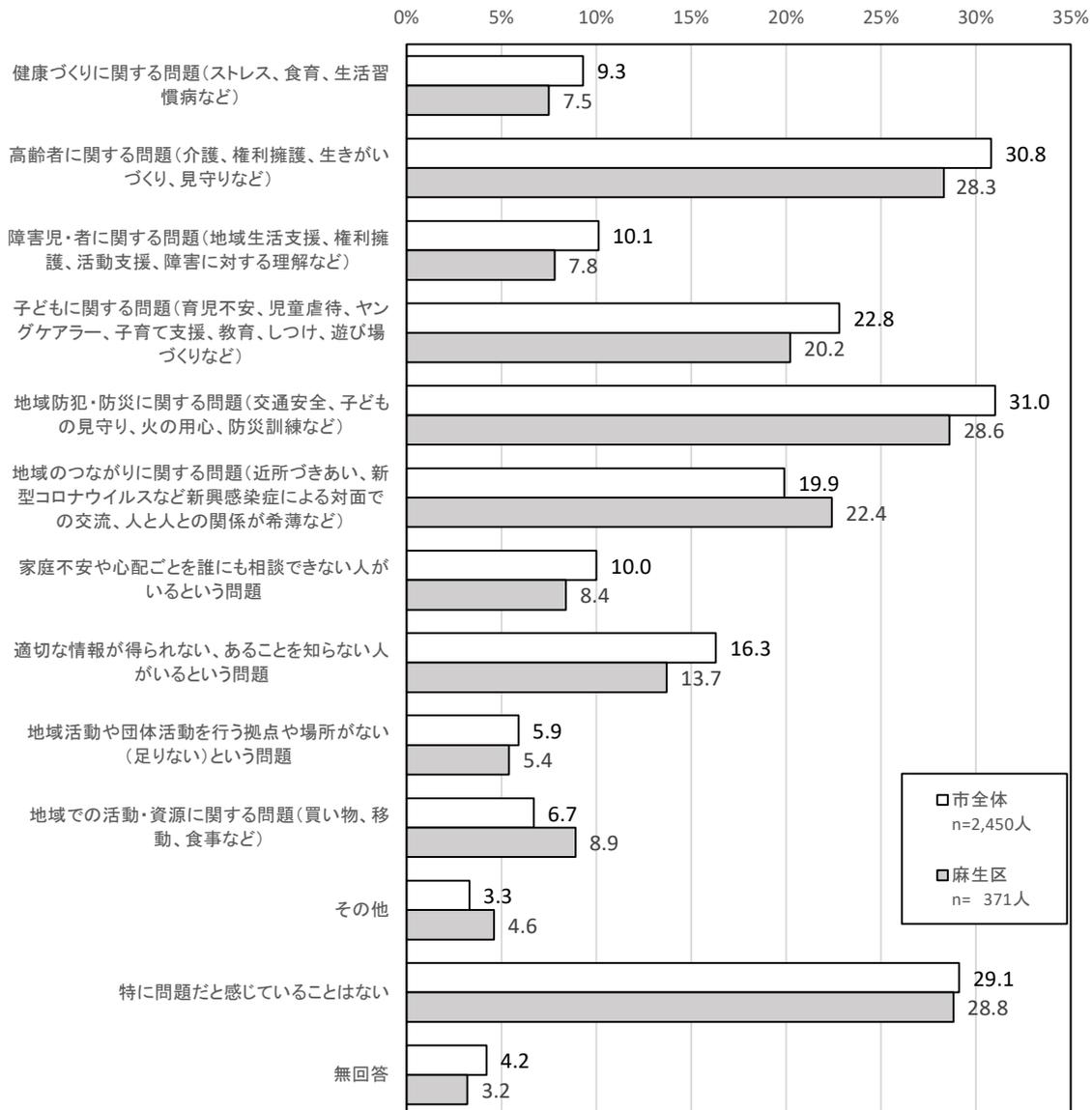


問 18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

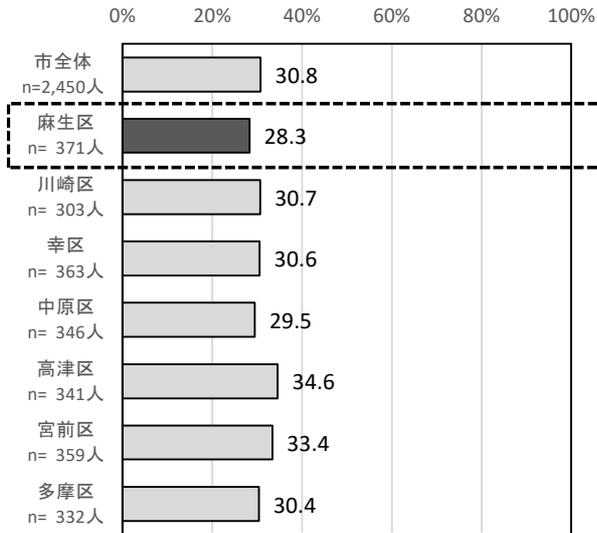
麻生区では、「特に問題だと感じていることはない」の割合が28.8%で最も高く、次いで「地域防犯・防災に関する問題(交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など)」(28.6%)、「高齢者に関する問題(介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど)」(28.3%)となっている。

市内6区と比較すると、「高齢者に関する問題(介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど)」(28.3%)が最も低く、「地域防犯・防災に関する問題(交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など)」(28.6%)が2番目に低い。「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題」(13.7%)が最も低い。

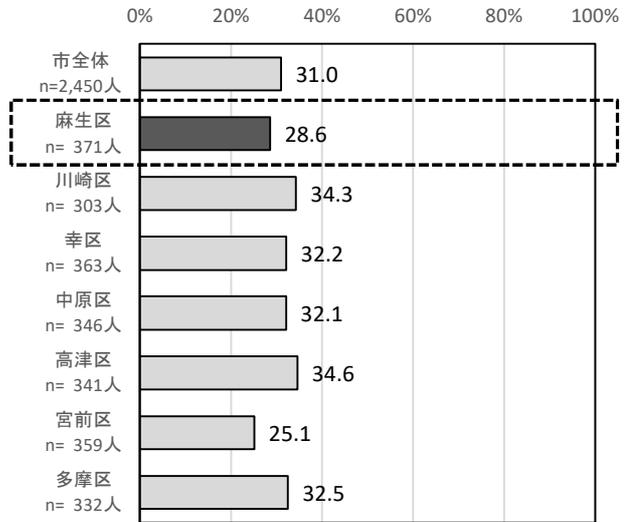


【参考】

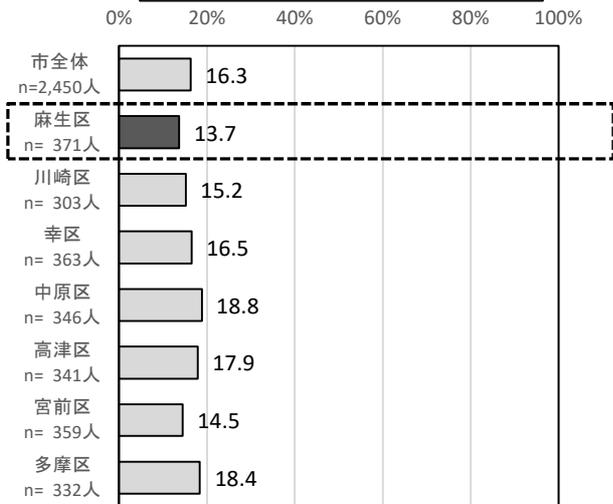
高齢者に関する問題



地域防犯・防災に関する問題



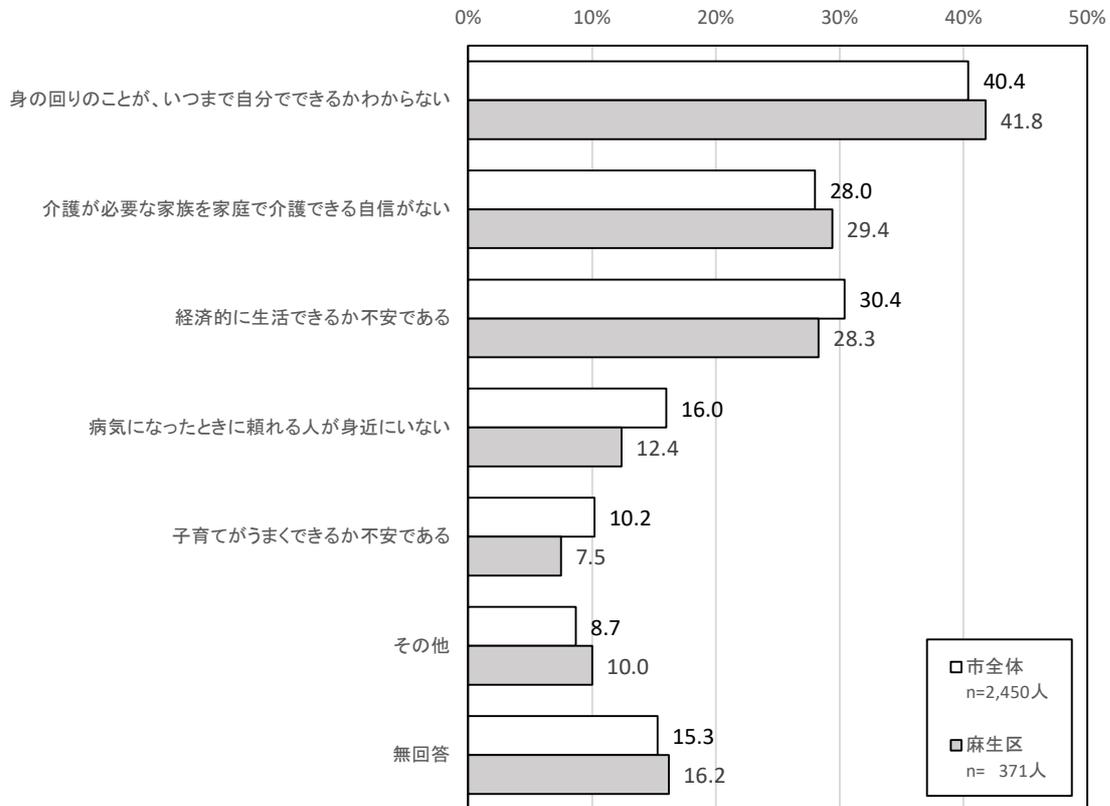
適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題



問19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

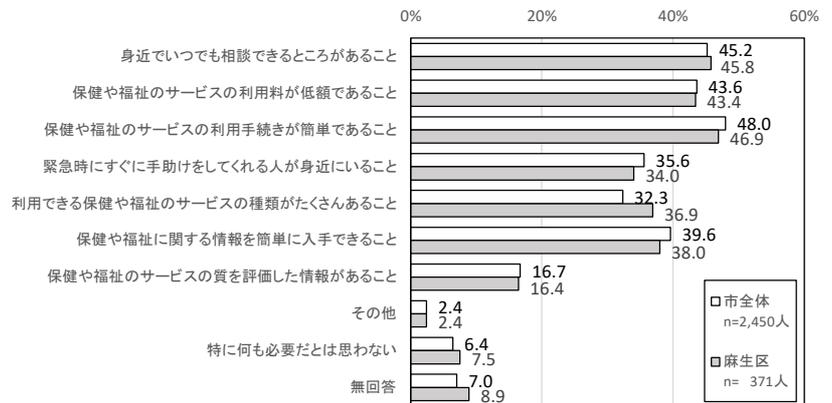
麻生区では、「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」の割合が41.8%で最も高く、次いで「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」(29.4%)、「経済的に生活できるか不安である」(28.3%)となっている。



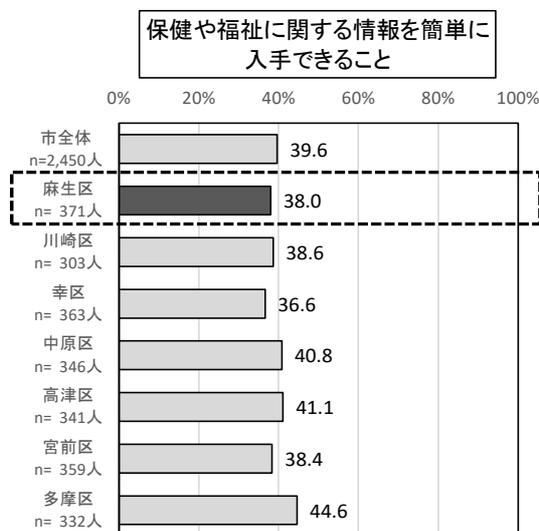
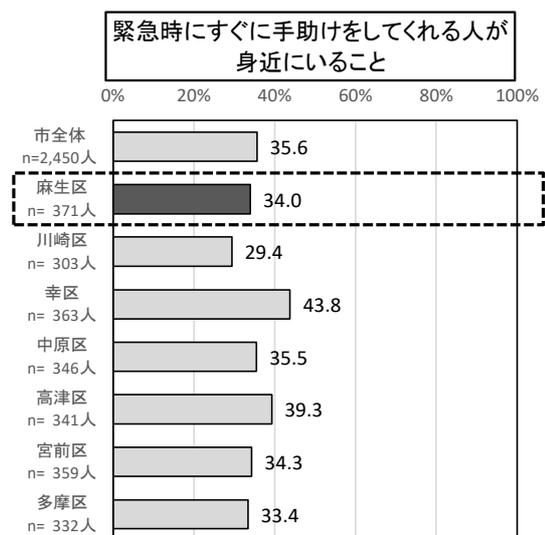
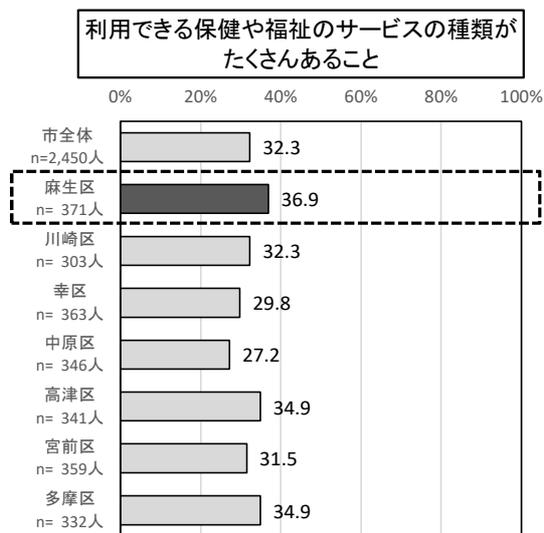
問20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。  
(あてはまるものすべてに〇)

麻生区は、「利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること」が36.9%で、市全体(32.3%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること」は36.9%と最も高くなっている。また、「緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること」は34.0%と3番目に低くなっている。「保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること」は38.0%で2番目に低くなっている。



【参考】

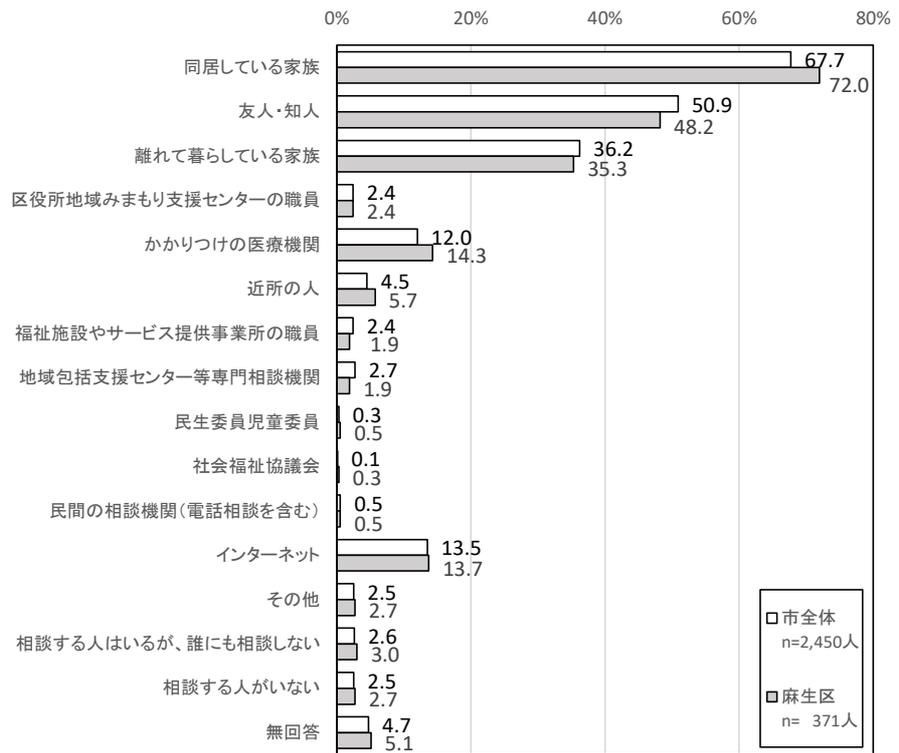


問21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。

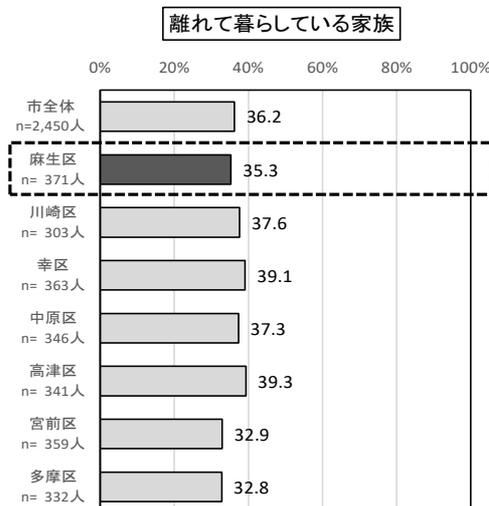
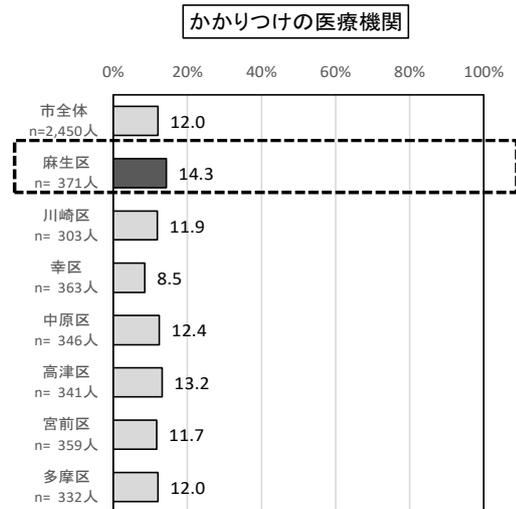
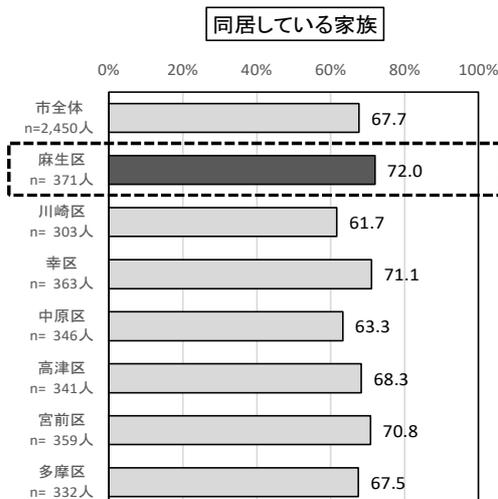
(あてはまるものすべてに○)

麻生区では、「同居している家族」が72.0%で市全体(67.7%)より高くなっている。

市内6区と比較すると、「同居している家族」が72.0%、「かかりつけの医療機関」が14.3%と最も高く、「離れて暮らしている家族」が35.3%で3番目に低くなっている。



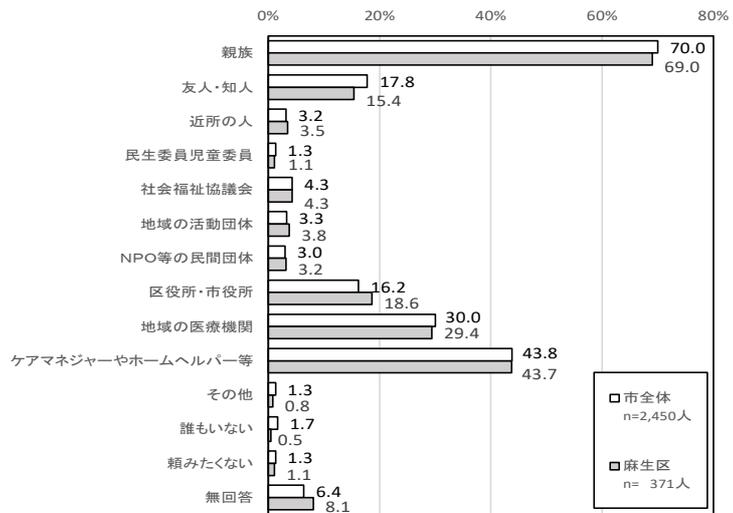
【参考】



問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に助けを頼みたいですか。（〇は3つまで）

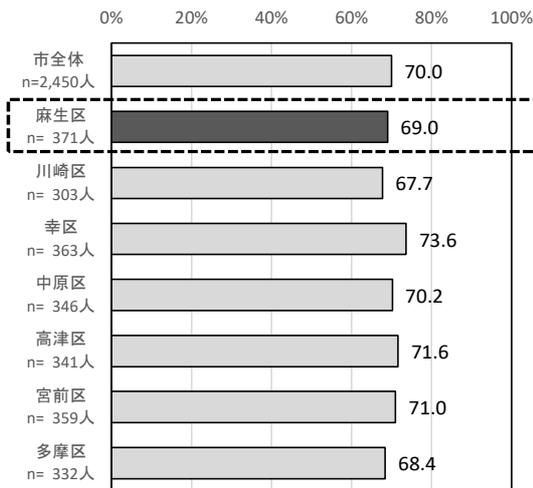
麻生区では、「親族」は69.0%で市全体（70.0%）を下回っている。

市内6区と比較すると、「親族」は69.0%、「ケアマネジャーやホームヘルパー等」は43.7%と3番目に、「地域の医療機関」は29.4%と2番目に低くなっている。

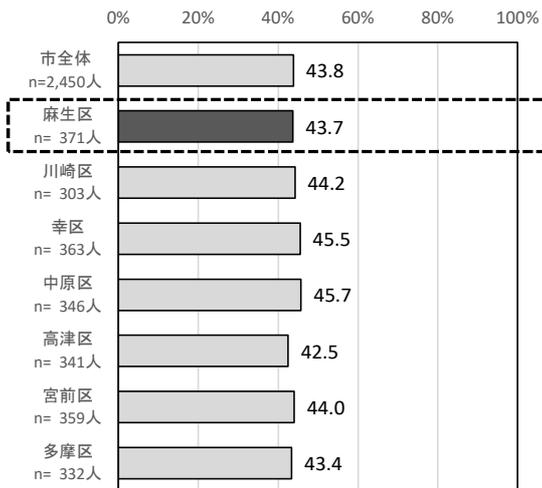


【参考】

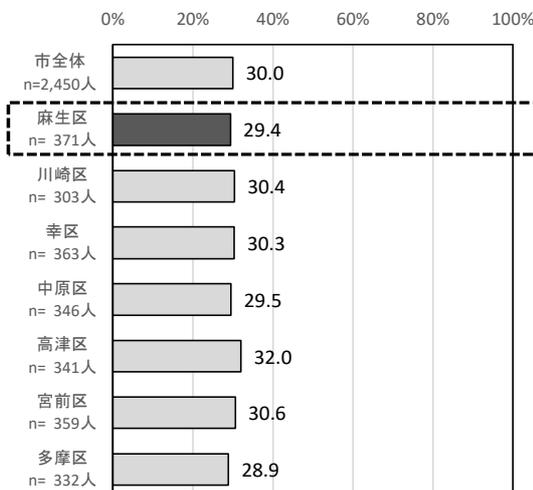
親族



ケアマネジャーやホームヘルパー等



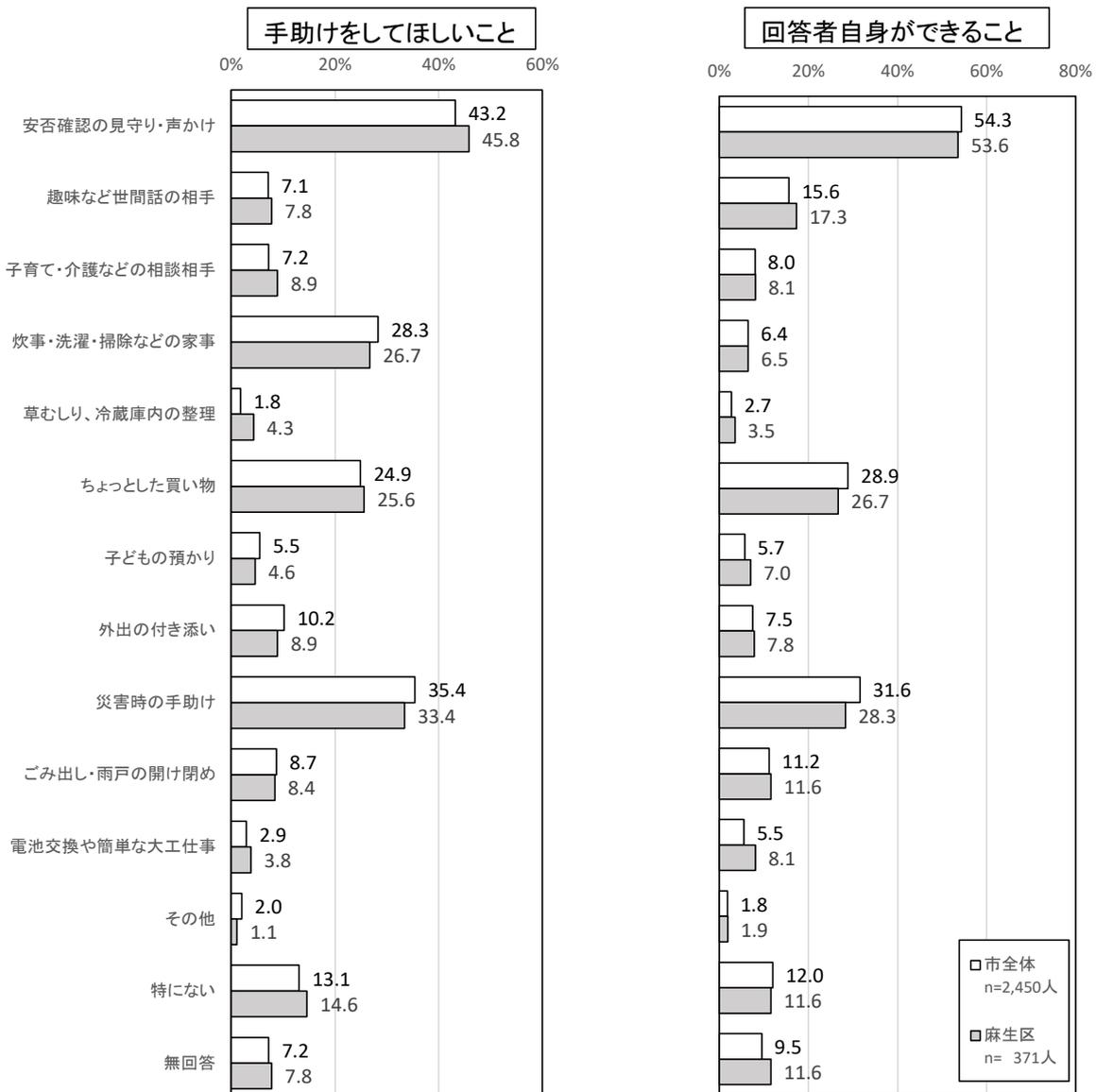
地域の医療機関



問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(〇は3つまで)

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで)

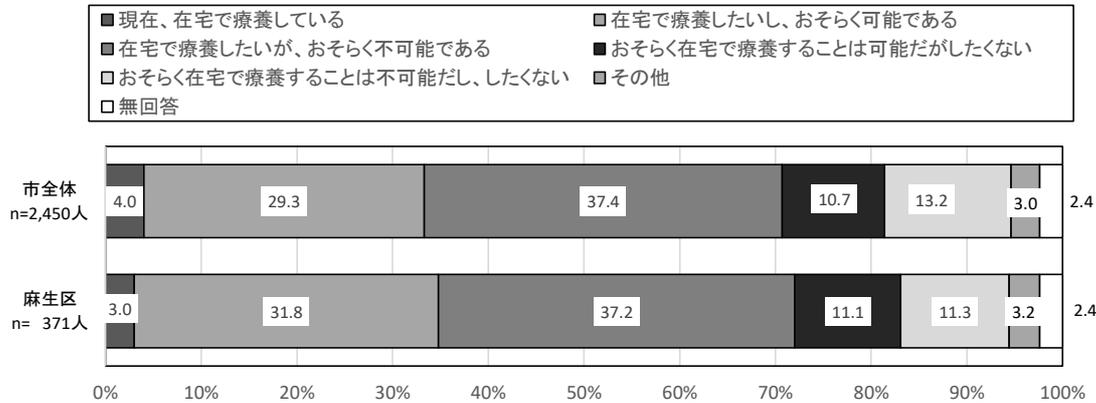
麻生区では、手助けをしてほしいことについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が45.8%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(33.4%)、「炊事・洗濯・掃除などの家事」(26.7%)となっており、自身ができることについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が53.6%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(28.3%)、「ちょっとした買物」(26.7%)となっている。



**問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。**

(○は1つだけ)

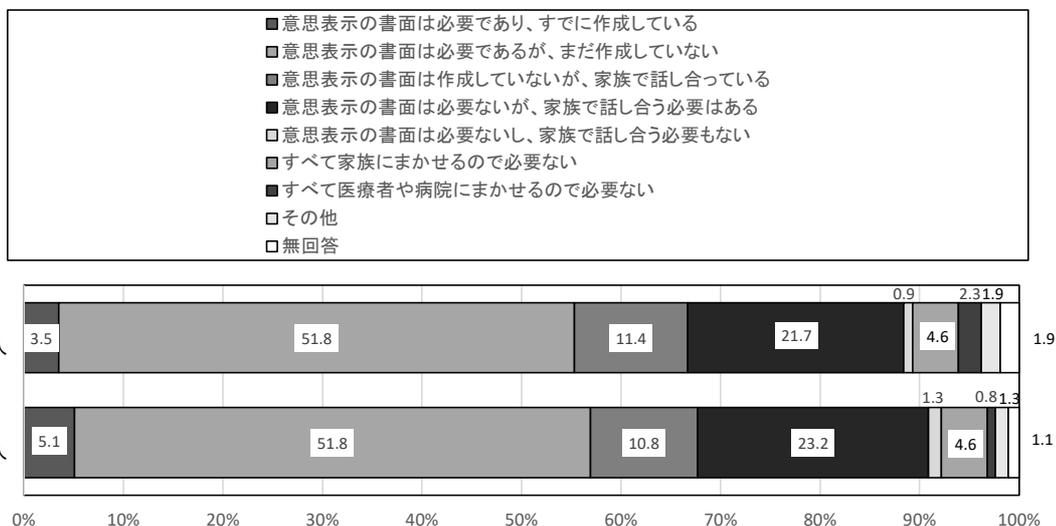
麻生区では、「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」の割合が37.2%で最も高く、次いで「在宅で療養したいし、おそらく可能である」(31.8%)、「おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない」(11.3%)となっている。



**問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。**

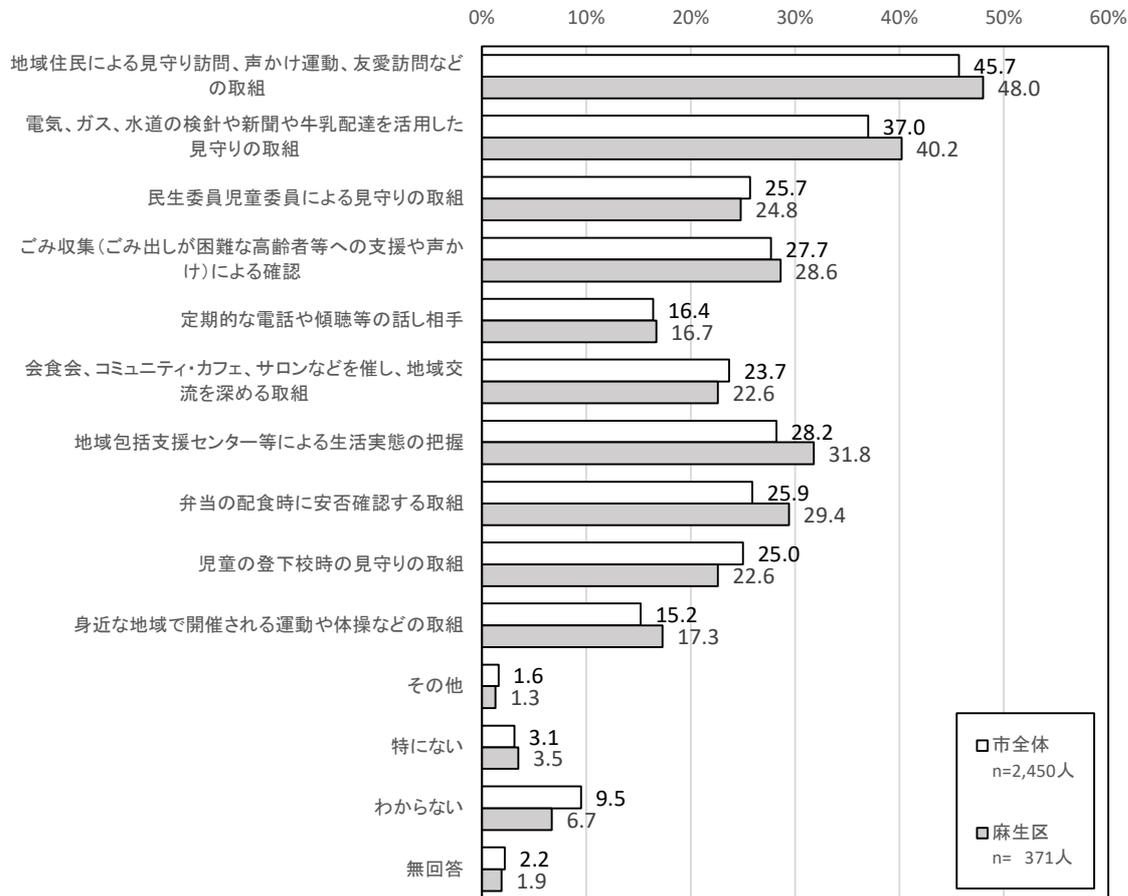
(○は1つだけ)

麻生区では、「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」の割合が51.8%で最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」(23.2%)、「意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている」(10.8%)となっている。



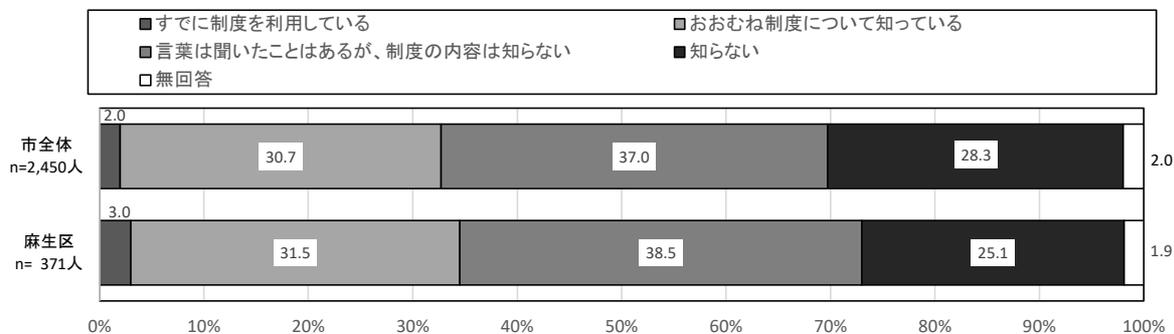
**問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）（新規設問）**

麻生区では、「地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組」の割合が48.0%で最も高く、次いで「電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組」（40.2%）、「地域包括支援センター等による生活実態の把握」（31.8%）となっている。



**問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）**

麻生区では、「言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」の割合が38.5%で最も高く、次いで「おおむね制度について知っている」（31.5%）、「知らない」（25.1%）となっている。

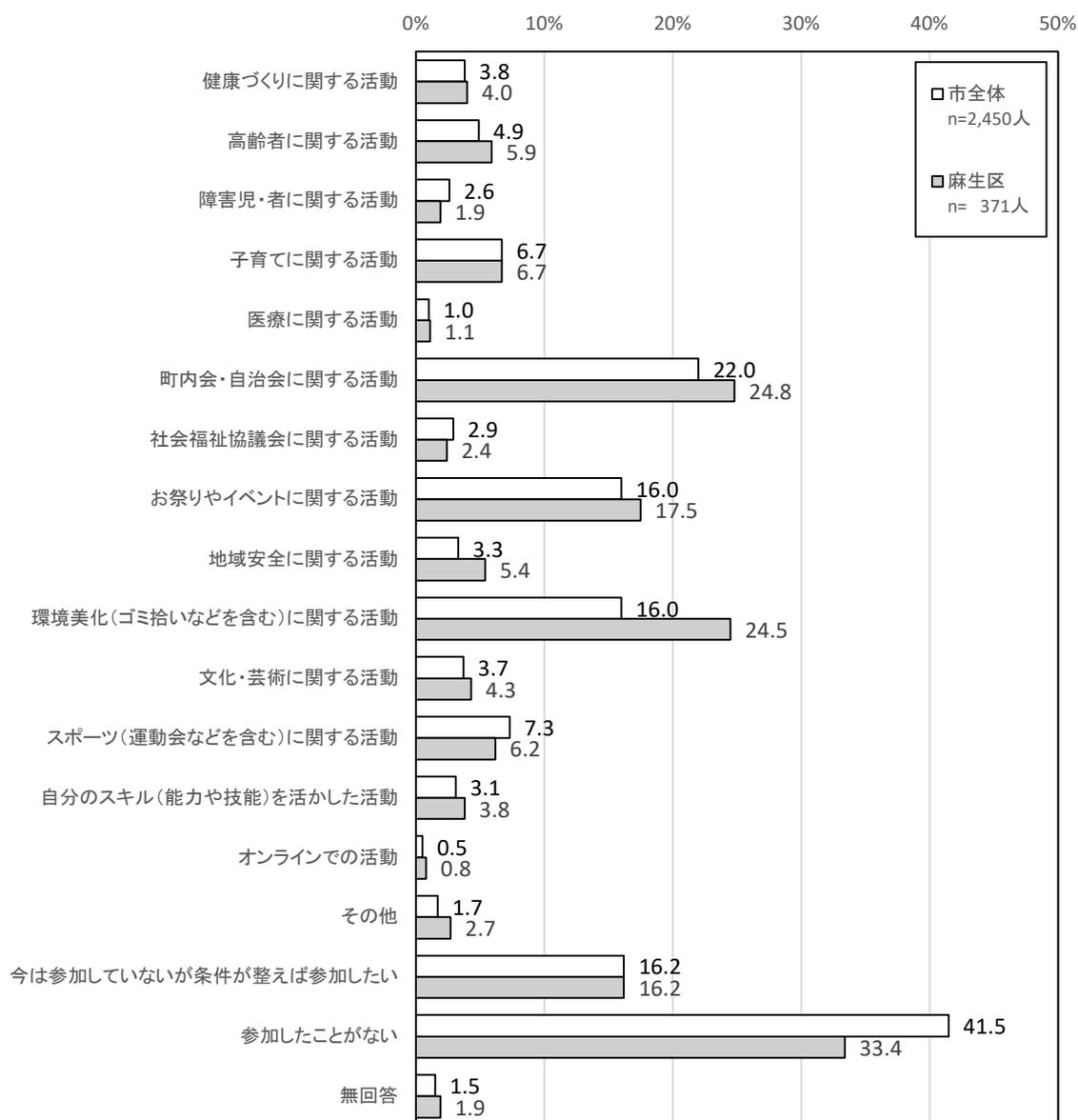


## 4. 地域活動やボランティア活動について

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

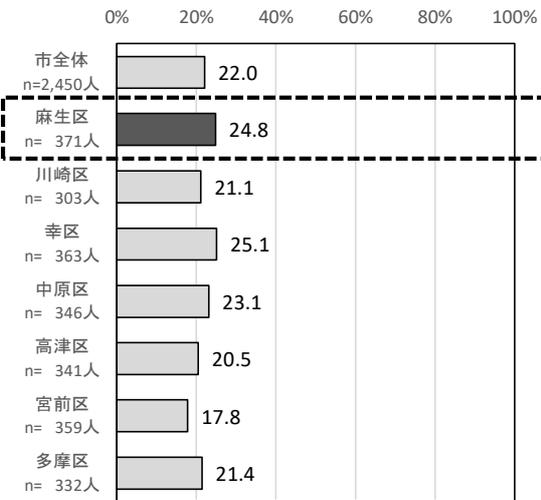
麻生区では、「参加したことがない」の割合が33.4%で最も高く、次いで「町内会・自治会に関する活動」（24.8%）、「環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動」（24.5%）となっている。

市内6区と比較すると、「環境美化に関する活動」（24.5%）の割合が最も高く、「町内会・自治会に関する活動」（24.8%）は2番目、「社会福祉協議会に関する活動」（4.0%）は3番目に高くなっている。また、「参加したことがない」の割合は33.4%で最も低くなっている。

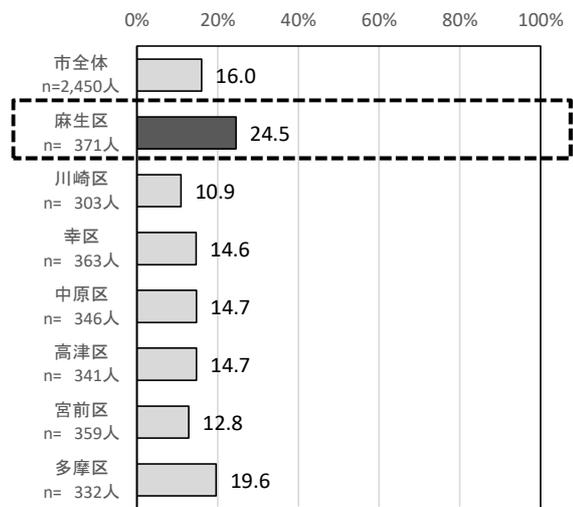


【参考】

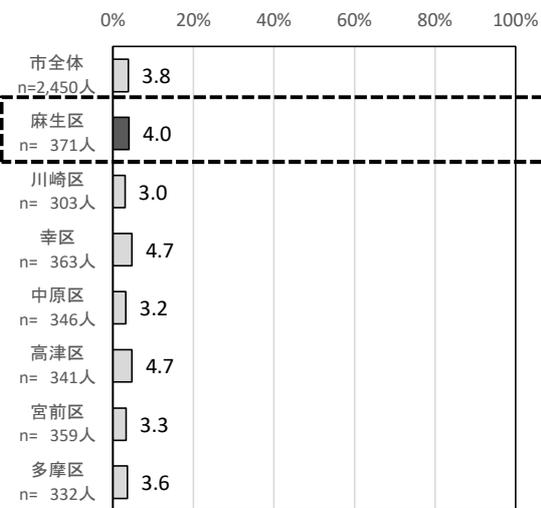
町内会・自治会に関する活動



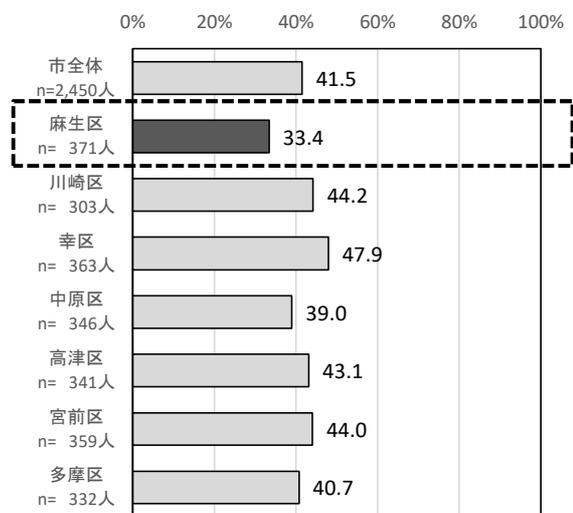
環境美化に関する活動



健康づくりに関する活動



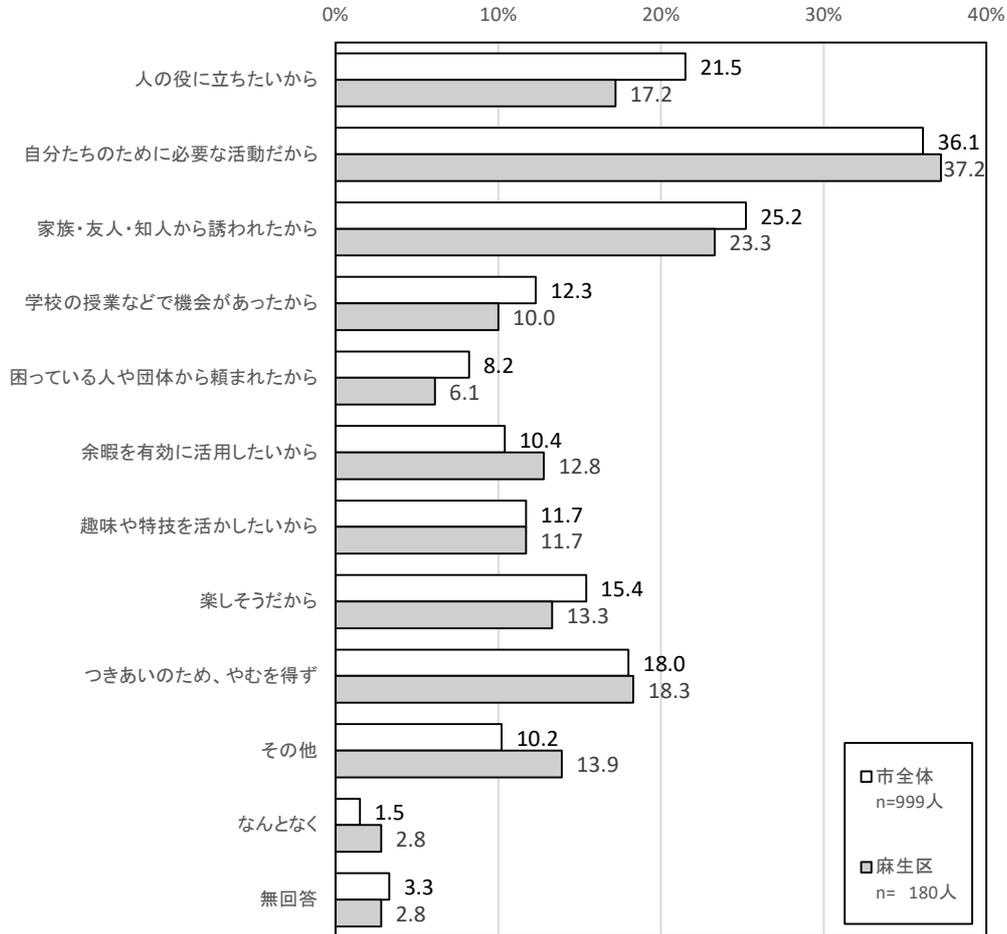
参加したことがない



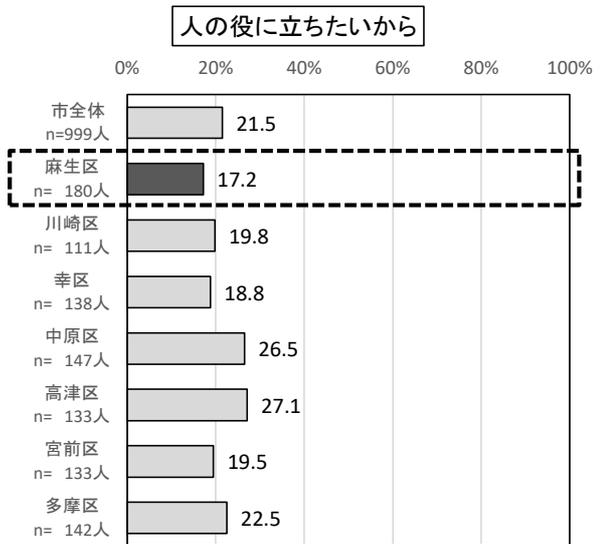
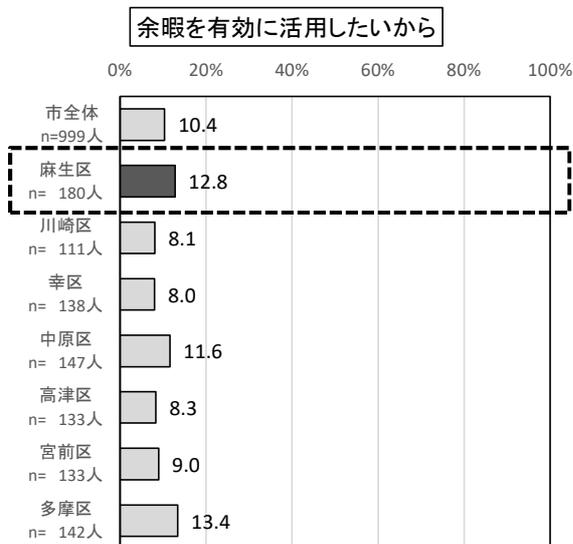
問30-1 《問30で「1」～「15」のいずれか（ボランティア活動に参加したことがある）にお答えの方》活動に参加した動機やきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

麻生区では、「自分たちのために必要な活動だから」の割合が37.2%で最も高く、次いで「家族・友人・知人から誘われたから」（23.3%）、「つきあいのため、やむを得ず」（18.3%）となっている。

市内6区と比較すると、「余暇を有効に活用したいから」が12.8%で2番目に高く、「人の役に立ちたいから」が17.2%で最も低くなっている。



【参考】

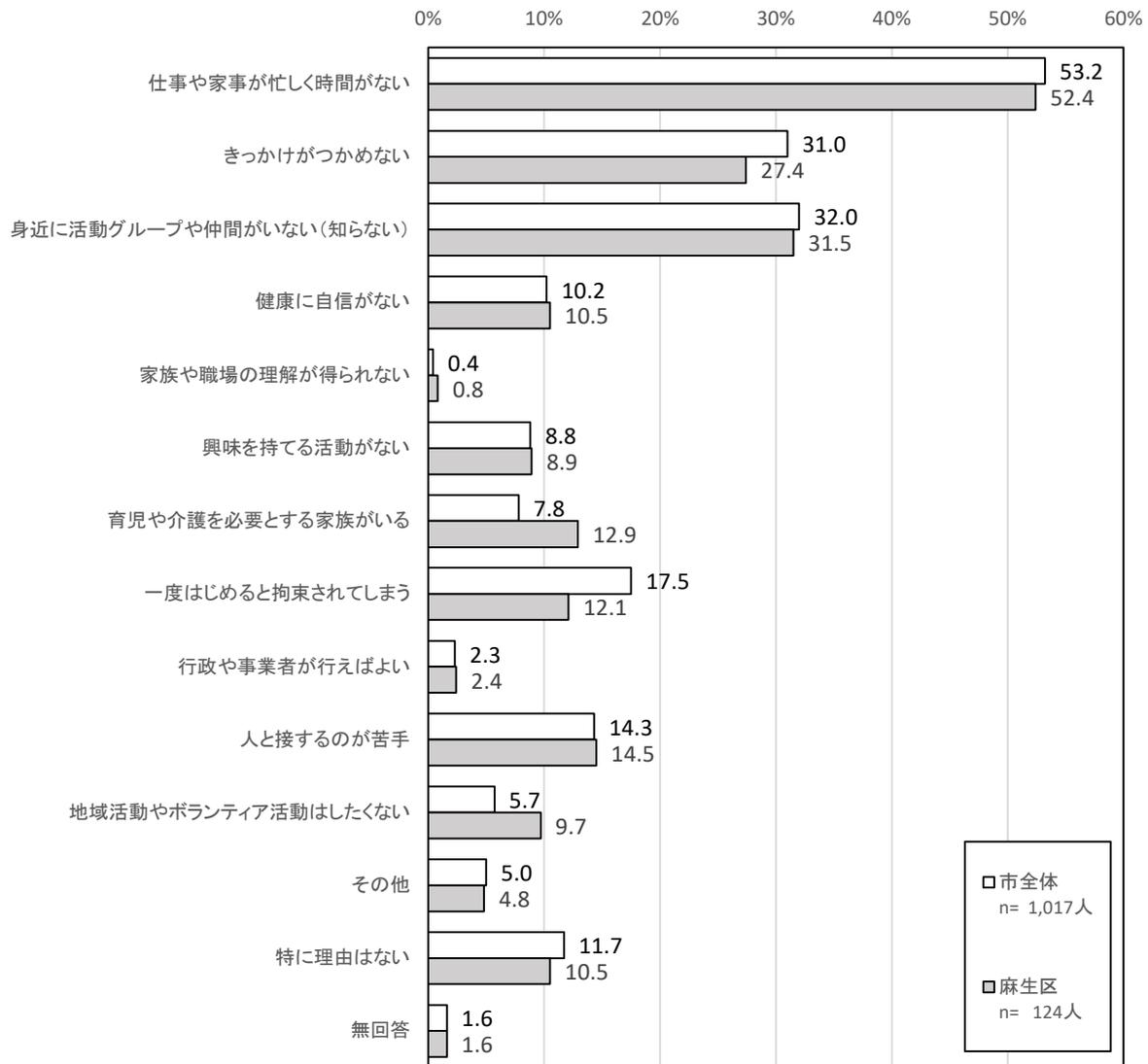


問30-6 《問30で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

麻生区では、「仕事や家事が忙しく時間がない」の割合が52.4%で最も高く、次いで「身近に活動グループや仲間がいない(知らない)」(31.5%)、「きっかけがつかめない」(27.4%)となっている。

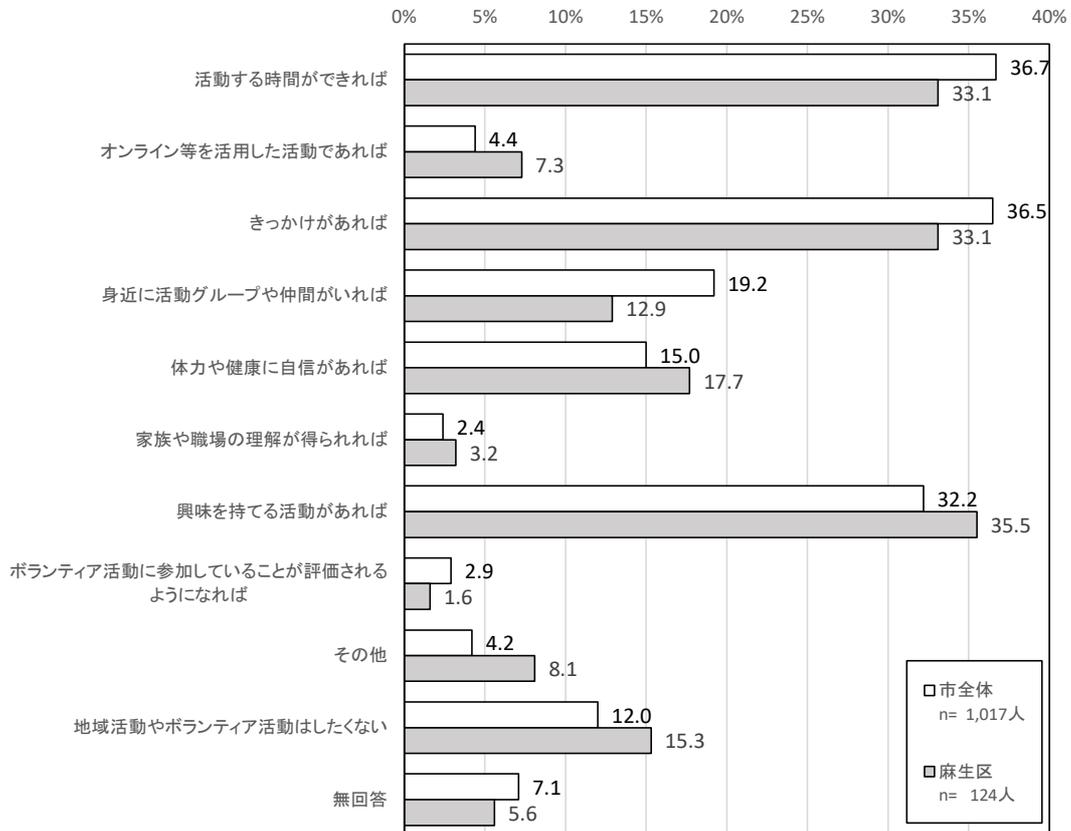


問 30 - 7 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

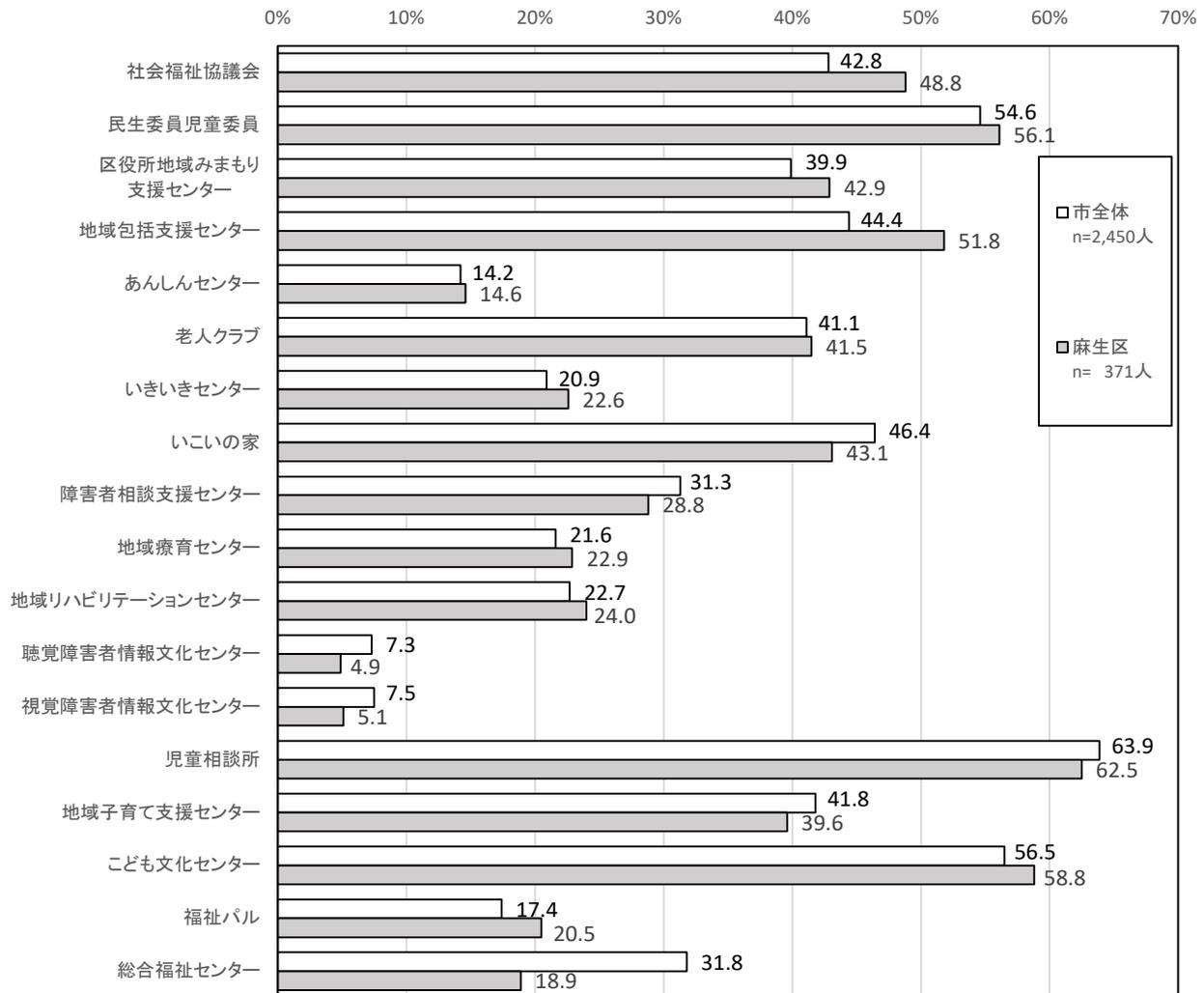
麻生区では、「興味を持てる活動があれば」が 35.5%で最も高く、次いで「活動する時間ができれば」、「きっかけがあれば」がそれぞれ 33.1%となっている。



## 5. 保健・福祉に関することについて

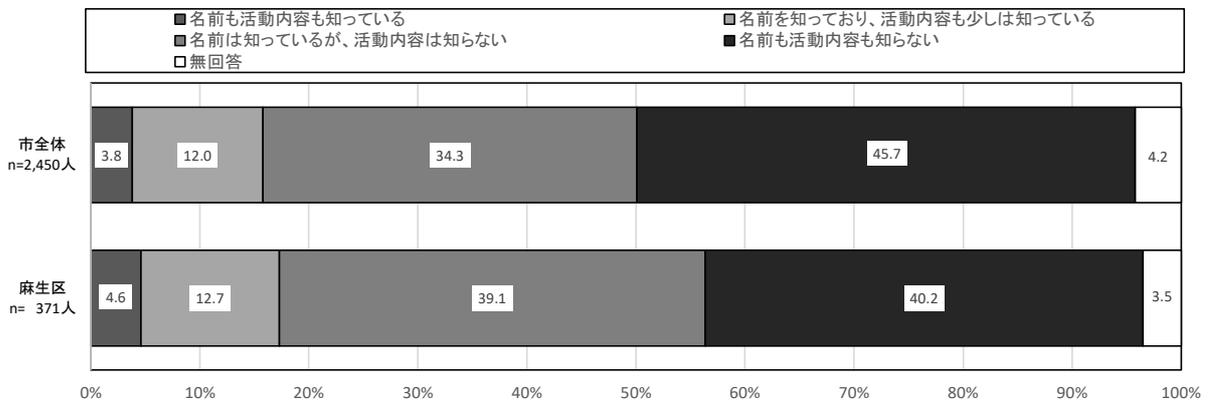
問31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存じですか。(〇はそれぞれ1つだけ)

麻生区では、「児童相談所」を知っている人の割合が62.5%で最も高く、次いで「こども文化センター」(58.8%)、「民生委員児童委員」(56.1%)となっている。



**問 32 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存じですか。（○は1つだけ）**

麻生区では、「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」の合計が17.3%で、市全体（15.8%）を上回っている。

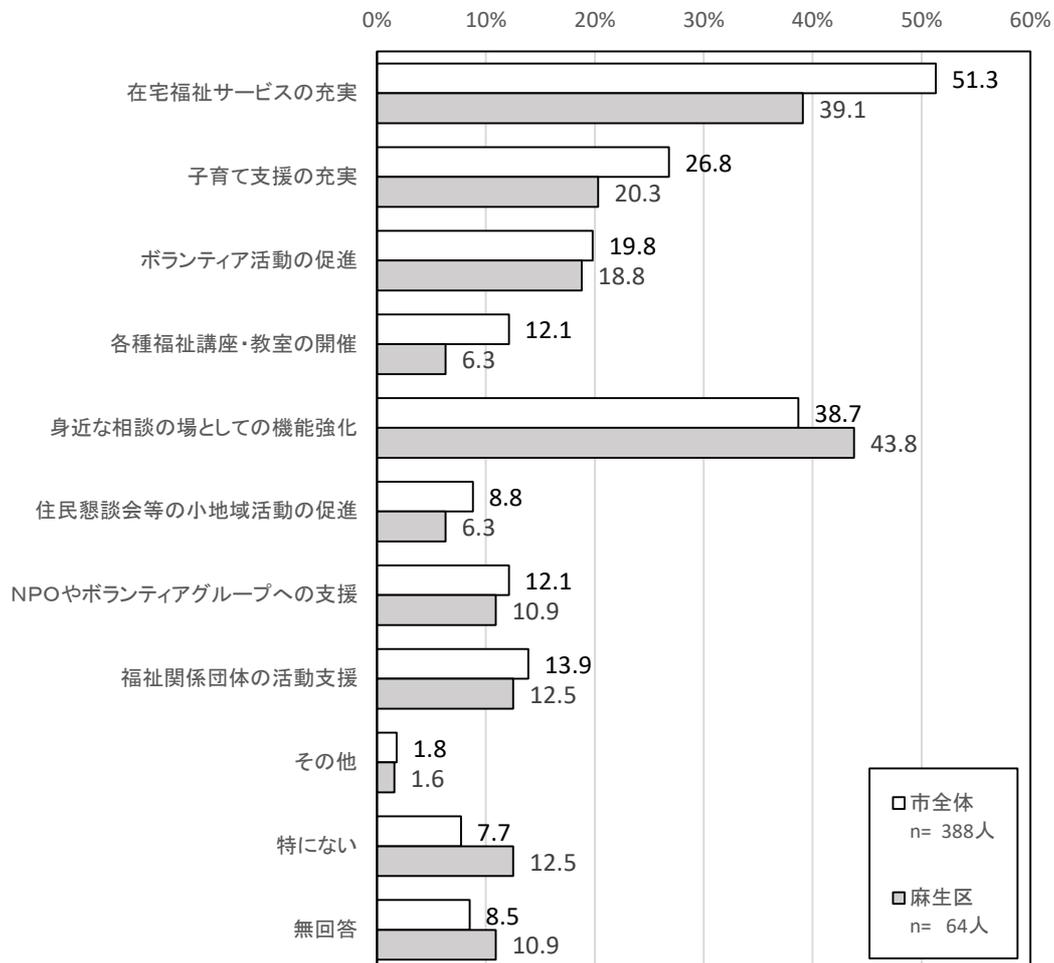


**問 32 - 1 《問 32 で「名前も活動内容も知っている」「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」にお答えの方》**

**あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。**

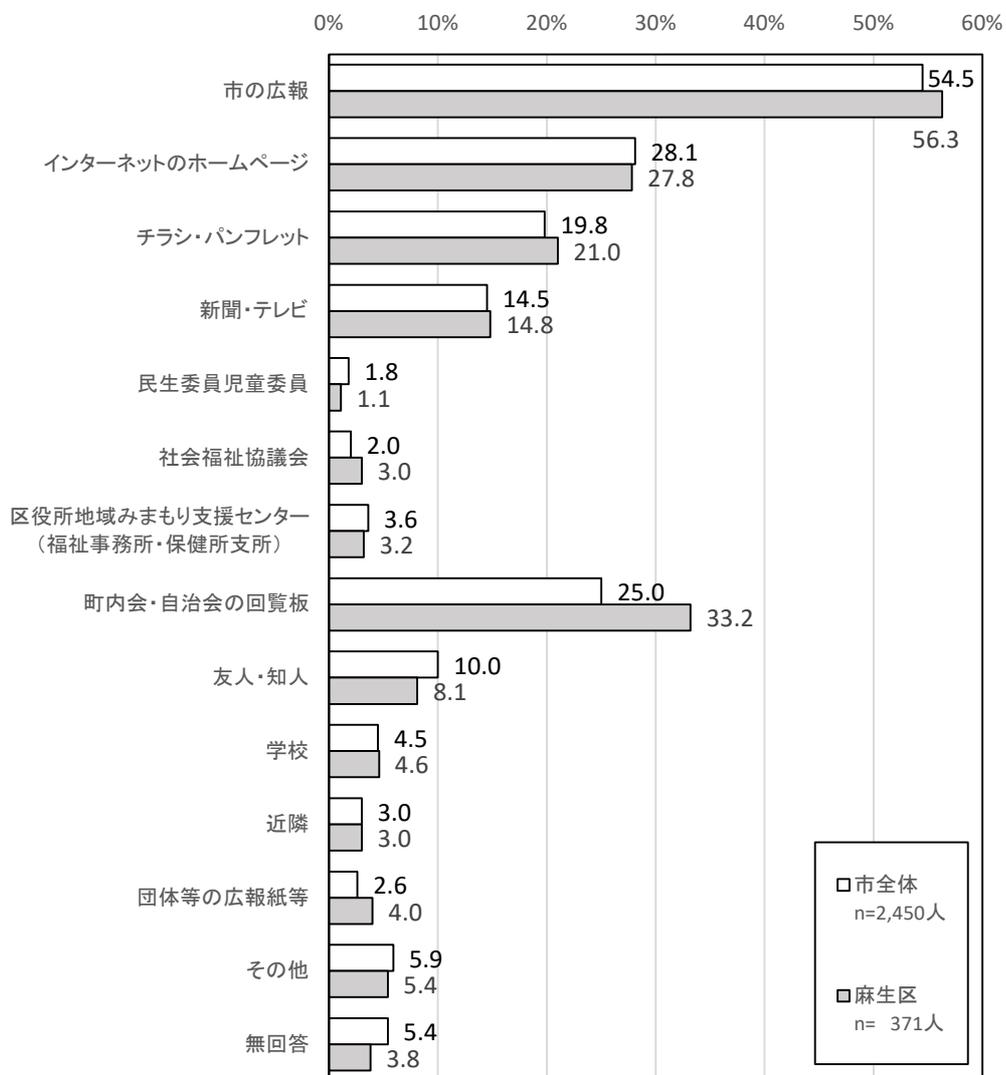
（○は3つまで）

麻生区では、「身近な相談の場としての機能強化」の割合が43.8%で最も高く、次いで「在宅福祉サービスの充実」（39.1%）、「子育て支援の充実」（20.3%）となっている。



問 33 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

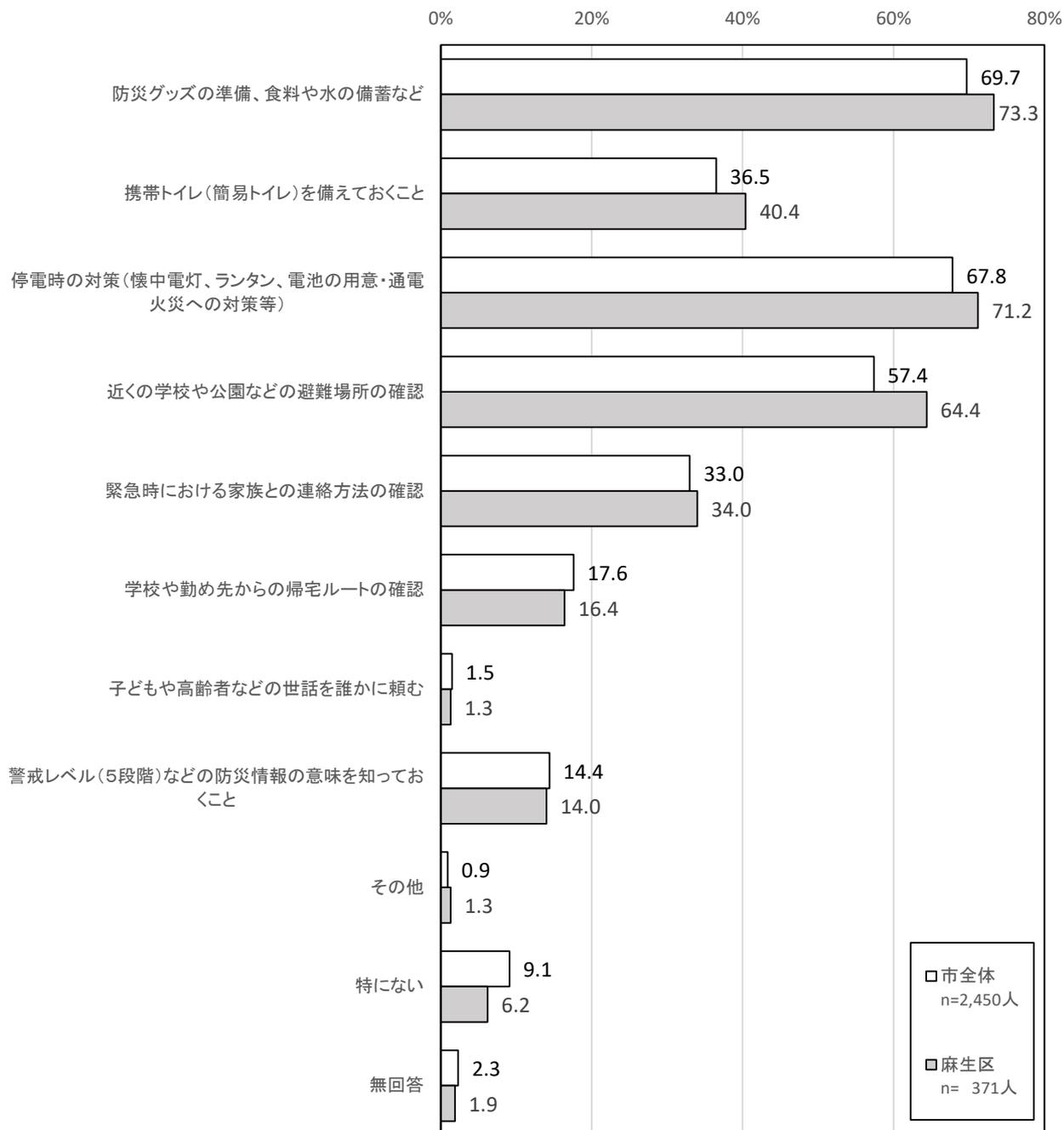
麻生区では、「市の広報」の割合が 56.3%で最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」（33.2%）、「インターネットのホームページ」（27.8%）となっている。



## 6. 防災に対する意識と備えについて

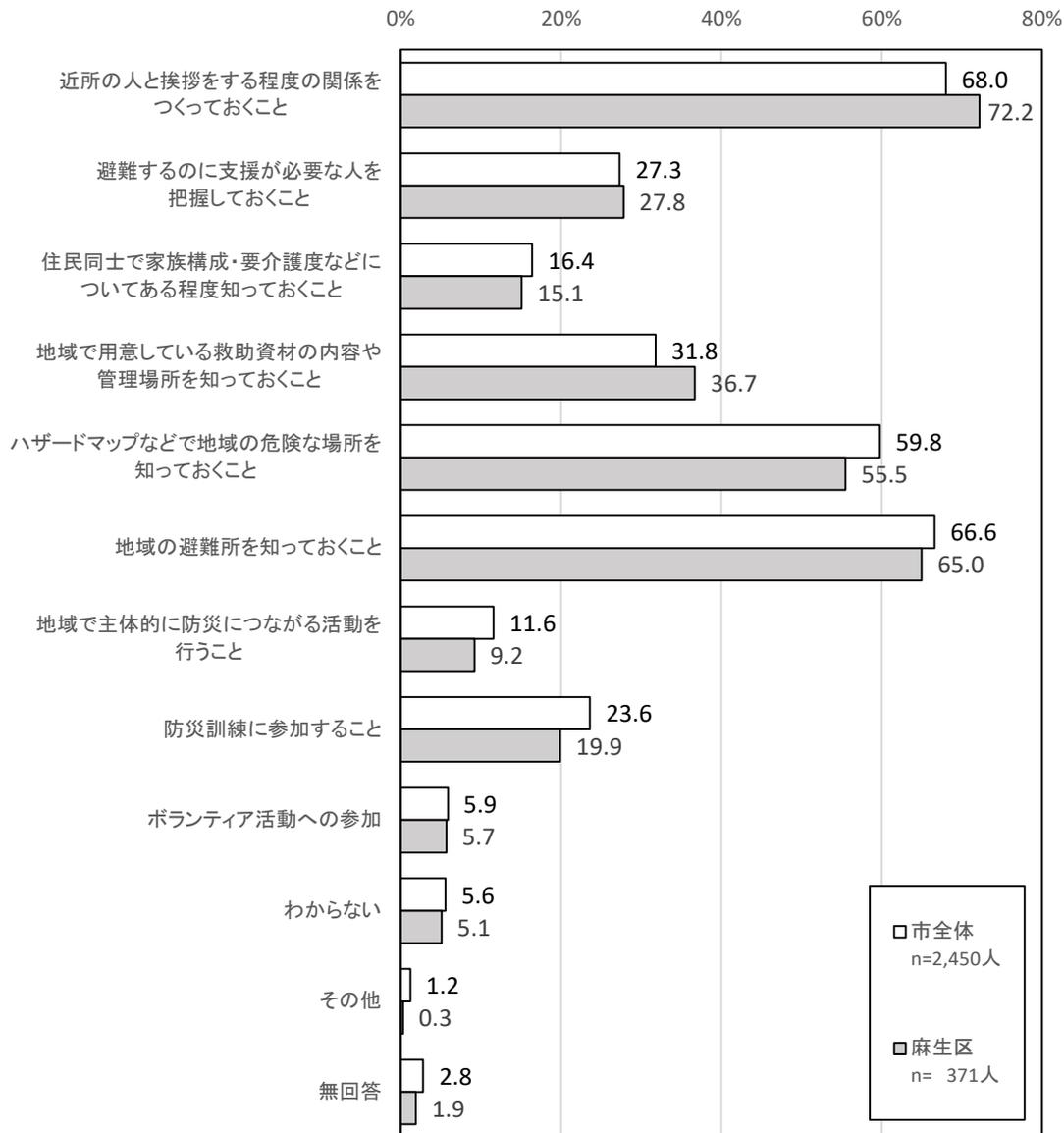
問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

麻生区では、「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」の割合が73.3%で最も高く、次いで「停電時の対策(懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等)」(71.2%)、「近くの学校や公園などの避難場所の確認」(64.4%)となっている。



問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）（新規設問）

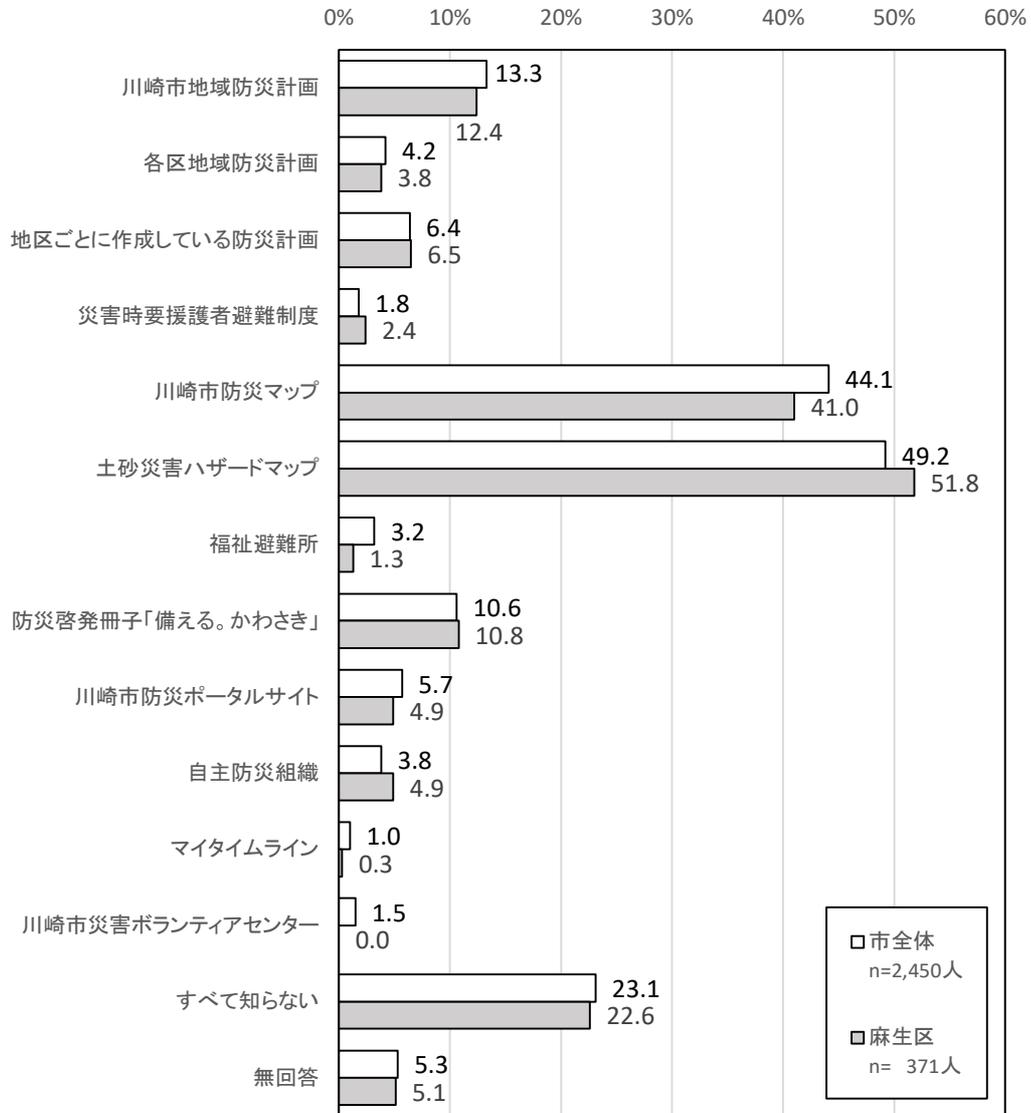
麻生区では、「近所の人と挨拶をする程度関係をつくっておくこと」の割合が72.2%で最も高く、次いで「地域の避難所を知っておくこと」（65.0%）、「ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと」（55.5%）となっている。



問37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○) (新規設問)

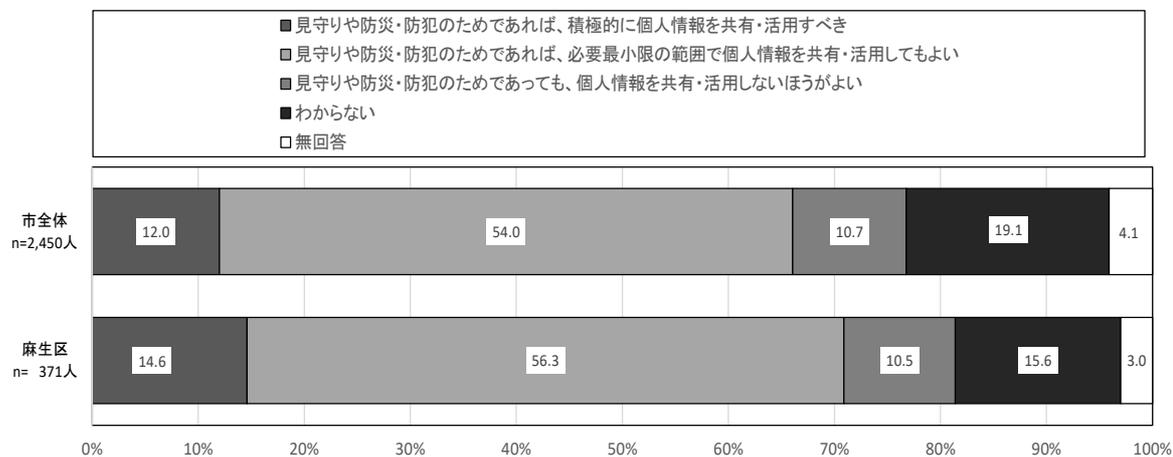
麻生区では、「土砂災害ハザードマップ」の割合が51.8%で最も高く、次いで「川崎市防災マップ」(41.0%)、「すべて知らない」(22.6%)となっている。



問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。

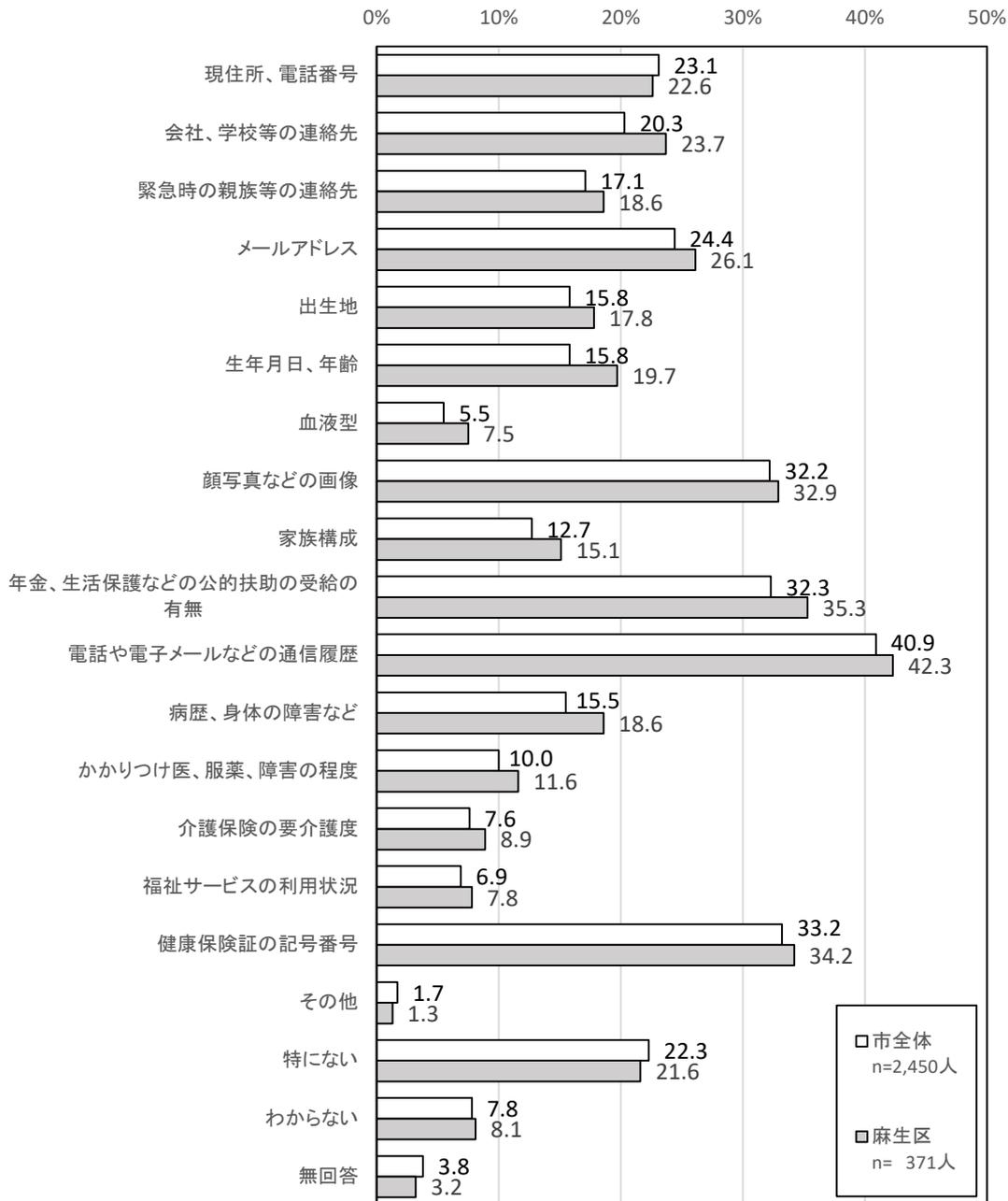
(○は1つだけ)

麻生区では、「見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」、「見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」の合計が70.9%となっている。



問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたくないものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

麻生区では、「電話や電子メールなどの通信履歴」の割合が42.3%で最も高く、次いで「年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無」(35.3%)、「健康保険証の記号番号」(34.2%)となっており、いずれも市全体を上回っている。

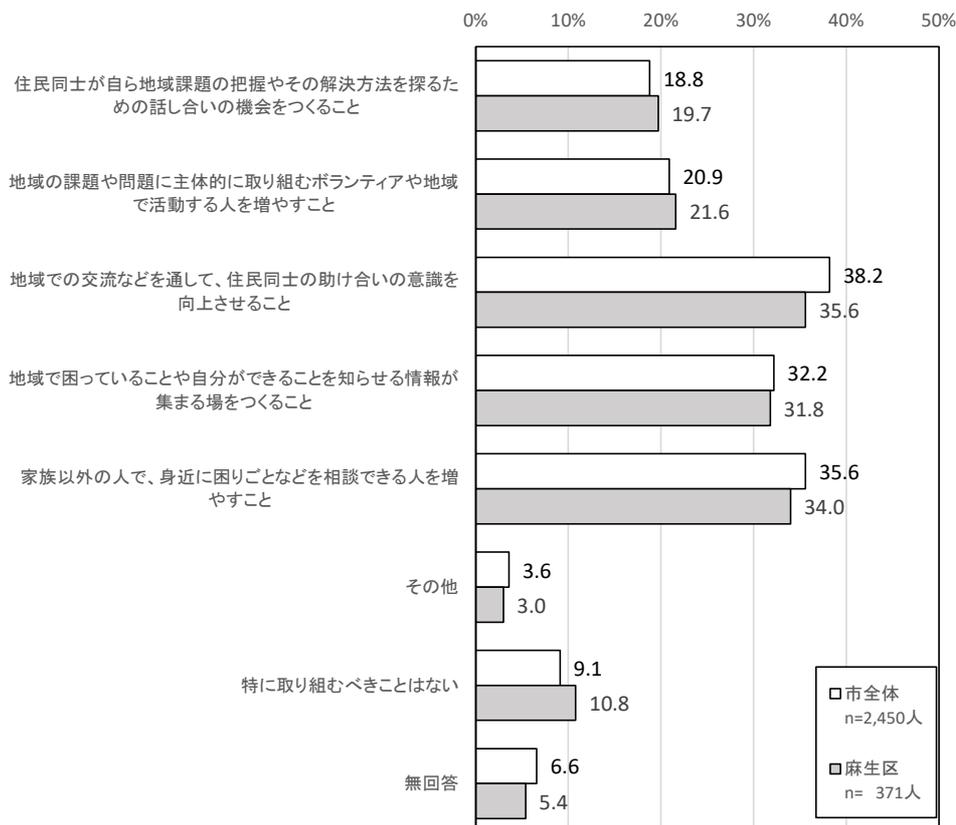


## 7. 今後の地域福祉の推進について

問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

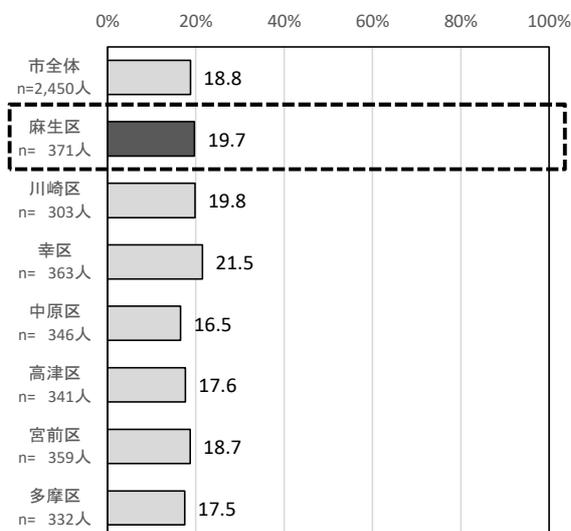
麻生区では、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」の割合が35.6%で最も高く、次いで「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」（34.0%）、「地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること」（31.8%）となっている。

市内6区と比較すると、「住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること」については、19.7%と3番目に高くなっている。



【参考】

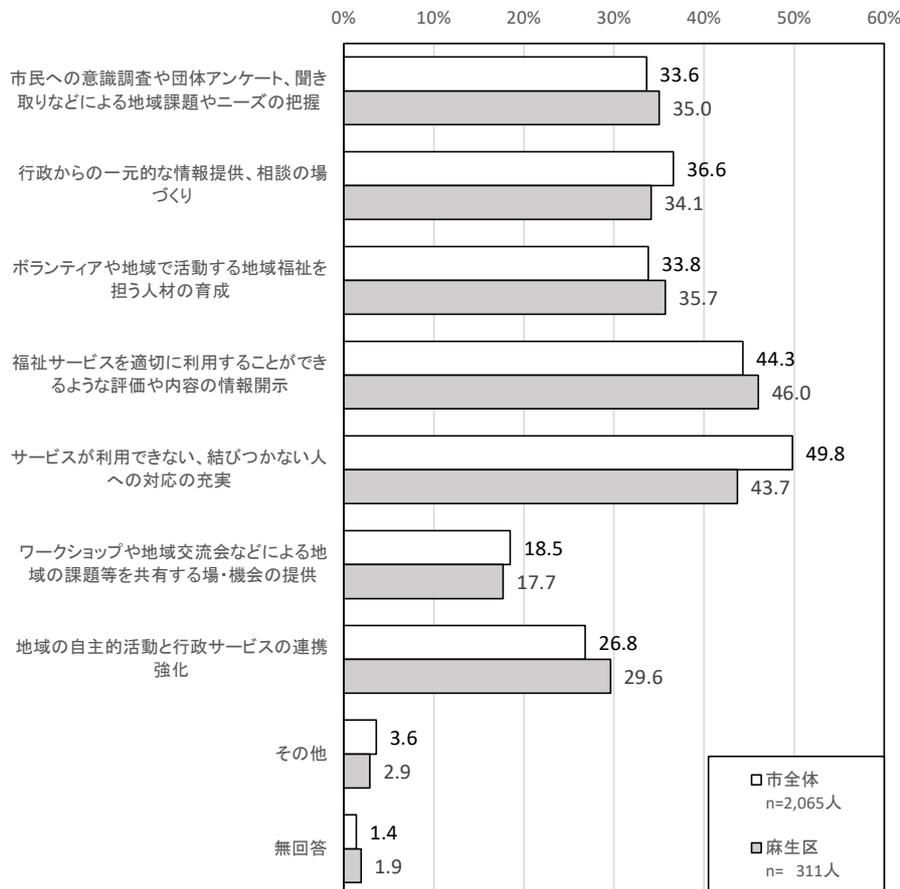
住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること



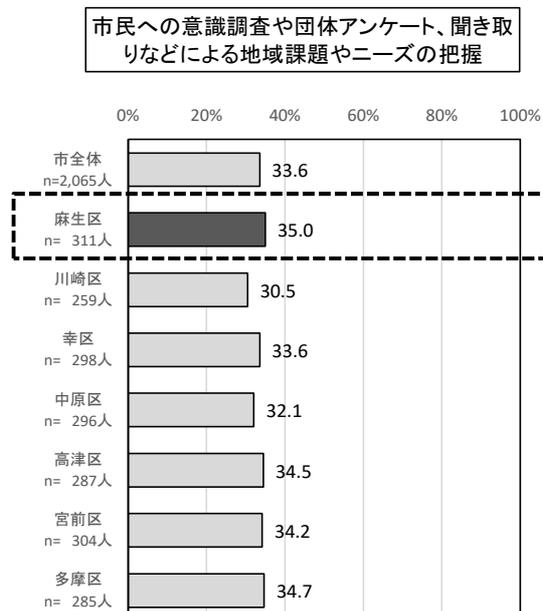
**問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）**

麻生区では、「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」の割合が46.0%で最も高く、次いで「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」（43.7%）、「ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成」（35.7%）となっている。

市内6区と比較すると、「市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握」については35.0%で最も高くなっている。



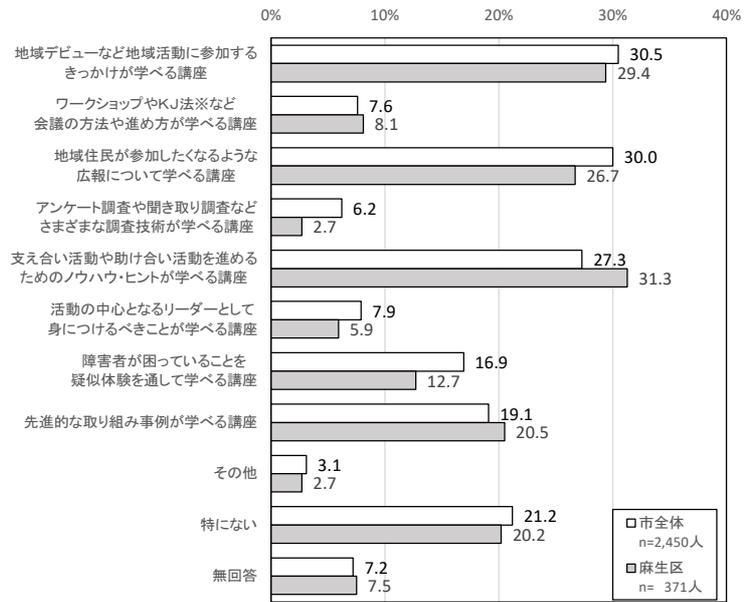
**【参考】**



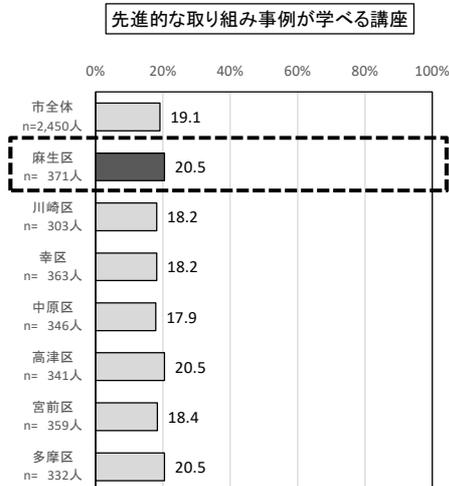
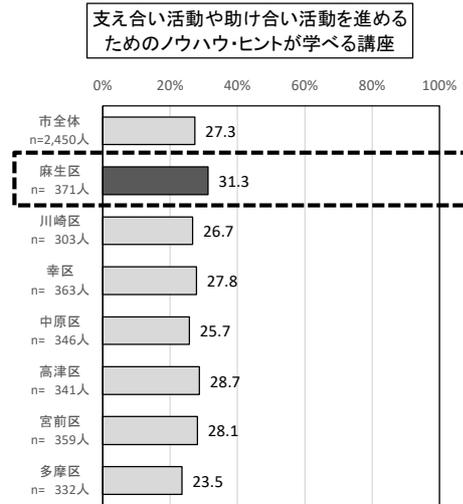
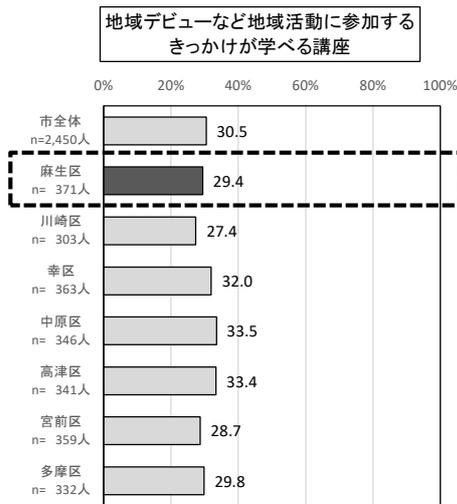
**問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに〇）**

麻生区では、「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座」が31.3%で市全体(27.3%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座」は29.4%と3番目に低い。また、「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座」は31.3%と最も高く、「先進的な取り組み事例が学べる講座」は高津区、多摩区とともに20.5%と最も高くなっている。

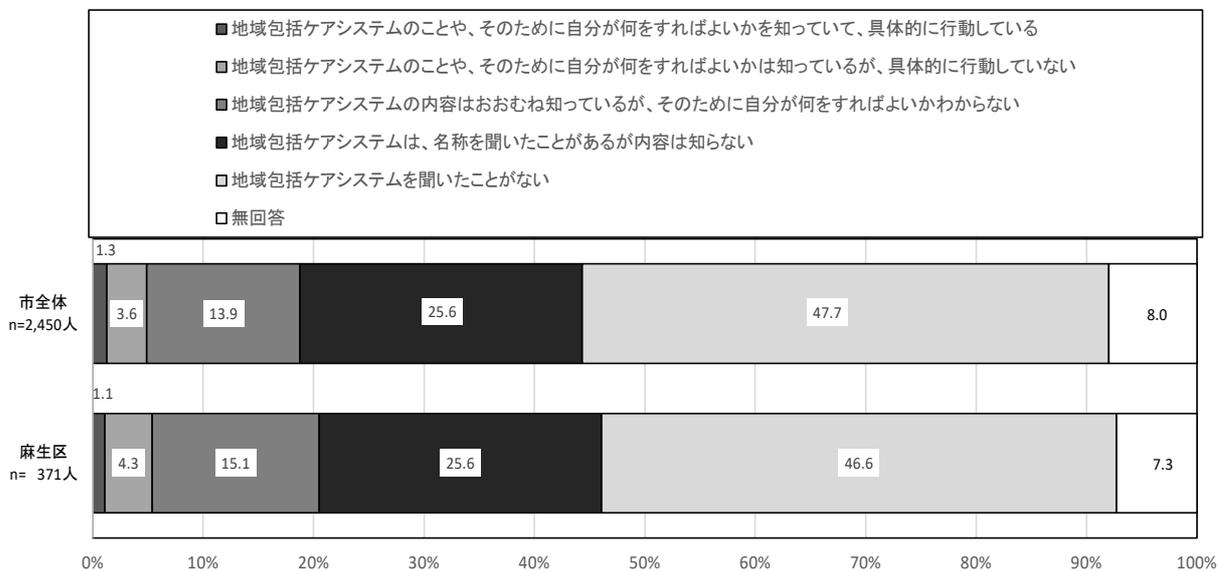


**【参考】**



問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。(〇は1つだけ)

麻生区では、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」の割合が46.6%で最も高く、次いで「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」(25.6%)、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」(15.1%)となっている。

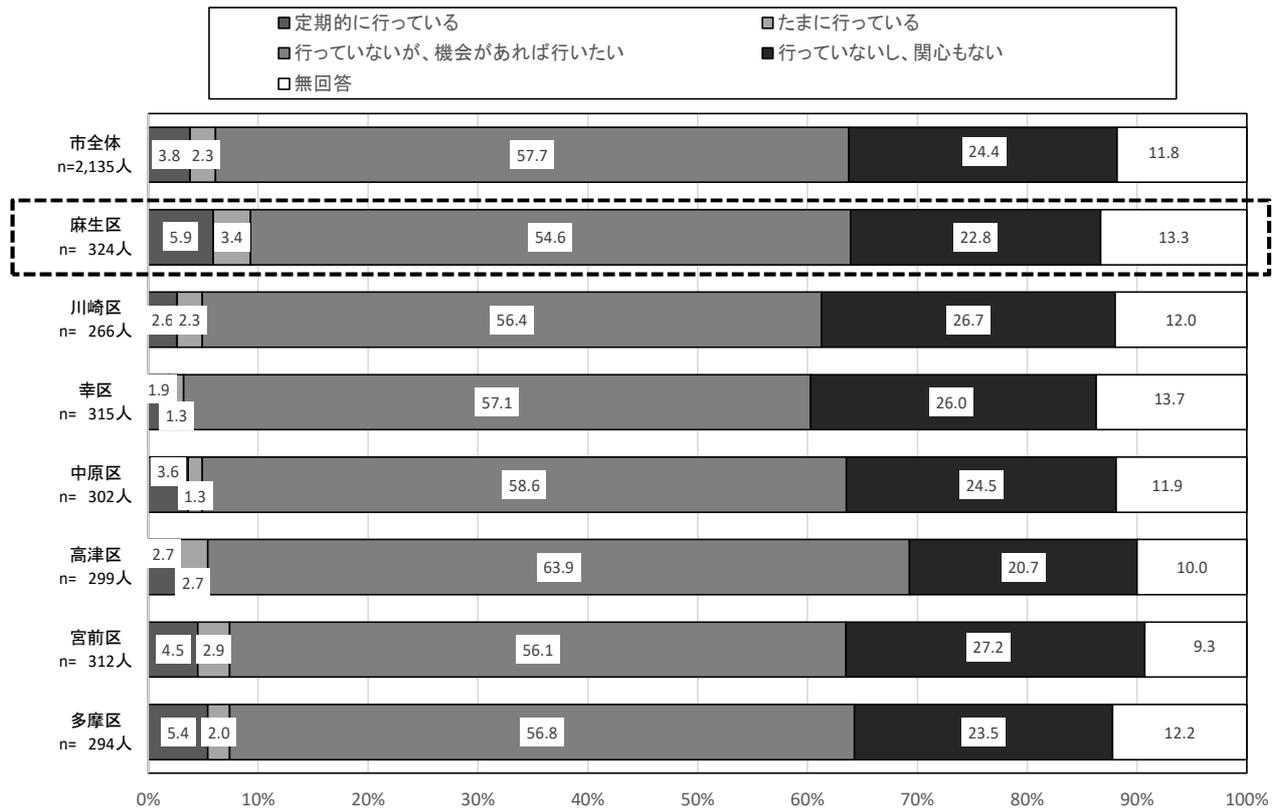


問 44 - 1 《問 44 で「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」にお答えの方》

地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。

(○は1つだけ)

麻生区では、「定期的に行っている」「たまに行っている」の割合の合計が9.3%で市全体(6.1%)を上回っている。市内6区と比較すると、「定期的に行っている」、「たまに行っている」の割合の合計は最も高くなっている。



## 8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます

### (1) 地域で問題になっていること

地域で問題になっていることとしてあげられた意見は、次のとおりである。

#### ■ 地域で問題になっていること

意見の内容	件数
1. 子どもに関する問題	18
2. 地域防犯・防災に関する問題	24
3. 高齢者に関する問題	25
4. 地域のつながりに関する問題	19
5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題	7
6. 障害児・者に関する問題	3
7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題	4
8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題	5
9. 健康づくりに関する問題	1
10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題	2
11. その他	8

### 1. 子どもに関する問題（18件）

#### 麻生区

	内容
1	周辺の高齢者が怒るので、ボール遊びのできる遊び場がどんどん減っている。（3件）
2	子どもが遊べる場所が少ない。
3	教育の格差（経済力が学力に直結してしまう）。公園が暗い。
4	子育て支援の充実、保育施設、公園、児童館の増加。
5	これから子どもが小学校に通うようになったら、通学路での交通安全や見守りが心配。
6	子育てに関する補助金が少ない。
7	遊びに公園に行っても、うるさい、と言われるとのこと。
8	近くのこども文化センターを利用しますが日によっては混み合う事あり。もう少しスペースを広くもしくは小規模でも数を増やす等してもらえたら嬉しい。
9	6について。コロナの影響で支援センター等で人数制限が設けられ、同じ状況の方と関わる機会が減少した気がします。4について。安全面等で仕方ない部分もありますが、公園等でダイナミックに遊ぶことができる遊具が減ってきている気がします。
10	子どもたちの登校時間の見守りが足りない気がします（歩き方や信号など）。
11	子どもが通っていた小学校でいじめ被害にあったので、いじめに参加した子の家庭環境の問題。地域格差があるのではないかという不安。
12	近くに広い公園がなく、車で町田市、稲城市へ行く事が多い。
13	遊び場が少ない。あるとしても、土日はサッカーチームや野球チームで埋まっている。公園が汚い。
14	空家がちらほら出ている。年々小学校入学者が減少している。
15	子どもが遊べる公園が少ない。公園以外に室内で遊べる場所も必要。
16	親の共働き、シングル等により、子育て支援の必要性を感じる（すべての人が、いろいろな事情により、協力を得られず）。

## 2. 地域防犯・防災に関する問題（24件）

### 麻生区

	内容
1	道が狭く、歩行者と自転車の距離が近い。道路が陥没している。
2	防災訓練は必要だと思う（災害、戦争など）。
3	寺子屋は子ども食堂など他校にはあるが、小学校や地区にはない。草刈りなど不十分な道があり、狭くなっており危険。地域に土砂災害警戒地区があるので、避難訓練をしておいた方がよいと思う。
4	近所の方の家族構成とかわからないので、地震等助け合えるか、助けてあげられるか不安である。
5	外灯の少なさ（通学路など）。放課後の子どものケア。近所の人付き合いなど、お互いコロナ禍のため遠慮し合っているような気がします。現にうちもそうです。
6	17時のチャイム、防災の放送がものすごく小さい。窓を閉めていると何も聞こえない。17時のチャイムは外で遊んでいる子どもが帰る時間なんだと知るため、必要だと思う。市の防災放送も全く聞こえない。
7	麻生区で地震や洪水による大きな被害はあまり経験したことがないが防災、避難についての意識が高くなるよう、地域での防災訓練は必要かもしれない。
8	小学校の通学路に不審者が度々出るが（2件）、保護者の見守りにも限界があり（仕事に両親共出ている等）心配である。
9	年寄り、子ども&子どもをしつけ、監督すべき親のマナーの悪さ。歩行者としてのルール、自転車のルール、マナーの悪さを見て見ぬふりをする、その周囲。
10	坂道が多く、急坂もある。積雪の際の雪かき等の補助などがあれば。
11	家の前の交差点、何回も事故が起きているのに、警察が信号をつけてくれない。
12	防災に対する態勢が不十分と感じています。また、町内の高齢化が進みつつあり、一人住まいの高齢者の見守り等の必要性が高まってきている。
13	防災倉庫の場所などがあまり知られていない。
14	一時停止もしない車が多く、取りしまってほしい。
15	交通に関する不安。周辺道路が混み合うようになり、時には大型ダンプカーが行き来しており、可能な限り交通規制（時間帯通行禁止など）で安全維持を希望します。
16	災害が起こった場合の連絡先がわからない。近隣で犯罪が起きた場合の情報共有。
17	小田急線の踏切が、長時間開かないこと。市から小田急線に改善を申し入れて欲しい。救急車や消防車などの緊急車両が遅延する恐れあり。
18	地区の防災訓練を知らない。
19	私の住む地域は自治会活動が盛んで火の用心、防犯パトロール、防災訓練を積極的に行っています。ボランティアの担い手がいます。
20	歩道を走る自転車が、マナーの悪い走行に歩行者が脅かされている。
21	以前行なわれた防災訓練が、コロナウイルス感染症増加によりなくなったこと。
22	家の近くの山の林々が管理されていないので、木の高さが非常に高くなり、危険な状態になっている。道路の上まで伸びている。山火事にも心配。
23	落葉の処理、高い木により日照が少なくなっている。車が壁によく当たる！（道路がせまい！カド地！）。

### 3. 高齢者に関する問題（25件）

#### 麻生区

	内容
1	高齢化が進み子どもや子育て世帯よりも、高齢者を大事にする雰囲気は様々感じる。
2	認知症の初期症状が出た高齢者による暴言、精神障害者等の方による暴言等、日常で生活していて、突然、理不尽な暴言等に遭遇することが増えてきていると体感。子ども達が公園で遊んでいる所へ、上記の方がやってきて、家の中で遊べなどのクレーム。
3	近所の商店が閉店してしまい食材を買うことが不便になり近所に住んでいるお年寄り達がとても困っている状況です。
4	地域（町内）全体が高齢化している。
5	コロナで高齢者との会話を控えるようになったこと。
6	子育て世代も年を取り、地域全体の高齢化が進みつつある。ただ、元気で活動的な町内会のお年寄りの方も多数いらっしゃり、悲観していない。
7	高齢夫婦世帯が多くなっている。
8	昔から牛耳っている頑固な高齢者に分かってもらう事。
9	高齢者が多いと聞いています。高齢者が出歩いているのをあまり見たことがないので、もっと出歩ける仕組み（地域のクラブ活動で散歩するなど・・・）があれば良いと思う。コロナの影響もあるかもしれません。
10	地域全体のモビリティが高齢化によって問題となると予想している。自立した生活を継続できるように公共交通のみならず、物流（無人配送）や自動運転が使えるようになってほしい。
11	病院は高齢者が多くいつも混んでいる。交通の便が悪い。交流がない。
12	同じ団地に住む人々が高齢化していること。
13	高齢者にデジタル化の対応は難しい。スマホありきの生活。
14	坂道が多く、高齢者が買い物やちょっとした外出をしにくい。
15	同じマンション内でも1人住まいの高齢者の生存状況がわからない。
16	高齢者の運転問題。
17	介護など家族だけでは大変な事も多くあるが、近隣者も高齢の為、どうして良いのかわからない事が多い。
18	将来、運転免許を返納した際、買い物が不便になる不安がある。
19	高齢化がすすんでいるので、地域防犯防災等の担い手が、高齢化し少なくなっている。（3件）
20	歩行に苦勞されている高齢者が増加している状況が目立つ中でどう生活をしていくのか心配になる。
21	高齢者同志のウォーキングサークルに参加していたが、コロナウイルス拡大後とだえてしまった。
22	農業従事者が高齢者ばかりである（後継者不足）。
23	介護する方への支援がどこまで踏み込めるかがちょっと気になっている（散歩の見守り介助は可）。自身が接する人への思いやりに少し面倒になりがち。

### 4. 地域のつながりに関する問題（19件）

#### 麻生区

	内容
1	以前より交流の機会が減ってしまったこと。今年は少しずつ交流があるようです。
2	近所ふれあいの場の拡充。

	内容
3	隣近所の方々と話す機会がなく、顔も分からない人もいる（2件）。何が近隣の課題なのかも分からない。
4	お隣の方が外国出身で、たまに夜中までパーティーをやっていて、庭でも飲食をしているのでうるさくて眠れない。
5	近所に外国人が多く、コミュニティが分裂している。日本人と外国人住民が交流できるようにしてほしい。
6	ご近所さんに迷惑をかけるのではと思っている高齢者世帯がある。家庭内の事をあまり話したくない方もいる。あいさつのみのつきあい。
7	他人に無関心すぎる。個人情報と言いつつ深く知る事が困難。
8	引越して数年なので近所に知り合いがいない（接する機会がない）。
9	人と人との関係が希薄。自分が住んでいるマンション以外の知っている近隣の人がいない。
10	近隣でもあまり知らない方がいるし繋がりが少ない（ただこの時世、しかたないと思っているが）。災害が起きた時の団結力は少ないと思う。
11	自治会費が高い。
12	昔からの住人は皆さん高齢になり、若い人達との交流が少なくなってきた。
13	集合住宅ですが、あいさつもしない人も多く、ごみ出しも、ひどく、管理人さんでも、いてほしい。
14	木の枝等、ちょっとしたものを燃やしただけで通報され、消防署や環境保全課（？）がやって来て、面倒である。以前は、家の前を通る人とは誰でもあいさつを交していたのに、最近は、知らんぷりの人がいて、心がざわつく。
15	話をする機会がない。
16	時間的にいつお付き合いができるとは、分からないから。
17	地域でのこまごまの話は、やっぱり話し合った方が良いと思う。
18	自治会がそれぞれ対応している。

## 5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題（7件）

### 麻生区

	内容
1	引っ越して1年未満のためか地域にどんな人が住まれているか誰が代表をされているのかもわからない。祭があるわけでもなく回覧板の有無もわからないため、近所の情報が全くわからない。
2	どこにどのような情報があるか良くわからない。（2件）
3	病気や障害の可能性があった時、何か支援を受けられる情報を調べる時、自力で調べるには時間がかかり、緊急を要する時困る時があるように感じます。
4	どんな情報があるのかが不明（わからない）。たとえばバッテリー処分とかごみの処分もよくわからない。
5	若い時は子どもを通じて人との交流があっても年をとると外にあまり出なくなり交流も少なくなると、色々な情報が入らなくなるのでましてや1人になると不安になると思う。
6	町内、区内での全般的に、何処で、何の会が、何時、催しをしているのかわからない。私の場合は、友人に聞いて知り参加している。

## 6. 障害児・者に関する問題（3件）

### 麻生区

	内容
1	近所にいる発達障害のあると思われる男性・・・いつも一緒にいるお母様が亡くなられたらどうなるのか・・・。
2	麻生区は障害者の為のグループホームが少なすぎる。女性5名程入居出来る一軒家のグループホームが欲しい。
3	アスペルガーの子どもの事で役所に相談に行っても、本人をもう一度医者診断を受けさせるように言われ、それをしないと一歩も対応してもらえない。15年前から（本人も）自分なりにいろいろ努力しているがよくなる状態なのに、15年前と同じようにもう一度ゼロからやりなさいと言われても出来る訳がない。もうすべてをあきらめているのだから、本人があきらめているならいっさいの支援はできませんという区役所の対応には疑問が残ります。

## 7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題（4件）

### 麻生区

	内容
1	公園が極端に少なく、あっても禁止事項が多すぎて意義が不明。
2	どの年齢でも利用できるコミュニティな場所が必要。いこいの家、こども文化センターなどの利用が増えるようなことをしたほうが良いと感じます。
3	ボランティア活動する拠点が、無くなるおそれがある。
4	年齢的に外出がおっくうになり家にとじこもりがちになる。なにげなく集まる場所があるとよい。指導者がいてほしい。

## 8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題（5件）

### 麻生区

	内容
1	身近に相談できる相手を作る。
2	近所に子どもが少なく、相談できる人がなかなかいない。
3	近隣に新たに住み始めた住民が急に増えた。交通事故やその他不安を感じる。
4	自分の両親が高齢になり、介護老人ホーム、金銭的な相談窓口、どこにしたら良いのかわからない・・・不安な気持ちで生活している。
5	未だ身近な問題ではない（特に介護）ので具体例はないです。漠然とした不安があるのみ。

## 9. 健康づくりに関する問題（1件）

### 麻生区

	内容
1	幅広い年齢層が気軽に利用できるよう、交通の便のよい場所に屋内屋外スポーツ施設がほしいが、少ない。

## 10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題（2件）

### 麻生区

	内容
1	他の（地方の）コミュニティのように、そこに行けば誰かがいる、という場所が少ない。老人いこいの家も申し込みをした人だけで盛り上がるイメージ。人は人としゃべるコミュニケーションをとることで寿命に大きく関わってくると聞いたので、環境が変わるとよいと思う。
2	近くに商店、ストアが無いので1日に1回～2回位買い物を助ける車を自治会で協議して、実現したら、年寄りがふえているこの頃・・・。実現したらうれしいです。

## 11. その他（8件）

### 麻生区

	内容
1	スーパーの数が少なく不便を感じる。（2件）
2	今はない。
3	小学校、公民館が近いが、いつ何をしているのか、わからない。集合、解散の時など、人が多くなり、うるさい、じゃま。
4	地域活動から離れているためよくわからない。
5	自然環境の悪化と土地の分割により、緑の減少で地球温暖化が進むことが心配（テーマが違ってすみません）。
6	みなバラバラで意見がまとまらない。
7	バスが通らない不便さを感じます。

## (2) 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由としてあげられた意見は、次のとおりである。

### ■ 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

意見の内容	件数
1. 自分自身や子どものため	8
2. 地域交流のため	21
3. 社会貢献	9
4. 健康維持	10
5. 時間に余裕があるから	1
6. 身近で関心・興味がある	16
7. 仕事をしていた或いは資格があるから	4
8. 街の美化のため	7
9. 時間に余裕がなく、できない	10
10. 病気・高齢だからできない	8
11. 参加する気はあるが方法がわからない	5
12. その他	10

### 1. 自分自身や子どものため（8件）

#### 麻生区

	内容
1	楽しいから。(3件)
2	老後何もしないのはさみしいので。
3	子どもが喜ぶから。
4	子どもが好きだから。
5	人と人とのコミュニケーションは生活、生きることへプラスになると思う。
6	楽しく参加できそうだから。

### 2. 地域交流のため（21件）

#### 麻生区

	内容
1	社会とのつながり。
2	やりがいがある。楽しい活動ならしてみたいと思う。
3	ご近所との関係が希薄化しているため、活動に参加してどのような人が地域にいるのか気になるから。
4	親交のため。みんなと仲良くなりたい。(3件)
5	小学生の子どもがいるため、活動しやすかったり共感できるため。子どもの登下校時の見守り活動がしやすい。
6	地域で協力して、楽しく快適に暮らしていきたいので。(2件)
7	活動を通して、住民同士の交流がはかれる。
8	近所の皆さんとのコミュニケーション。
9	子どもたちみんなが過ごしやすい社会になってほしい。子どもたちみんなが大人になった時今より良い社会に、相談しやすい環境になってほしいです。

	内容
10	人の喜ぶ顔が見たいから。
11	地域の様々な年齢の方と交流できるから。
12	地域の交流。子育てが孤立しない様に。
13	一人暮らしのご老人たちが孤独にならない様今はコロナでむずかしいですが見守るべき。
14	今のマンションでは、何の交流もないので。
15	以前町内会の役員をしていたので、なるべく協力したい。
16	一人では不可能、相互の関わりが大切かと思っている。深入りは心身への負担が大きいと感じるので、ほどほどが良いのかなあー！？
17	地域の人達と接する機会が無い為。
18	自分が元気であれば、参加をして地域の方とコミュニケーションをとりたい。

### 3. 社会貢献（9件）

#### 麻生区

	内容
1	地域や周りの人々のために役立ちたい。
2	人生を豊かにしつつ、社会に貢献したいから。
3	支えてもらっている分、支えられる事はやりたい。活動で気持ちよく過ごしたい。
4	近所の方との交流・人助け・自分も支えてもらったから恩返し。
5	地域貢献と顔見知りを作る事。
6	できる範囲で役に立ちたい。
7	地域に役立つ事は重要との考えによる。
8	社会で生きていく為、若い人が、親に依頼したいが、諸事情により、依頼できない場合、役に立ちたい。
9	社会に貢献する微力で、人生を楽しくなる。

### 4. 健康維持（10件）

#### 麻生区

	内容
1	仕事をやめた後のことを考えると、何らかの形で地域とつながっていたい。健康のため。
2	健康に重要性を感じたから。（2件）
3	何をするにも健康第一だから。文化・芸術は、心が豊かになる、いやされる。
4	地域との交流と自身の健康の為。
5	長寿社会になっても健康でなければ意味がないので、健康づくりのための活動など、運動を含めて参加したい。
6	高齢となった今、健康は最大の関心事。
7	現在は健康だが、先の事は分からない。
8	健康で長生きして長わづらいしないで死にたい。
9	なるべく自分のことは自分でできるように、それを少しでも長くしたいと思うので。

### 5. 時間に余裕があるから（1件）

#### 麻生区

	内容
1	子どもが中学生以上になり、子育てが一段落したから。

## 6. 身近で関心・興味がある（16件）

### 麻生区

	内容
1	子育ての事はあまりよく分からないが、スポーツやイベント事なら手伝えるから。
2	楽しみながらできそう。
3	活気がある方が良い。
4	今まで仕事の休みの時であれば参加していたため（美化清掃）。
5	個人的に大変有意義と感じる為。
6	得意分野だから。（2件）
7	自分にとって、身近に感じられ、敷居が低いから。
8	興味があり積極的に参加できそうだから。
9	必要だと思うから。
10	家族に高齢者がいるので、何かあれば活動したい。
11	自分がスキな世界なら長く続ける事ができると思うから。仕事ではないのでまずスキというスタートから始めないと前に進めないと思う。
12	体を動かすことが好きだから。
13	興味があるから。
14	スキルを生かした活動であればやりがいを感じることができるため。
15	高齢者となった今はできるだけ活動したい。

## 7. 仕事をしていて或いは資格があるから（4件）

### 麻生区

	内容
1	コロナで中止され、活動が無くなったが、数年にわたり、ママサークルにて、リトミックの活動、指導をしていたから（ボランティア）。
2	仕事の経験により、災害関連の知識や能力を有していると思うから（元自衛官）。
3	福祉の仕事に携わった経験を生かしたい。防災士の資格を生かしたい。
4	20数年前、訪問介護の仕事に携わってきているので、自分が健康でいる限り、できる範囲で、そのスキルを生かしたい。自分の生きがいにもつながるので・・・。

## 8. 街の美化のため（7件）

### 麻生区

	内容
1	自分や自分の家族に関係することだから。美化に関しては、子どもにも体験させたい。
2	住みよい地域とするために、環境整備が大事。
3	自分の住んでいる所が良い住環境を保つため。無理なく参加出来そうだから。ポジティブな活動だから。
4	小さなごみも放置することにためらう。
5	身のまわりがキレイになるので。
6	自分の経験を活かして役に立てる、また高齢の方は、これから自分が行く道でもあるので、役に立ちたい。環境美化は、生活する上で必要なことなので。
7	自分の住んでいるところをきれいにしたいし、それぐらいならすぐにでも行動できそうだから。

## 9. 時間に余裕がなく、できない（10件）

### 麻生区

	内容
1	今は自分の仕事が忙しく、時間と気持ちの余裕がないため。
2	子育て中なので。
3	仕事以外ではあまり多くの人と関わると心が休まる時間を作れないから。
4	仕事があり、時間、日程があわない。
5	例えば子育てで言えば、自分は働いていなかったのに経験上大変だったので、今の働きながら子育てしているお母さんたちの手助けをしたい思いがありますが、ボランティアとなるとまだ50代で多忙なため難しいかもしれません。60歳すぎたら可能かもしれません。
6	自分の生活が大変な為、活動できるかわからないので。
7	自分が経験した子育てや介護については相談に乗ることができると思う。活動したいが活動の場がない、または見つける時間がない。
8	現在はフルタイムで働いており時間がないが、将来的には自分で出来る事で参加したい。
9	家族の世話、介護で忙しく、活動している時間と余裕がない。（2件）

## 10. 病気・高齢だからできない（8件）

### 麻生区

	内容
1	今は、持病の完治に専念している為、ボランティア活動は行っていないが、完治した時には、参加したい。
2	身体障害があること。貢献に応え得るだけの健康がない。
3	高齢のため参加出来ないため。（2件）
4	年齢のためだが、体力が続かない場合は参加出来ない。出来る限り、人とのコミュニケーションを大切にしたいが・・・。
5	環境美化は現在は身体不自由の為、参加してなりません。残念です。健康づくりに関する活動は、軽い運動なら、出来るかな？と思いました。
6	高齢なので、必要以上に動きたくない。
7	高齢（92才）のため活動範囲が限定される。80代までは相当実行していた。

## 11. 参加する気はあるが方法がわからない（5件）

### 麻生区

	内容
1	活動内容的に具体性が良くわからない（どのようなことをするのか・・・）。（2件）
2	何か、できるものがあれば、時間が許せば参加したい。
3	動けるうちに何か役に立ちたい気持ちはある。今は仕事もしているので時間が許せば・・・。
4	何が適しているのかわからない。

## 12. その他（10件）

### 麻生区

	内容
1	運動会をやりたい。
2	ここは全く地元民の交流がない。昔からの店もないので。
3	特に興味がない。
4	面倒だから。
5	自分に無理なくできる範囲内の活動が良いため。
6	可能な活動なため。
7	自分で負担が少なくできそうだから。（3件）
8	友人と継続している。

### (3) 『地域包括ケアシステム』の取組等に対する意見・要望

『地域包括ケアシステム』の取組等に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

#### ■ 『地域包括ケアシステムの取組等』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. システムや取組の周知について(内容を知らない・わからない)	15
2. 市への意見・要望について	8
3. 地域住民とのつながりについて	0
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	5
5. 今自分がやれることがない	0
6. 健康について	0
7. 取組の提案について	5
8. 取組への期待について	4
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	1
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	2
13. 医療について	1
14. その他	3

#### 1. システムや取組の周知について(内容を知らない・わからない) (15件)

##### 麻生区

	年代	内容
1	20～24歳	私は保健師の資格を取得しているため「地域包括ケアシステム」について知っていますが、取得する機会がなければ知らなかったと思います。「地域包括ケアシステム」は地域で支え合っていくことが必要だと思うので、小学生とか小さいうちから地域を支え合うことが少しでも知っていれば違うのではないかと思います。もちろん小学生から災害マップ等で地域について知る機会はありましたが、もう少し深いところ、災害でないところも知る機会があったら良いと思いました。
2	25～29歳	上記の取組について知らなかった。知らない人のための広報として、今までとは違う形や対象者、広報活動にしてほしい。フリーペーパーや紙での報告ではなく、ネットの充実、病院や区役所、掲示板だけではなく、電車駅、カフェ等との連携。
3	35～39歳	活動されている内容や成果が住民にはわかりにくく、また全く知らない人もいると思うので、興味が少しでも持てるようなアピールの方法を検討していただくのもいいのではないかと思います。
4	40～44歳	今までほとんど考えたことがありませんでした。これを機に、調べてみようと思いました。
5	45～49歳	システム自体の存在を知らなかったなので、市報で特集を組むなどしたらどうか。配布される市報は読むことが多いので。
6	50～54歳	まだまだ仕組みを知らない人が多いと思うので、広報紙や医療機関の待合室など、目にとまる機会を増やしていく方がいいと思います。
7	50～54歳	「地域包括ケアシステム」の事を何も知らなかったなので、このようなよい取組は皆に知られるように広報にも力を入れられるといいと思いました。

	年代	内容
8	50～54 歳	アンケートによるもの（文章）だけではなく、ネット（動画等）を取り入れてわかりやすくすると思う。例えば、HP や、YouTube などで紹介するなどです。
9	50～54 歳	地域包括ケアシステムしかり保健福祉団体施設に関して何も知らない事を知った。
10	50～54 歳	誰が見てもわかりやすい内容で、何をしているかがはっきりしてほしい。
11	60～64 歳	具体的に何ができるのか、きっかけがよくわからない。できること、きっかけを広くひろめてほしい。
12	70～74 歳	動画での紹介。
13	70～74 歳	どうしたらこのケアシステムの仕組みが判るのか知らない。
14	70～74 歳	具体的な取組内容等の周知が不十分ではないか。30 年近く住んでいるが、ほとんどというか、全く聞いたことがない。
15	75 歳以上	「ケアシステム」についてのパンフレットを配布して欲しい。どの位の予算・人員で本当に困っている人、(病気・生活、介護で困っている人) 何人が救われるのか、具体的に示して欲しい。

## 2. 市への意見・要望について（8件）

### 麻生区

	年代	内容
1	30～34 歳	高齢者は我慢して下さい。お金のある高齢者はどんどん使して下さい。未来の子たちに向けて補助金をたくさん下さい。若者、子どもの負担が大きすぎる。子育てにお金がかかりすぎる。
2	30～34 歳	市民ではなく行政で解決できるようサービスを充足することが望ましい。昔のようにご近所付き合いがない中で地域のつながりを強くすることは現実的ではない。これからの世代に合ったシステムを作るべき。
3	40～44 歳	高齢者が増え、現役世代が減っていく中で、どうか偏りのない形での運用をお願いしたいです。
4	45～49 歳	高齢化に備える目的ではなく、誰もが安心して生活できることを目指すべきであると思う。行政の縦割りでの考え方を変えることから始まると思います。
5	45～49 歳	川崎市は外国籍の方が沢山いて、税金のむだ使いをしている。
6	50～54 歳	ボランティアに頼るだけでなく、税金をしっかり投入してほしい。そのための増税もいとわない。
7	55～59 歳	住みなれた場所で各生活支援をうけて生活をするという地域包括ケアシステムですが、在宅で一人暮らしとなると穴だらけで安心して住み続けることが難しくなる方が多くいらっしゃいます。2025 年の団塊世代の方々が 75 歳以上となるまでにサービスや施設をもう少し充実する必要性もあるかと存じます。
8	60～64 歳	地域包括支援センターは利用した事がありますが、人員が不足している様な印象でした。

## 3. 地域住民とのつながりについて（0件）

#### 4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（5件）

##### 麻生区

	年代	内容
1	35～39 歳	あまり活動内容を知らないため知る機会がいただきたいです。
2	50～54 歳	そのような取組があることを全く知らなかった。SNSで、5秒以内に読み切る内容を広く市民へ伝えてはどうかと思います。詳しい説明への入り口をできるだけキャッチーにすることで、参画する人が増えるのではないのでしょうか。
3	60～64 歳	地域住民のつながりが希薄になってきて、高齢者の見守りや生活弱者に対する支援などが行政の役割が大きくなっています。その必要性が現実的に体験しないと身近に感じられてないと思います。情報発信にも力を入れてください。
4	65～69 歳	具体的にどう活動したらよいかわからない。ところで、その情報や講演会、講座など知りたい。
5	70～74 歳	なるべく参加型の体制を作っていけるような、自分を見つめ直したいので友人との会話にも取り入れてみたい。

#### 5. 今自分がやれることがない（0件）

#### 6. 健康について（0件）

#### 7. 取組の提案について（5件）

##### 麻生区

	年代	内容
1	40～44 歳	正直、今は自発的に他人を助けようという精神的、経済的余裕のある人は少ないので、待っていても誰も来ない。SNSを活用して、面白くて少しためになるような内容の動画や記事を発信し、目に触れる機会、興味を持てるアプローチをしていかないと、存在すらわからない。行こうという気も起きない。
2	45～49 歳	システム側の都合ではなくユーザー視点でできるものにしてほしい。
3	45～49 歳	川崎市は地域が大きいのでなかなか他町区の活動に参加することは難しい。小さな地域で活動できる取組から始めてみてはどうか。
4	55～59 歳	古くからの住宅地であっても、横のつながりが希薄な地域もある。(要は互いにあまり関わりたくない人が多い)。そのような地域での取組をどのように始めるとよいか、わからない。また家族の中でも考え方がバラバラで、情報の持ち方も一様ではなく、消極的な人に足を引っ張られて、本当は積極的に関わりたいのに取り組めない人への情報伝達の方法も工夫が必要。
5	55～59 歳	自治会の通常の活動が、地域包括ケアシステムの一部を構成していると考えていますので、その主旨にて回答しましたが、より広い「地域」となった場合には、各自の行動範囲、能力により大きさが変わりそれに対応する仕組みも変わるため、複雑なシステムとなり解りにくさがつきまとうと思います。必要性は感じますがシステム化、体系化は難しいですね。

#### 8. 取組への期待について（4件）

##### 麻生区

	年代	内容
1	不明	未だ利用した事はございませんが、近い将来お世話になると思います。

	年代	内容
2	60～64 歳	地域の超高齢化で、市や区が供給する人員以外はすべて（超）高齢者となることが想像されますが、そのような人達に包括ケアの協力を依頼するとしても、何ができるのでしょうか。
3	75 歳以上	夫が高齢になりいろいろお世話になっています。以前に近くに住んでいた両親を最後までこの地と家で看取れたことはこのケアシステムのお陰です。でも自分から何か人の為に動いたということではなく助けてもらった側です。若かったら動きたいです。今は受ける側に立ってしまっています。
4	75 歳以上	特にない。取組自体はいいと思う。

## 9. 守秘義務について（0件）

### 10. 相談窓口について（1件）

#### 麻生区

	年代	内容
1	65～69 歳	行政サービス・支援窓口は多種多様な対応して、多数の団体、施設が用意され団体、施設数は充実しているようであるが何らかの相談を行なおうとした場合、どこに相談したらよいか分からない。個人的意見であるが、本資料 14 ページの保健福祉の団体、施設が多く、相談先を特定できない。よって「保健・福祉総合窓口」なる1つを設定して、相談に充分対応可能な団体、施設から応答するシンプルなサービスを望む。

### 11. 地域防災・防犯について（0件）

### 12. サービスや手続きについて（2件）

#### 麻生区

	年代	内容
1	70～74 歳	先頃、夫を末期のがんで亡くしましたが、1年程の闘病の間、ケアマネジャー、訪問の医師、ナース、又、福祉用具の適切なリースと、チームワークでスムーズに提供され、在宅での介護から病院での見とりと、途切れないサービスが受けられました。本当に感謝しています……。どなたでもが安心できるようなこのようなサービスが続くことを祈っています。
2	75 歳以上	介護度4で自宅療養中です。かかりつけの医療機関月一回の往診、訪看リハビリ、デイサービス、ショートステイを利用しています。本人の意志と確認しながら解答しましたがわからないところは記入していません（娘記）。

### 13. 医療について（1件）

#### 麻生区

	年代	内容
1	40～44 歳	適切な医療と介護の提供のために、各ステークホルダーを有機的につなぐ仕組みやシステム構築のイニシアティブを取るべき。

#### 14. その他（3件）

##### 麻生区

	年代	内容
1	40～44 歳	アンケートが長い。
2	70～74 歳	飛地にあるため、担当地域との交流はほとんどありません。
3	65～69 歳	全く心の無い住人で申し訳ないのですが改めて取組や、システム作り交流グループ作りとなると引いてしまう気質です。その様な方は多く、めんどくさいと思っ てしまいます。共通の関心事や趣味、スポーツ、スポーツ観戦、ウォーキング、 ちょっとした旅行と言った場を通してグループを作るやり易い入り易いその様 な場はあっても入る機会が無いと感じます。このあたりは地域活動はさかんです が一部に限定されていると感じる次第。

(4) 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

『川崎市地域福祉計画』に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	7
2. 市への意見	10
3. 地域住民とのつながりについて	3
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	4
5. 今自分がやれることはない	0
6. 健康について	0
7. 取組の提案について	4
8. 取組への期待について	1
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	2
11. 地域防犯・防災について	1
12. サービスや手続きについて	3
13. 医療について	1
14. その他	11

1. 取組の周知について（7件）

麻生区

	年代	内容
1	25～29 歳	今回のアンケートにて知った。今回のアンケートを答える上での福祉計画についてもまわりくどく具体例がなく、何がしたいか全く分からない。企業を見習って端的に目的、期間、方法を記述し具体的に「いつ、どこで、誰が、何を」する計画なのかを明確にしてほしい。本アンケートの福祉計画では全く分からず、魅力を感じない。イラストや図も使って幅広い年齢層に見易い（A4、1枚で誰でも分かる、詳細が見たい人は二次元コード）広報と協力体制の募集をしてほしい。また、アンケートもネットからでもできるようにする等、ネットの充実が必須だと感じる。
2	40～44 歳	意見や提案がある程も内容が知られていないのが問題だと思う。
3	60～64 歳	情報共有が必要なので、もっと発信してほしい。
4	60～64 歳	公報を積極的に行っていただきたい。
5	70～74 歳	内容を知らないなので、市民が情報をえられるようにして下さい（もっと積極的に）。
6	70～74 歳	Y o u T u b e 等動画での紹介。
7	75 歳以上	英語での情報をもっとあるといい。周知は上手くいっていると思う。

## 2. 市への意見（10件）

### 麻生区

	年代	内容
1	18・19歳	高齢者ばかりの意見を聞き続けるのではなく、若い人からも話を聞いて、双方にとってよりよい町づくりをしてほしい。
2	20～24歳	教育格差への取組の不足を感じる。例えば教育支援、ボランティアが活動する際、区の施設を利用すると利用料が発生するが、これは言語道断といふべきである。加えて本アンケートに「外国人の方で日本語を～」とあるが、これを日本語で書いてしまっは無意味である。やさしい日本語、英語、中、韓、ベトナムなど多言語を併記すべきだ。
3	30～34歳	老人ばかりではなく、子育て世帯への支援をもっと行ってほしい。子を産み育てたいと思えるような市、区にしてほしいです。
4	30～34歳	高齢者はがまんして下さい。お金のある高齢者はどんどん使して下さい。未来の子たちに向けて補助金をたくさん下さい。若者、子どもの負担が大きすぎる。子育てにお金がかかりすぎる。
5	35～39歳	子育て関係の支援（医療証や手当等）所得制限が厳しい。中学生以降も医療費無料にしてほしい。
6	40～44歳	高齢者が増え、現役世代が減っていく中で、どうか偏りのない形での運用をお願いしたいです。
7	45～49歳	税金の使い道は正しいものに使いましょう。老人にお金を使うのではなく、子どもや若者にお金をかけるようにしましょう。
8	50～54歳	私の払った税金で、このアンケートは必要とは思わない。切手代ももったいない。税金はもっと有効に使うべきだと思う。このアンケートにいくら使ったのか、報告してほしい。
9	55～59歳	地方から出て来て首都圏で働く“東京一世”のベッドタウンなので、下町のような親しい近所付き合いは、これから深まる地域だと思います。ここで育った子どもたちが親になって、ようやく「ふるさと」と呼べるようになる時ですので、子育て中の若い世代も一緒に取り組めるとよいです。彼らはインターネットを使った情報伝達にも長けているので、高齢者や障がい者も取りこぼさない仕組み作りに知恵を出してもらいたいです。
10	55～59歳	この様な多くの項目の調査はフルタイムで働いている、介護をしている私にとって大変でした。もう少し少ない項目にして頂けると答える人は多くなると存じます。

## 3. 地域住民とのつながりについて（3件）

### 麻生区

	年代	内容
1	45～49歳	近所の人とは友達ではないので心的距離を保った状態でできるものにしてほしい。
2	70～74歳	町内会の活動について、高齢化社会及び住民の体力の低下、健康維持が困難な状況で、活動に参加出来ない。町内会の活動の見直しが必要では？班長による集金等は歩行困難者には無理と思う。代案については思いつくものはありませんけど。
3	75歳以上	コロナ禍が落ち着き安心してコミュニケーションのとれる世の中になってくれればと願うところです。

#### 4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（4件）

##### 麻生区

	年代	内容
1	35～39 歳	あまり活動内容を知らないため知る機会があったらうれしいです。
2	50～54 歳	近所に民生委員がいて相談窓口となっている事を知らない若い世帯がいる。話を聞いてあげる場を作ってあげたい。町会加入していない世帯が増えているので情報をたくさん発信してほしい。
3	60～64 歳	地域の住民高齢化は、思った以上のスピードで進んでいるように感じます。働く世代のボランティア参加等は時間の制約もあり困難なものがあるとも感じています。高齢な方々のなかでもお元気な方の共助参加もあるかと思えます。米国ではリタイアした人々が住む町では町の公共的な機関の多くがリタイアした人々のボランティアで実施されている所がありました。ご一考ください。
4	70～74 歳	具体的な行動をおこせる様な取組みのきっかけが欲しい。定期的な周知活動なり実施状況報告などを広報して欲しい。

#### 5. 今自分がやれることはない（0件）

#### 6. 健康について（0件）

#### 7. 取組の提案について（4件）

##### 麻生区

	年代	内容
1	25～29 歳	他の市区町村に比べれば子育てがしやすいと感じているので、今住んでいる地域は気に入っています。一方で、もっと子どもや子育て世帯に優しい地域社会であって欲しいと思います。子どもや若い世代が将来の日本の行く末を決める重要な方々だと思っています。
2	30～34 歳	年寄りを助けることばかりなアンケートに見てとれますが、子育て、出産等若い世代に対する支援も同じ熱量で取り組むべきと考えます。
3	45～49 歳	新百合ヶ丘の駅周辺がいつも不潔に思う。環境を整えること、植物や清掃をしてきれいな町づくりがみんな住民への楽しい気持ちにさせてくれる町だと思い住んでて幸せに思う。市の職員だけでなく地域の方々に力を借りて取り組んでいくことで信頼関係が築けてよい取組になると思います。
4	50～54 歳	そのような計画がある事すら知らない事を知った。もっと情報を取りに行くべきだと思った。

#### 8. 取組への期待について（1件）

##### 麻生区

	年代	内容
1	55～59 歳	計画について「自分」にどのような影響があるのかが気になりました。少し興味がわきました。

#### 9. 守秘義務について（0件）

## 10. 相談窓口について（2件）

### 麻生区

	年代	内容
1	50～54 歳	私は今 49 歳で 50 代に入ろうとしています。この時期は両親の健康面的にも悩みが出てくる年代でもあります。御社の方でお願いすることかわかりませんが、お墓の話、将来の事家族内で話さなければならない、でも、正直聞きにくい。その時にわざわざ行政書士や弁護士さんに聞くにもそこまで聞くことではないかとやめてしまう自分もいます。もしそんな時に相談できる窓口があるのであれば知りたいですし、どこに聞いたら教えて頂けるのか正直わかりません。市の方で無料相談とかあればインフォメーション頂きたいです。
2	60～64 歳	今後単身高齢者が増えてゆくなかで、社会とかかわる場、助け合いの場等を設ける事は大切だと思います。行政に対し何をどこに相談すれば良いかも不明なので、わかりやすいサイト、冊子等あれば良いのですが。

## 11. 地域防犯・防災について（1件）

### 麻生区

	年代	内容
1	50～54 歳	麻生地区の防災の放送が、どこの場所からもはっきり聞こえるよう設置してほしい。

## 12. サービスや手続きについて（3件）

### 麻生区

	年代	内容
1	55～59 歳	行政には社会的弱者へのサービスに重点を置いてもらいたい。コミュニティバスを展開してもらいたい。
2	60～64 歳	年をとって「ケアマネジャー」や介護サービスを受ける必要が出てくる時に、現在はやってもらえることが、とても細かく決められていて、して欲しいこと、必要としていることが頼めず、大変使い勝手が悪いと聞いています。もっと柔軟に対応できるようになってほしいと思っています。
3	75 歳以上	高齢夫婦二人で住んでいますが、年齢を考えると川崎市や地域にお世話になることばかりになるでしょう。でも原則的にはできるだけ世話にならずに元気で年を取って、できることなら自宅で終れるよう今から計画し努力をしたい。その為の情報や手段が提示されることを望みたいです。

## 13. 医療について（1件）

### 麻生区

	年代	内容
1	75 歳以上	〒ポストを、つけてほしい。バスをもっと便利にしてほしい。病院に行くのも 3 回乗り換えが必要。病人が移動するのは大変です。

#### 14. その他（11件）

##### 麻生区

	年代	内容
1	40～44 歳	問 38～40 の情報の共有は、共有の範囲（誰が見ることができるかなど）を明確に、厳密に管理しないと万が一悪用されたら怖いなど印象をうけました。
2	40～44 歳	存じ上げないので、勉強するところから始めます。
3	45～49 歳	このアンケートで私の知らない事柄が多いことを知りました。市、区のホームページなどで活動について学んでいこうと思います。
4	45～49 歳	福祉に関わる方のメンタルケアを充実させてほしいです。特に業務として福祉に関わる方々の精神が病むことがないように配慮が必要ではないかと考えます。
5	55～59 歳	住民をいかにうまくまとめ、利用するか、と言うアンケートに見えてしまい、非常に不快でした！！もう少し日本語を勉強しろ！！
6	70～74 歳	非常にわかりにくいアンケートで、回答に困りました。
7	70～74 歳	内容が判らない為、意見が出ない。
8	70～74 歳	自分の積極性を高めなくてはと思いました。
9	70～74 歳	このアンケートを通して、いかに地域の福祉について自分が無知であることを認識いたしました。のほほんとして暮らしていたことを恥ずかしく思っています。
10	75 歳以上	私は東京都杉並区、立川市、町田市などに数十年暮らしたあと、平成 21 年に今の川崎市麻生区に転居しました。夫の死去後一人暮らしになったので、息子の家族と同居することになったからです。同居といっても私は 1 階、息子達は 2 階での別世帯でした。この調査にあるような各種の質問にはほとんどお答えすることができません。地域との関係はすべて息子の世帯で扱っていたからです。そして平成 30 年食事の世話（支度）がオックウになったので、住宅型の老人ホームに入居して現在に至っています。すべて自分できめました。こういう立場の老人達に対しての質問や意識調査がこの取組においては何もないように思います。
11	75 歳以上	①「福祉計画」に「特養」の施設、人員増の計画が計画されているか、関心があります。将来「特養」に入れるか心配です。②各種の「管理センター」（〇〇センター、協議会、委員）より現場で実動する施設や人員増の方に予算・税金を使って欲しいと思います。③「管理センター」（〇〇センター、協議会委員）の人員の数と費やされている費用を明確にして、比較して報告して欲しい。

資料

# アンケート調査票

---



# 地域の生活課題に関する調査

みなさまには、日頃から川崎市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、本市では『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに向け、市民や団体活動を行っている方々の（意識）調査を実施しております。

この（意識）調査は、『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに関わる調査の一つとして、無作為に選ばせていただきました市内在住の18歳以上の方を対象に、地域における生活課題などについての意識やご意見、ご要望をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 川崎市長 福田 紀彦

## 【記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、最初から順番にお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
5. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月16日（金）**までにポストに投函してください。

※外国人の方で日本語を読むことが困難な方におかれましては、ルビ付きの調査票をご準備しておりますので、必要な方はご連絡ください。また、川崎市国際交流センターで相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

## 【調査結果の公表】

この調査の結果は、地域福祉実態調査概況のうち「地域の生活課題に関する調査概況」として、川崎市ホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/>）に掲載します。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、お問い合わせください。

### ■問い合わせ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当

電話番号：044-200-2626（直通）

FAX：044-200-3926

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp







## 【「川崎市地域福祉計画」についておたずねします】

川崎市では、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築をめざして、令和3年3月に「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせるふるさとづくり」を基本理念とする『第6期川崎市地域福祉計画』及び7つの区で『区地域福祉計画』を策定しました。

地域福祉計画は、それぞれの生活の拠点である地域において、共に生きるまちづくりの精神を発揮して、市民と行政がともに地域社会の生活課題の解決に取り組むことにより、誰もが安心していきいきと健やかに暮らせるような地域社会をつくることを目的としています。

また、“地域福祉”とは、こうした地域社会をつくりあげていくための市民や行政の取組と言えます。

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（○は1つだけ）

1. 市の計画、区の計画の両方を知っている
2. 区の計画は知らないが、市の計画は知っている
3. 市の計画は知らないが、区の計画は知っている
4. 市の計画も区の計画も知らない ⇒問 13 へ

問 12-1 計画は何で知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 市政だより              | 2. 市や区のホームページ        |
| 3. チラシ・パンフレット         | 4. 市や区の計画での取り組みに参加した |
| 5. 団体等の会合             | 6. 交流会・ワークショップ       |
| 7. シンポジウム             | 8. 講演・講習会            |
| 9. 口コミ（友人・知人や近隣の方からの） |                      |
| 10. その他（              | ）                    |

## 【あなたがお住まいの地域についておたずねします】

問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

1. 両隣
2. 向こう三軒両隣程度
3. 同じ集合住宅（アパート、マンションなど）
4. 歩いて5分（およそ100m）以内程度
5. 歩いて10分（およそ200m）以内程度
6. その他（

問 14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。（○は1つだけ）

1. 家族のように親しくつきあっている
2. 電話、メールなども含めて、親しく話をする
3. ときどき話をする程度
4. あいさつをする程度
5. ほとんどつきあいがいい
6. その他（ ）

問 15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。（○は1つだけ）

1. 地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ
2. いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい
3. 困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない
4. 地域での助け合いは必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切だ
5. 地域との交流より、気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい
6. 困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日頃の交流は必要ない
7. その他（ ）

問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。（○は1つだけ）

1. 加入している ⇒ 問 17へ
2. 加入していたが、退会した・加入したことはない

問 16-1 現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 行事に参加できない
2. きっかけが無い
3. 特に不便を感じない・必要性を感じない
4. 集合住宅の管理組合に加入している
5. 仕事、子育て、介護等が忙しくて時間がない
6. 地域のつきあいがわずらわしい
7. 会費に見合うメリットがない
8. 加入の仕方がわからない
9. 面倒だから
10. 関心がない
11. その他（ ）





問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（○は3つまで）

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1. 親族        | 2. 友人・知人             |
| 3. 近所の人      | 4. 民生委員児童委員          |
| 5. 社会福祉協議会   | 6. 地域の活動団体           |
| 7. NPO等の民間団体 | 8. 区役所・市役所           |
| 9. 地域の医療機関   | 10. ケアマネジャーやホームヘルパー等 |
| 11. その他（     | ）                    |
| 12. 誰もいない    | 13. 頼みたくない           |

問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。（○は3つまで）

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ  | 2. 趣味など世間話の相手    |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理  | 6. ちょっとした買い物     |
| 7. 子どもの預かり       | 8. 外出の付き添い       |
| 9. 災害時の手助け       | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（         |
| 13. 特になし         | ）                |

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（○は3つまで）

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ  | 2. 趣味など世間話の相手    |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理  | 6. ちょっとした買い物     |
| 7. 子どもの預かり       | 8. 外出の付き添い       |
| 9. 災害時の手助け       | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（         |
| 13. 特になし         | ）                |

問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

1. 現在、在宅で療養している
2. 在宅で療養したいし、おそらく可能である
3. 在宅で療養したいが、おそらく不可能である
4. おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない
5. おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない
6. その他（ )

問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

1. 意思表示の書面は必要であり、すでに作成している
2. 意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない
3. 意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている
4. 意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある
5. 意思表示の書面は必要ないし、家族で話し合う必要もない
6. すべて家族にまかせるので必要ない
7. すべて医療者や病院にまかせるので必要ない
8. その他（ )

問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）

1. 地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組
2. 電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組
3. 民生委員児童委員による見守りの取組
4. ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認
5. 定期的な電話や傾聴等の話し相手
6. 会食会、コミュニティ・カフェ、サロンなどを催し、地域交流を深める取組
7. 地域包括支援センター等による生活実態の把握
8. 弁当の配食時に安否確認する取組
9. 児童の登下校時の見守りの取組
10. 身近な地域で開催される運動や体操などの取組
11. その他（ )
12. 特にない
13. わからない

問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

1. すでに制度を利用している
2. おおむね制度について知っている
3. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない
4. 知らない ⇒問30へ

問 29-1 制度の相談窓口となっている機関で知っているものはどれですか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
2. あんしんセンター（成年後見支援センター）
3. 地域包括支援センター
4. 障害者相談支援センター
5. その他（ ）

### 【地域活動やボランティア活動についておたずねします】

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ（運動会などを含む）に関する活動
13. 自分のスキル（能力や技能）を活かした活動
14. オンラインでの活動
15. その他（ ）
16. 今は参加していないが条件が整えば参加したい ⇒問30-2から問30-5へ
17. 参加したことがない ⇒問30-6へ

「1」～「15」に○をつけた方は、問30-1へ進む

問 30-1 活動に参加した動機やきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人の役に立ちたいから
2. 自分たちのために必要な活動だから
3. 家族・友人・知人から誘われたから
4. 学校の授業などで機会があったから
5. 困っている人や団体から頼まれたから
6. 余暇を有効に活用したいから
7. 趣味や特技を活かしたいから
8. 楽しそうだから
9. つきあいのため、やむを得ず
10. その他 ( )
11. なんとなく

問 30-2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化(ごみ拾いなどを含む)に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動
13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動
14. オンラインでも参加可能な活動
15. その他 ( )
16. 具体的にはわからない

問 30-3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問 30-4 参加される場合、活動可能な日数はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1～2回 | 3. 月2～3回 |
| 4. 月1回   | 5. 月1回未満 |          |

問 30-5 オンラインでの活動も含めて、参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 平日日中（10～17時）2時間以内 | 2. 平日日中（10～17時）4時間以内 |
| 3. 平日日中（10～17時）6時間以内 | 4. 平日夜間（17～20時）      |
| 5. 休日日中（10～17時）2時間以内 | 6. 休日日中（10～17時）4時間以内 |
| 7. 休日日中（10～17時）6時間以内 | 8. 休日夜間（17～20時）      |

問 30-6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない        |
| 2. きっかけがつかめない            |
| 3. 身近に活動グループや仲間がない（知らない） |
| 4. 健康に自信がない              |
| 5. 家族や職場の理解が得られない        |
| 6. 興味を持てる活動がない           |
| 7. 育児や介護を必要とする家族がいる      |
| 8. 一度は始めると拘束されてしまう       |
| 9. 行政や事業者が行えばよい          |
| 10. 人と接するのが苦手            |
| 11. 地域活動やボランティア活動はしたくない  |
| 12. その他（ )               |
| 13. 特に理由はない              |

問 30-7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 活動する時間ができれば                   |
| 2. オンライン等を活用した活動であれば             |
| 3. きっかけがあれば                      |
| 4. 身近に活動グループや仲間がいれば              |
| 5. 体力や健康に自信があれば                  |
| 6. 家族や職場の理解が得られれば                |
| 7. 興味を持てる活動があれば                  |
| 8. ボランティア活動に参加していることが評価されるようになれば |
| 9. その他（ )                        |
| 10. 地域活動やボランティア活動はしたくない          |

**【保健・福祉に関することについておたずねします】**

問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。（○はそれぞれ1つだけ）

	1 知っている	2 知らない
ア. 社会福祉協議会	1	2
イ. 民生委員児童委員	1	2
ウ. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）	1	2
エ. 地域包括支援センター	1	2
オ. あんしんセンター（成年後見支援センター）	1	2
カ. 老人クラブ	1	2
キ. いきいきセンター（老人福祉センター）	1	2
ク. いこいの家（老人いこいの家）	1	2
ケ. 障害者相談支援センター	1	2
コ. 地域療育センター	1	2
サ. 地域リハビリテーションセンター	1	2
シ. 聴覚障害者情報文化センター	1	2
ス. 視覚障害者情報文化センター	1	2
セ. 児童相談所	1	2
ソ. 地域子育て支援センター	1	2
タ. こども文化センター	1	2
チ. 福祉パル（区社会福祉協議会）	1	2
ツ. 総合福祉センター（エポックなかはら）	1	2



## 【防災に対する意識と備えについておたずねします】

問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 防災グッズの準備、食料や水の備蓄など
2. 携帯トイレ（簡易トイレ）を備えておくこと
3. 停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）
4. 近くの学校や公園などの避難場所の確認
5. 緊急時における家族との連絡方法の確認
6. 学校や勤め先からの帰宅ルートの確認
7. 子どもや高齢者などの世話を誰かに頼む
8. 警戒レベル（5段階）などの防災情報の意味を知っておくこと
9. その他（）
10. 特にない

問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 近所の人と挨拶をする程度の関係をつくっておくこと
2. 避難するのに支援が必要な人を把握しておくこと
3. 住民同士で家族構成・要介護度などについてある程度知っておくこと
4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
5. ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
6. 地域の避難所を知っておくこと
7. 地域で主体的に防災につながる活動を行うこと
8. 防災訓練に参加すること
9. ボランティア活動への参加
10. わからない
11. その他（）

問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 川崎市地域防災計画       | 2. 各区地域防災計画         |
| 3. 地区ごとに作成している防災計画 | 4. 災害時要援護者避難制度      |
| 5. 川崎市防災マップ        | 6. 土砂災害ハザードマップ      |
| 7. 福祉避難所           | 8. 防災啓発冊子「備える。かわさき」 |
| 9. 川崎市防災ポータルサイト    | 10. 自主防災組織          |
| 11. マイタイムライン       | 12. 川崎市災害ボランティアセンター |
| 13. すべて知らない        |                     |



## 【今後の地域福祉の推進についておたずねします】

問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること
2. 地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと
3. 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること
4. 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること
5. 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと
6. その他（ ）
7. 特に取り組むべきことはない

問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握
2. 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり
3. ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成
4. 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示
5. サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実
6. ワークショップや地域交流会などによる地域の課題等を共有する場・機会の提供
7. 地域の自主的活動と行政サービスの連携強化
8. その他（ ）

問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座
2. ワークショップやKJ法※など会議の方法や進め方が学べる講座
3. 地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座
4. アンケート調査や聞き取り調査などさまざまな調査技術が学べる講座
5. 支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座
6. 活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座
7. 障害者が困っていることを疑似体験を通して学べる講座
8. 先進的な取り組み事例が学べる講座
9. その他（ ）
10. 特にない

※KJ法：データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて図解し、情報や課題を整理していく方法





## 第6回川崎市地域福祉実態調査 結果概要（麻生区版）

---

令和5年3月発行

発行 川崎市

編集 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044-200-2626（直通） FAX 044-200-3926

E-mail 40keasui@city.kawasaki.jp

---

## 第 6 回川崎市地域福祉実態調査から見える課題等について

	カテゴリー	調査結果	項目
1	川崎市地域福祉計画の認知度	<ul style="list-style-type: none"> <li>問12 川崎市地域福祉計画・区地域福祉計画があること 「市の計画も区の計画も知らない」…88.1% (前回87.8%)</li> </ul>	①「川崎市地域福祉計画」について
2	ご近所づきあいの程度及び必要性に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>問14 近所の方とどの程度のつきあいか 「あいさつをする程度」…46.9% (前回52.4%) 「ときどき話をする程度」…32.1% (前回28.3%) 「ほとんどつきあいがいい」…10.0% (前回8.7%)</li> <li>問15 近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要か 「困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない」…39.6% (前回33.7%) 「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい」…22.6% (前回28.5%) 「地域で助け合うことは大切であり、そのためにふだんからの交流は必要」…21.3% (前回27.4%)</li> </ul>	②居住地域について
3	助けあいをすることができる「地域」の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>問17 助けあいをすることができる「地域」の範囲 「町内会・自治会程度」…46.1% (前回44.6%) 「隣近所程度」…32.6% (前回32.6%)</li> </ul>	②居住地域について
4	「地域」において、問題だと思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>問18 「地域」において、いま何が問題か 「特に問題だと感じていることはない」…28.8% (前回22.6%) 「地域防犯・防災に関する問題」…28.6% (前回35.3%) 「高齢者に関する問題」…28.3% (前回38.0%)</li> </ul>	②居住地域について
5	孤独・孤立への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>問28 地域での見守りの取組として、有効だと思う取組 「地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組」…48.0% (前回「地域住民による声かけ、見守り」…63.9%) 「電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組」…40.2% (前回「新聞・郵便配達等、民間の協力による情報共有」…42.7%)</li> </ul>	②居住地域について
6	地域活動やボランティア活動に関する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>問30 地域活動やボランティア活動に参加したこと 「参加したことがない」…33.4% (前回35.3%)</li> <li>問30-6 参加したことがない理由 「仕事や家事が忙しく時間がない」…52.4% (前回51.5%) 「身近に活動グループや仲間がない(知らない)」…31.5% (24.6%) 「きっかけがつかめない」…27.4% (23.1%)</li> <li>問30-7 参加したことがない方がどのような状況になれば参加したいと思うのか 「興味を持てる活動があれば」…35.5% (前回13.1%) 「活動する時間ができれば」…33.1% (前回20.8%) 「きっかけがあれば」…33.1% (前回12.3%)</li> </ul>	③地域活動やボランティア活動について <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             あてはまるもの全て              ※前回はひとつに○           </div>

7	地区・区社会福祉協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問31 保健や福祉の団体・施設等について 「社会福祉協議会」を知っている…48.8%（前回54.9%）</li> <li>・問32 地区・区社会福祉協議会について 「名前も活動内容も知っている」及び「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」 上記の合計…17.3%（前回22.5%） 「名前は知っているが活動内容は知らない」…39.1%（前回41.0%） 「名前も活動内容も知らない」…40.2%（前回33.7%）</li> <li>・問32-1 地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待するか 「身近な相談の場としての機能強化」…43.8%（前回43.4%） 「在宅福祉サービスの充実」…39.1%（前回49.4%） 「子育て支援の充実」…20.3%（前回27.7%）</li> </ul>	④保健・福祉に関することについて
8	民生委員児童委員との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問31 保健や福祉の団体・施設等について 「児童相談所」を知っている…62.5%（前回67.4%） 「こども文化センター」を知っている…58.8%（前回62.0%） 「民生委員児童委員」を知っている…56.1%（前回60.1%）</li> <li>・問33 保健や福祉の情報をどこから入手 「民生委員児童委員」…1.1%（前回1.1%）</li> <li>・問21 日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき 「民生委員児童委員」に相談する…0.5%（前回1.1%）</li> <li>・問23 日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき 「民生委員児童委員」に頼みたい…1.1%（前回2.2%）</li> <li>・問28 地域での見守りの取組として、有効だと思う取組 「民生委員児童委員による訪問・見守り」…24.8%（前回31.3%）</li> </ul>	②居住地について  ④保健・福祉に関することについて
9	情報発信の手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問33 保健や福祉の情報をどこから入手 「市の広報」…56.3%（前回57.1%） 「町内会・自治会の回覧板」…33.2%（前回41.8%） 「インターネットのホームページ」…27.8%（前回26.6%）</li> </ul>	④保健・福祉に関することについて
10	防災に対する意識と備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問36 大規模な災害発生時における地域住民同士での助け合いについて、 普段からどのような活動をする必要があるか（複数回答） 「近所の人と挨拶をする程度の関係をつくっておくこと」…72.2% 「地域の避難所を知っておくこと」…65.0% 「ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと」…55.5% 「地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと」…36.7% 「避難するのに支援が必要な人を把握しておくこと」…27.8%</li> </ul>	⑤防災に対する意識と備えについて
11	地域福祉の推進に向けて必要な行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問42 地域福祉推進のため、行政が取り組むべきこと 「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」…46.0%（前回44.0%） 「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」…43.7%（前回42.4%）</li> <li>・問43 地域福祉を促進するために、行政が開催する講座 「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒント」…31.3%（前回30.7%） 「地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座」…29.4%（前回32.9%） 「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」…26.7%（前回27.7%）</li> </ul>	⑥今後の地域福祉の推進について

## 第6回川崎市地域福祉実態調査から見える課題等について

### 1 「川崎市地域福祉計画」について

・計画自体の認知度は低い。計画そのものの周知と、わかりやすく伝わりやすい計画策定が必要。

### 2 居住地域について

・地域住民の意識としては、近所づきあいは挨拶程度の人が47%程度、ふだんからの交流が必要と考える人は44%程度で、共に前回調査から減少している。一方で、日頃からの交流は面倒という方が4割程度と増加傾向にある。コロナの影響で地域住民同士の交流が減ったことで、身近な地域での住民同士のつながりや助け合いの重要性を意識する機会が減ったことが要因とも考えられる。より一層の地域活動の促進、地域交流の場づくりについて検討を進めることが必要と思われる。

・地域の課題としては、「特に問題だと感じていることはない」が最も高く、次いで「防犯・防災」、「高齢者問題」となっている。「防犯・防災」、「高齢者問題」は共に前回調査を大幅に下回り、他区と比べても「防犯・防災」、「高齢者問題」への意識は全市的に見て低いことがうかがえる。また、地域での見守りの取組として最も有効なのは「地域住民による見守り訪問や声かけなどの取組」であるという認識はあるものの、コロナ禍を経て、見守りや声かけへの意識が大きく低下していることがうかがえる。

### 3 地域活動やボランティア活動について

・地域活動やボランティア活動に参加しない人の理由としては、仕事や家事が忙しく時間がないが半数以上であるが、身近に仲間がいない、きっかけがつかめない、などの回答も多く、働きかけ方や活動の仕方で、改善される可能性があり、参加のきっかけづくりを行う必要性がうかがえる。

### 4 保健・福祉に関することについて

・社会福祉協議会は認知度が高く、活動を知る人からは「身近な相談の場」として期待されていることがうかがえるが、回答者の約8割に活動内容を知られていない状況にある。また、民生委員・児童委員の認知度は他区に比べ高く、見守り活動等への期待もうかがえるものの、実際に相談している人は少ない現状にある。今後、民生委員・児童委員が、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐ、身近な相談相手であることが広く認知されるような取組が必要と思われる。

### 5 防災に対する意識と備えについて

・日頃からの交流は面倒という方が4割程度と増加傾向にある一方で、「大災害発生時において助け合いをするために、近所の人と挨拶をする程度の関係をつくっておくこと」が必要と回答した人が7割以上あり、大規模な災害発生時に備える意味でも地域でのつながりづくりが必要という認識があることがうかがえる。

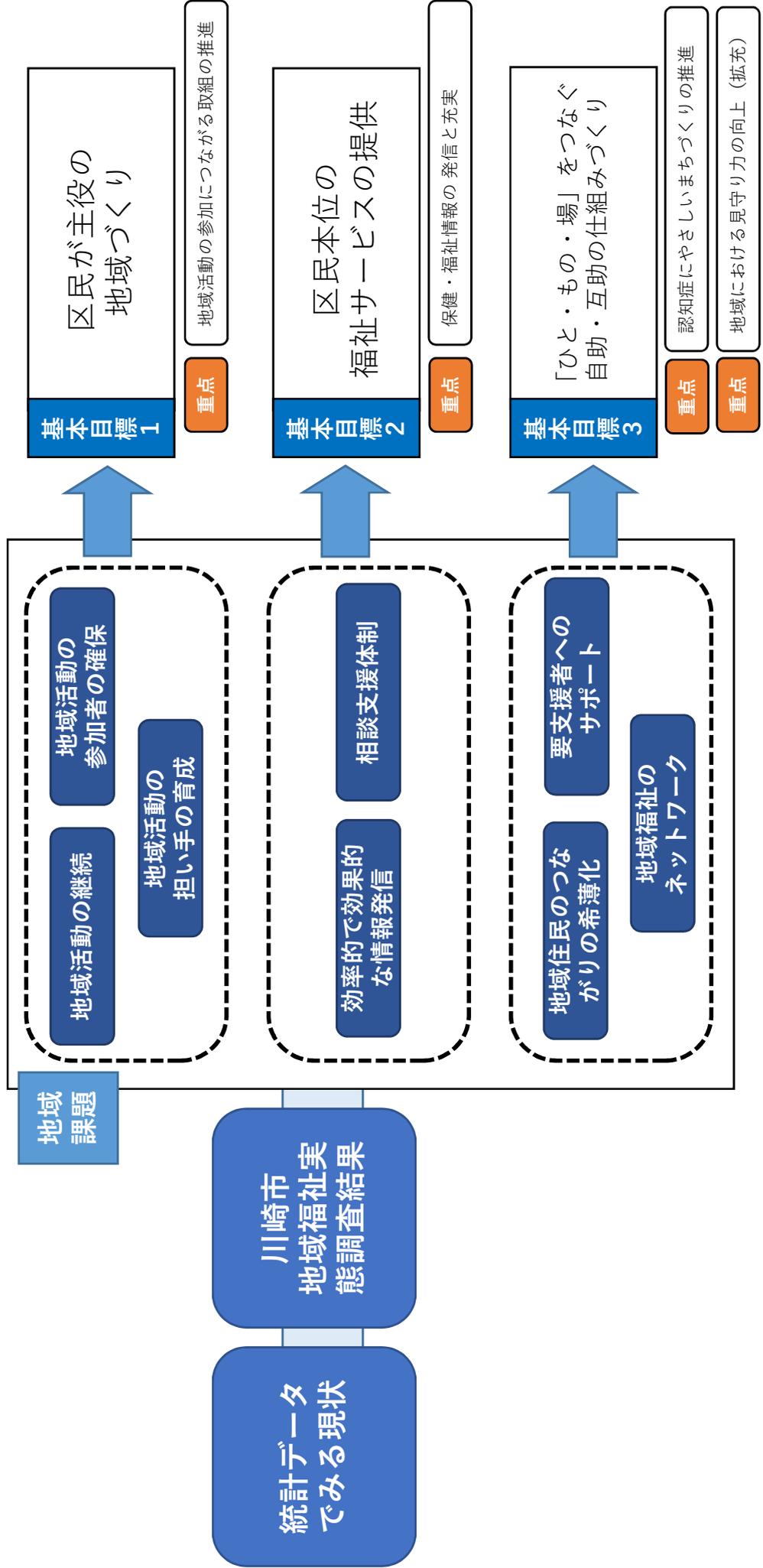
### 6 今後の地域福祉の推進について

・行政が取り組むべきこととして、「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」や「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」が望まれており、隙間のない、包括的な相談支援のネットワークづくりが求められている。また、行政が開催する講座としては、「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒント」「地域活動に参加するきっかけが学べる講座」「参加したくなるような広報について学べる講座」など、住民がこれから地域福祉に取り組むことを支援する内容へのニーズが高い。

# 第7期地域福祉計画の基本理念・基本目標（案）

## 基本理念

みんなので支え合う福祉のまち麻生～麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして～



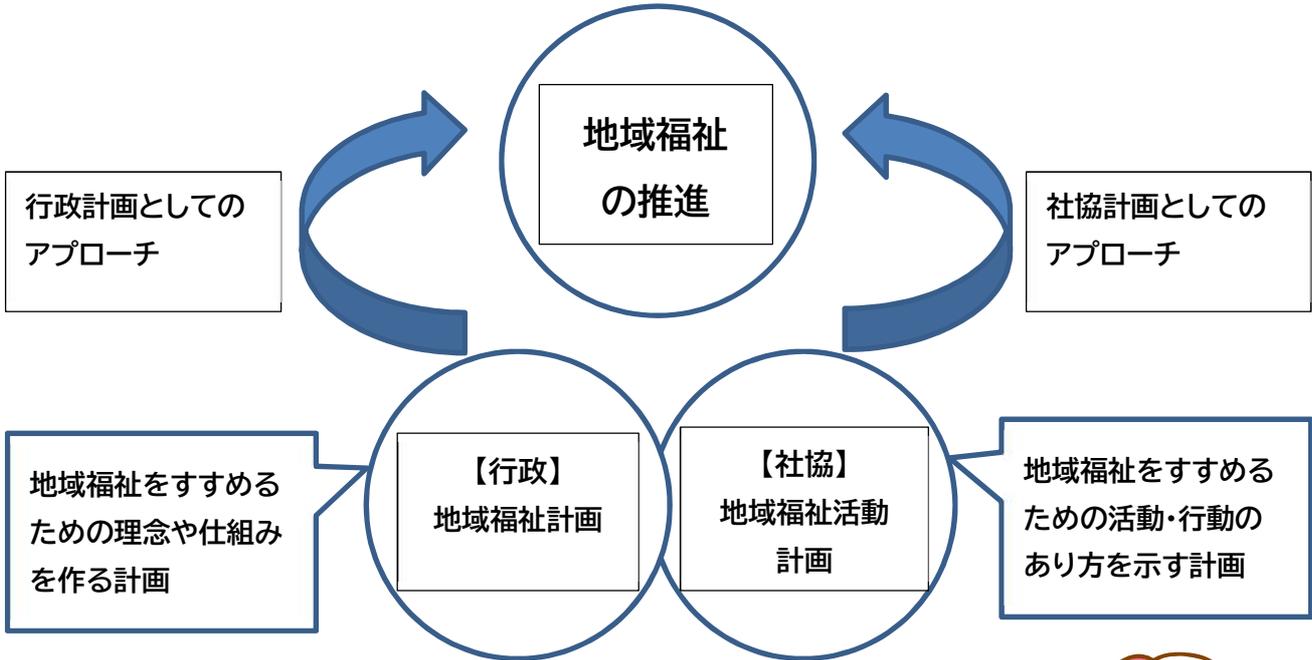
# 第5期 麻生区地域福祉活動計画 について (あさお「ひと・ひと」福祉プラン)

麻生区社会福祉協議会

## 1 地域福祉活動計画とは

「地域福祉活動計画」は、社会福祉法第 109 条の規定に基づく民間組織である社会福祉協議会が呼びかけて、地域住民、地域で福祉活動を行う者、社会福祉事業を営む者が相互に協力して策定する、地域福祉の推進を目的とする実践的な活動・行動計画です。

## 2 地域福祉活動計画と地域福祉計画の関係性



民間の福祉団体である社会福祉協議会と行政の両者が策定する計画が、相互に協働・連携することにより、地域福祉を効果的に推進します。



## 3 第5期麻生区地域福祉活動計画(あさお「ひと・ひと」福祉プラン)の策定について

第4期麻生区地域福祉活動計画は、先の見えないコロナ禍を受けながらも、社協の取り組みにおいて必要な第3期活動計画の方針や枠組みを引き継いだ継続計画としました。

また、麻生区が策定する「麻生区地域福祉計画」との連携を強化するために、第4期活動計画から、計画年度と計画期間を3年間とし、さらに共通の基本理念(目標)を設定し、同じ調査や課題共有のもと策定しました。(詳細は別紙参照)

第5期活動計画は、令和2年4月の川崎市社協と7区社協の法人合併後の策定となる「川崎市社会福祉協議会第6期地域福祉活動計画」と併せて、住民主体の地域福祉活動を計画的に展開するための活動・行動計画を策定します。また、第4期活動計画に引き続き、「麻生区地域福祉計画」との目標(区版)を共有し、連携のさらなる継続・強化を目指したいと考えています。

# 目標 みんなで支え合う 福祉のまち麻生 ~麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして

3つの柱

9の大項目

28の取り組みの項目

## I 知り合う!

福祉への理解普及と情報提供



- ①身近な「福祉」を目指して
- ②「福祉」の情報を効果的に伝えていくために



- 1 あさお福祉まつり【区役所】
- 2 麻生区社会福祉大会
- 3 広報啓発委員会(啓発事業)
- 4 福祉教育推進委員会
- 5 広報啓発委員会(広報事業)
- 6 パンフレット、各事業の情報紙の発行
- 7 地域のイベントへの参加・協力【区役所】



【区役所】は麻生区と特に連携を強化して推進する取組を示しています  
麻生区役所「第6期麻生区地域福祉計画(あさお福祉計画)」

## II ふれあう!

地域交流活動の推進



- ③高齢者のいきがいくりの推進
- ④広げよう! 地域活動・ボランティア活動
- ⑤近所の中で、気軽に「ふれあえる」関係づくりを目指して

- 8 老人福祉センターの運営 \*
- 9 老人いこいの家の運営
- 10 ボランティア活動振興センター運営委員会【区役所】
- 11 ボランティアコーディネート委員会
- 12 災害ボランティア活動
- 13 助成事業
- 14 地区社会福祉協議会への支援
- 15 在宅福祉サービス委員会
- 16 麻生区民生委員児童委員協議会への支援【区役所】



\*老人福祉センターは令和3年度から川崎市社会福祉協議会が運営することになりました。

## III ささえあう!

相談体制の整備と生活支援サービスの充実



- ⑥「人」と「地域」をつなげる支援体制を目指して
- ⑦高齢者、障害児・者支援の充実
- ⑧子育て支援の充実

- 17 総合相談窓口の整備
- 18 生活福祉資金貸付事業
- 19 移送サービス事業【区役所】
- 20 日常生活自立支援事業(あんしんセンター)
- 21 年末たすけあい見舞金配布事業
- 22 子育て支援委員会
- 23 あさおオモチャとしょかん



詳しい計画書は、本会事務所で閲覧、またはホームページでご覧いただけます。

3つの柱と①~⑧の大項目、1~23の取り組みの項目を支えます!

9の大項目 ⑨事業・活動を実施していくための財源確保と区社協運営

- 28の取り組みの項目 24 共同募金運動 25 賛助会員募集 26 地域福祉活動計画推進 27 区社協常任委員研修会 28 財源確保の取組と区社協運営

